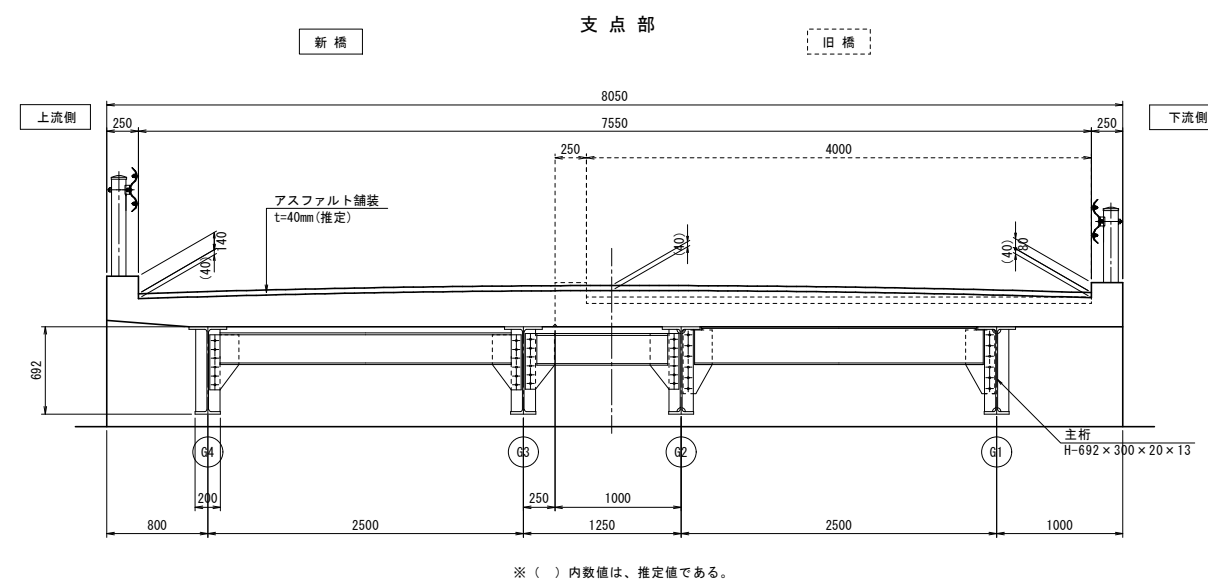
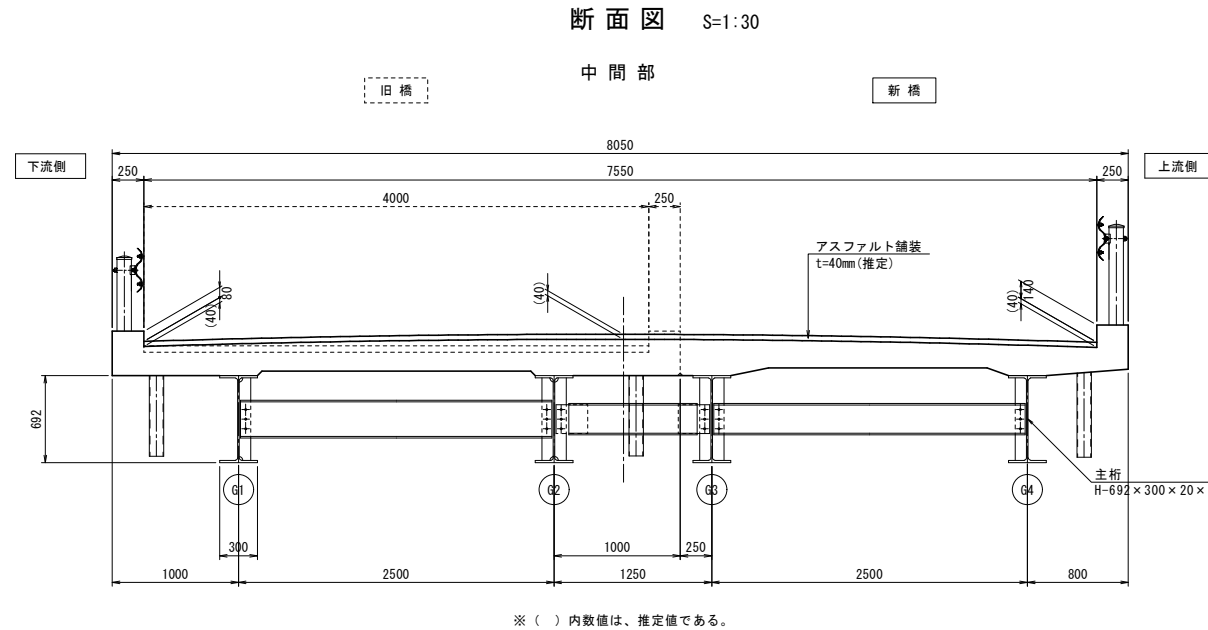
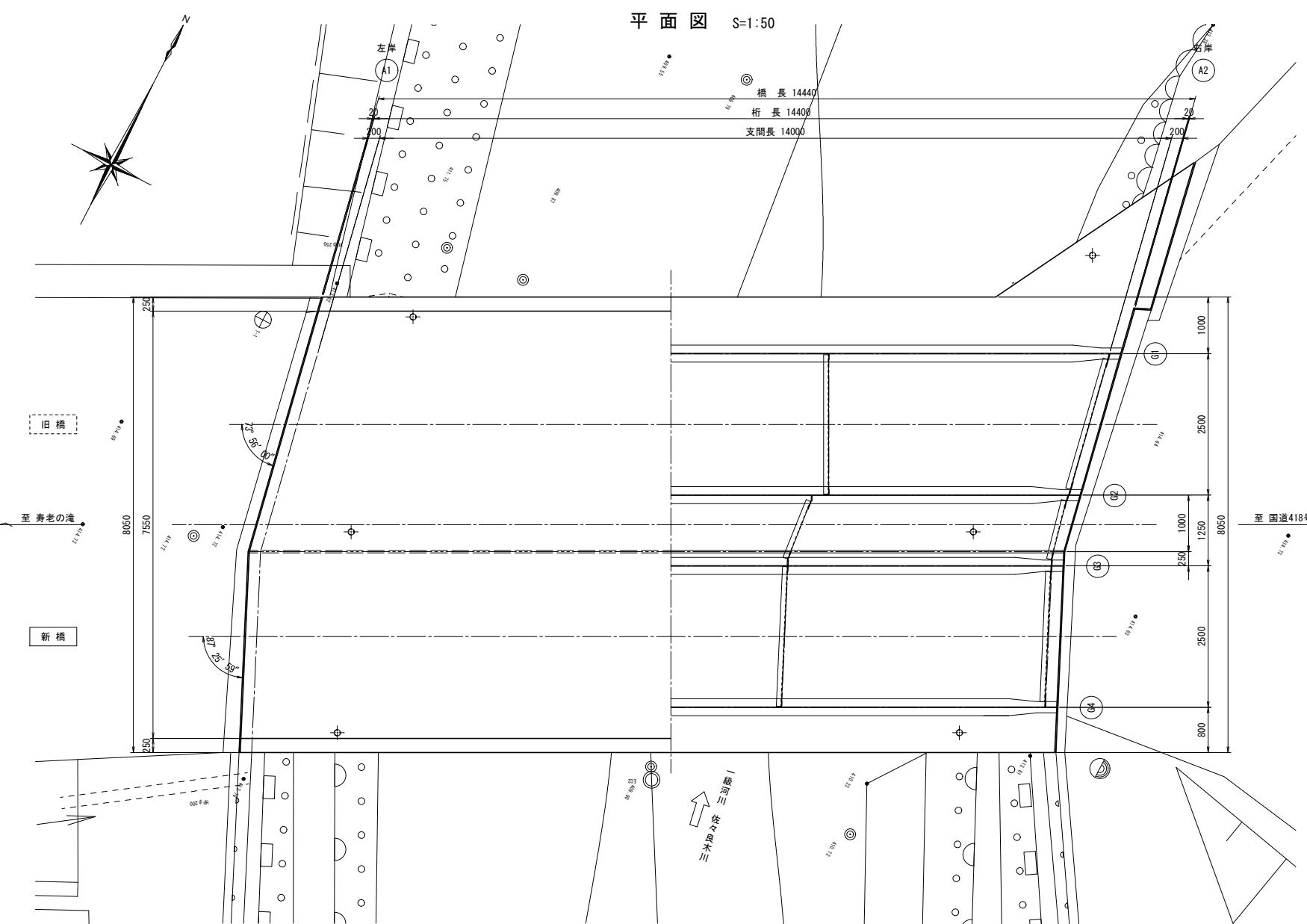
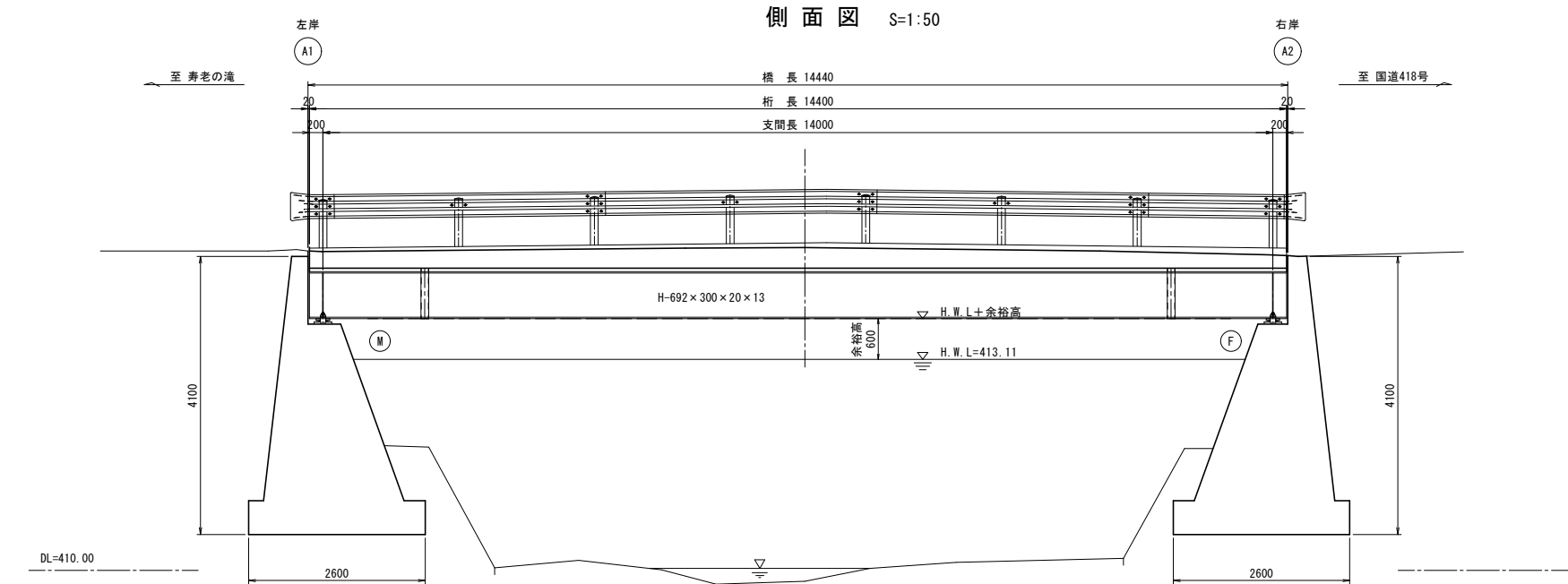


図 面 目 録

図面番号	図 面 名
1	棕の実1号橋 現況一般図
2	棕の実1号橋 補修一般図
3～6	棕の実1号橋 A1橋台支承取替詳細図(1)～(4)
7～12	棕の実1号橋 A2橋台支承取替詳細図(1)～(6)
13～15	棕の実1号橋 支承詳細図(1)～(3)
16	棕の実1号橋 支承取替工施工要領図
17, 18	棕の実1号橋 A1橋台縁端拡幅詳細図(1), (2)
19, 20	棕の実1号橋 A2橋台縁端拡幅詳細図(1), (2)
21～26	棕の実1号橋 主桁当て板補修工(1)～(6)
27	棕の実1号橋 塗装塗替え工
28	棕の実1号橋 上部工断面修復工
29	棕の実1号橋 下部工断面修復工
30	棕の実1号橋 床版継目漏水対策工
31, 32	棕の実1号橋 伸縮装置取替工(1), (2)
33	棕の実1号橋 防護柵補修工
34	棕の実1号橋 床版防水工・舗装打換工
35～38	棕の実1号橋 排水装置補修工(1)～(4)
39	棕の実1号橋 水切り設置工
40	棕の実1号橋 仮設計画図(参考図)

棕の実1号橋 現況一般図



橋梁諸元

竣工年	不明	
橋格	不明	
形式	上部工	下流側(旧橋部)：鋼単純非合成H桁橋 上流側(新橋部)：鋼単純H桁橋
	下部工	下流側(旧橋部)：重力式橋台 上流側(新橋部)：不明
	基礎工	下流側(旧橋部)：直接基礎
		上流側(新橋部)：不明
橋長	L=14,440m	
桁長	L=14,400m	
全幅員	W= 8,050m	
有効幅員	W= 7,550m	
舗装	下流側(旧橋部)：Co舗装 t=50mm, As舗装	
	上流側(新橋部)：As舗装 t=40mm(推定)	
斜角	G1-G2 右73°56'00" G3-G4 右87°25'59"	
交差条件	一級河川 佐々良木川	
適用示方書	不明	

<注記>

1. 本図は昭和42年河川占用許可申請添付図書及び現地実測に基づき復元した一般図である。

棕の実1号橋

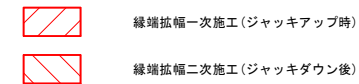
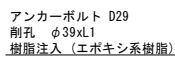
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	現況一般図		
縮尺	図示	図面番号	40 葉之内 1
会社名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵那市		

$S=1:20$

正面図

旧 橋

B - B



緑端拡幅一次施工(ジャッキアップ時)

縁端拡幅二次施工(ジャッキダウン後)

C - C



〈注記〉

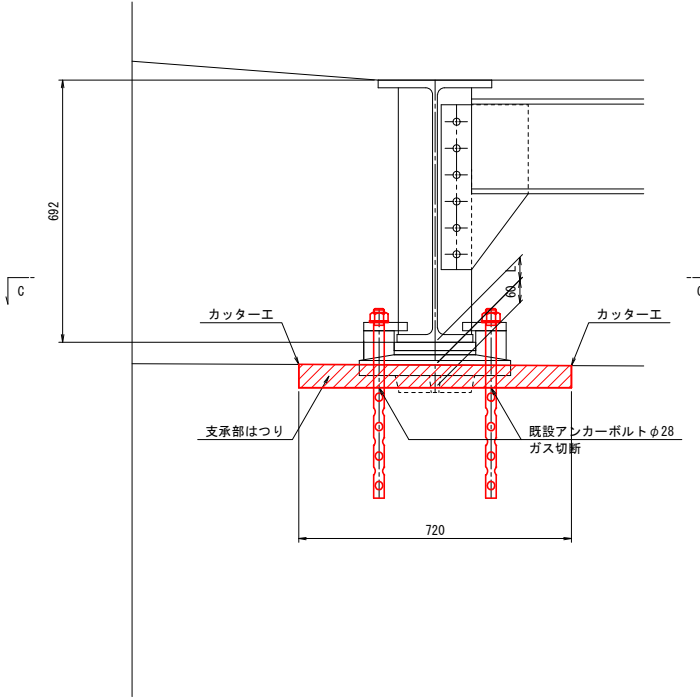
1. 製作寸法は現地実測後に決定すること。

橋の実1号橋			
業務名/工事名	橋の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道橋実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 橋実 地内		
図面の種類	A1橋台支承取替詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 4
会 社 名	株式会社興業コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

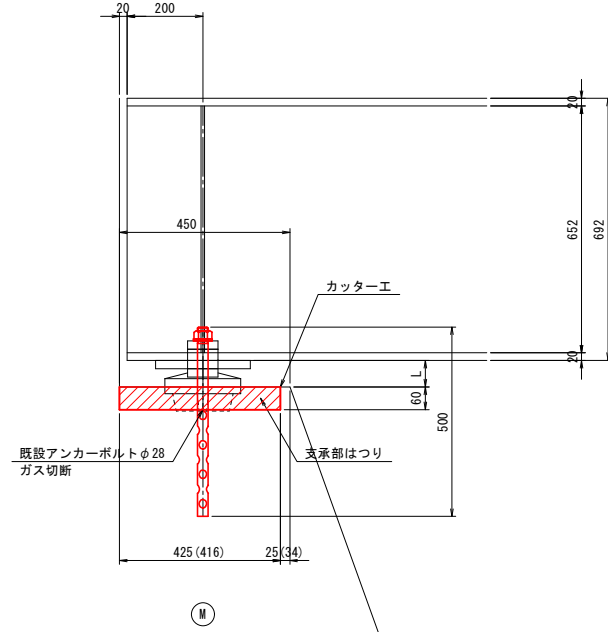
S=1:10

〈撤去図〉

A - A

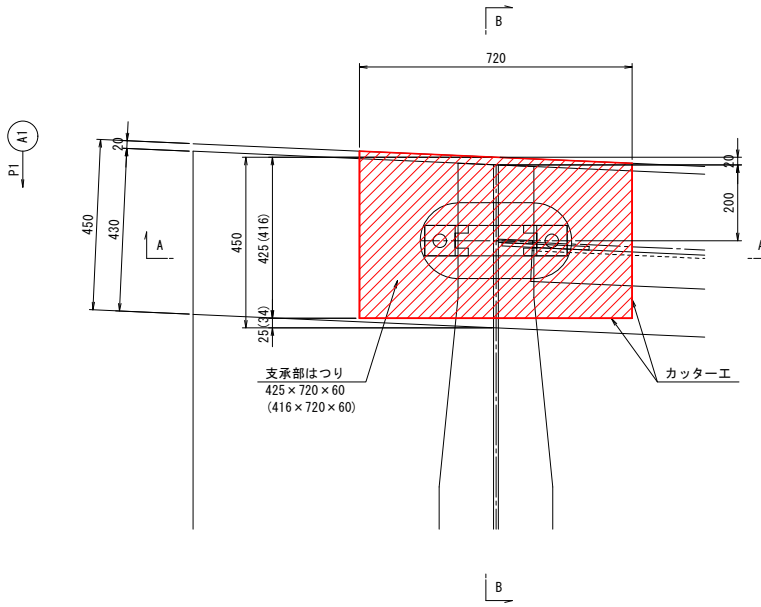


B -



※ ()内の数値は、G1, G2の寸法を示す

C - C



※ ()内の数値は、G1, G2の寸法を示す

(単位 mm)

	L
G1桁	80
G2桁	75
G3桁	70
G4桁	60

〔注記〕

1. 製作寸法は現地実測後に決定すること。
2. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は協議の上位置を決定すること。
3. 上部工・下部工の支承まわりは手はつりとし、アンカーボルトはコア削孔で行う。
横桁と下部工の空間部のコア削孔は特殊コア削孔機（高さ420mm）を使用すること。

棕の実1号標

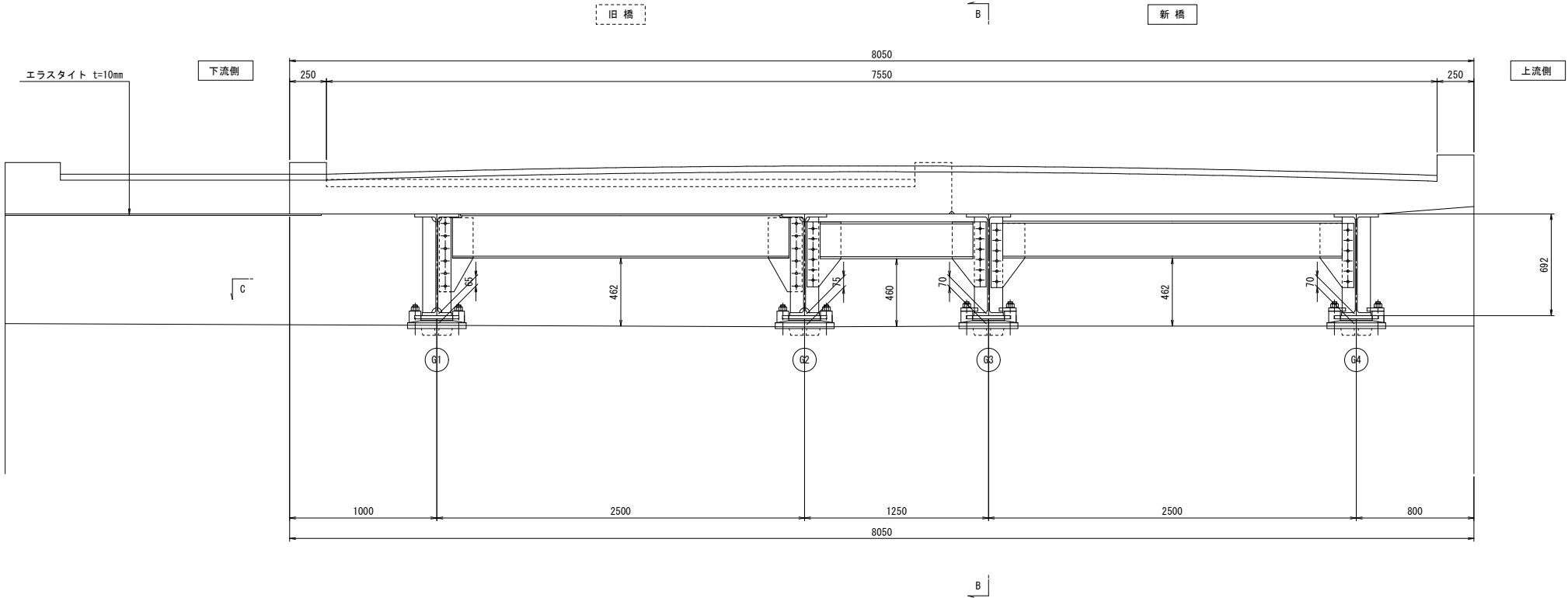
業務名/工事名	棟の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棟実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棟実 地内		
図面の種類	A1橋台支取替詳細図 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 5
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 A2橋台支承取替詳細図(1)
 S=1:20

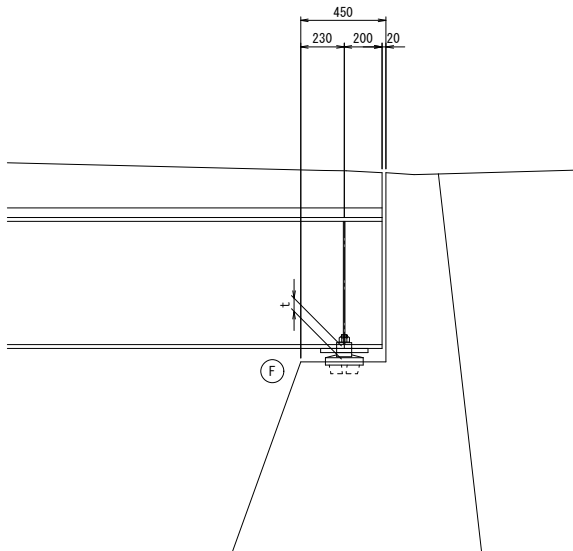
 <現 況 図>

正 面 図

A - A

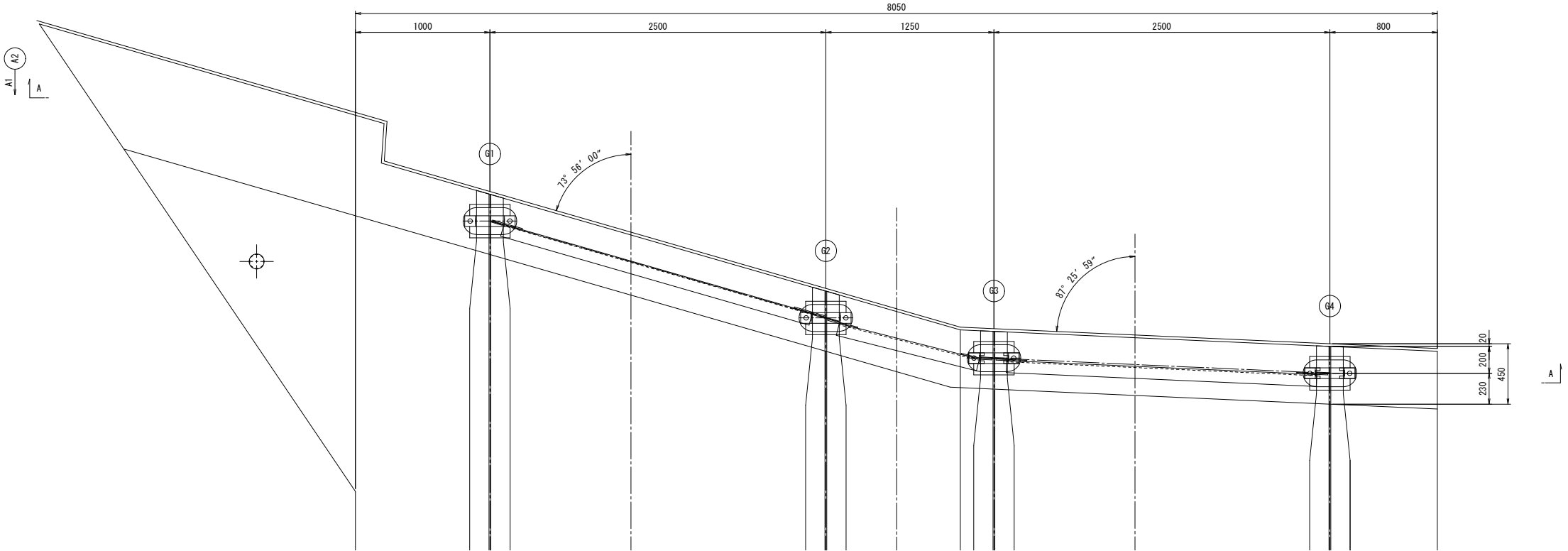


側 面 図



平 面 図

C - C



業務名/工事名				棕の実1号橋補修設計業務委託			
路線・河川名等				市道棕実線			
施工箇所名				恵那市 三郷町 棕実 地内			
図面の種類				A2橋台支承取替詳細図(1)			
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 7				
会 社 名				株式会社興栄コンサルタント			
事務所名				恵 那 市			

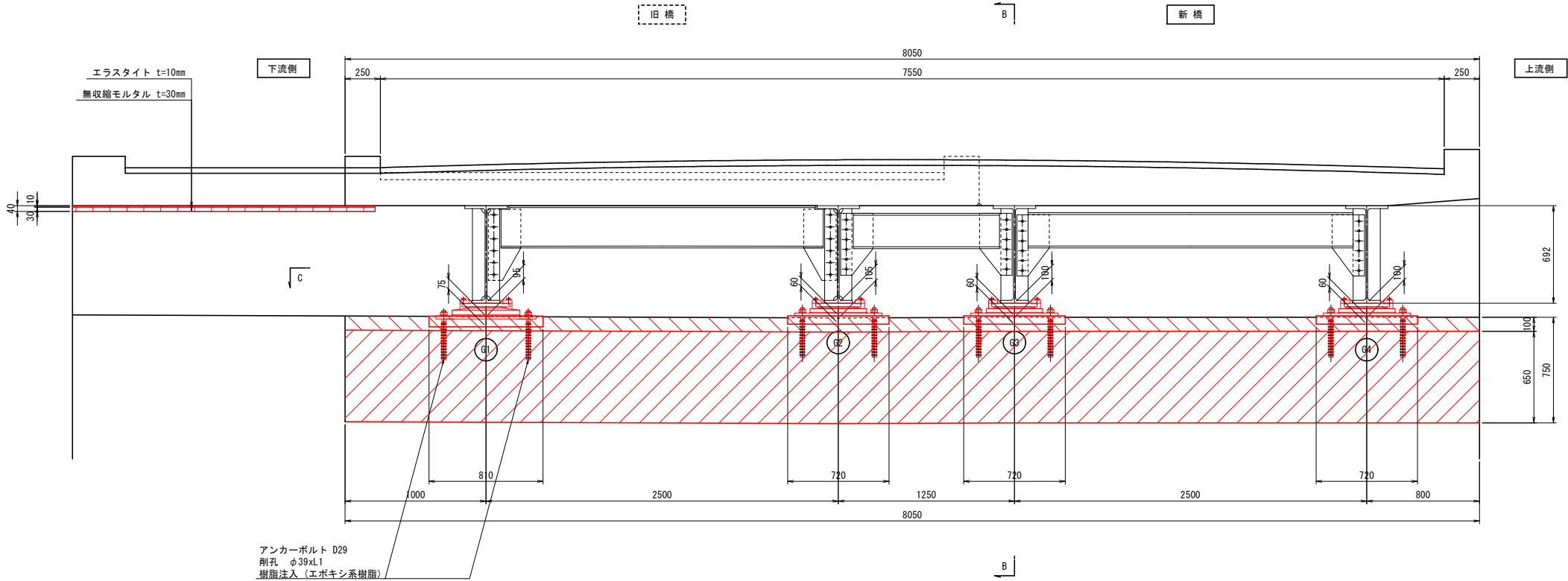
棕の実1号橋 A2橋台支承取替詳細図(2)

S=1:20

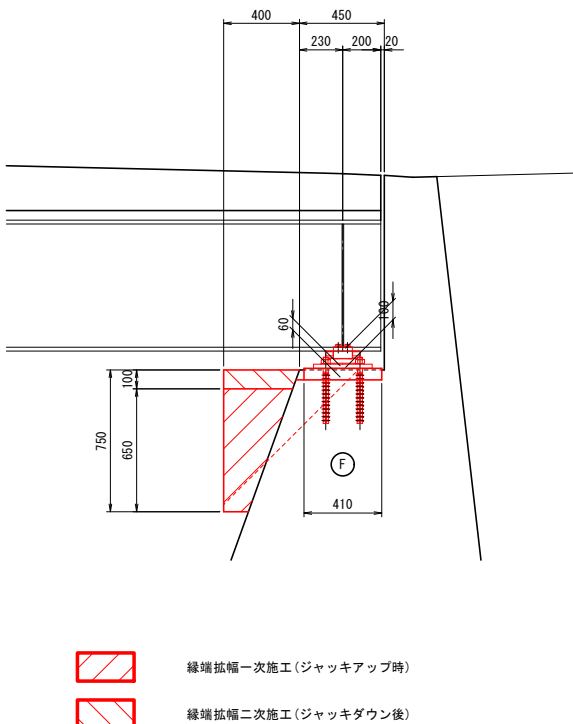
<取替完成図>

正面図

A - A

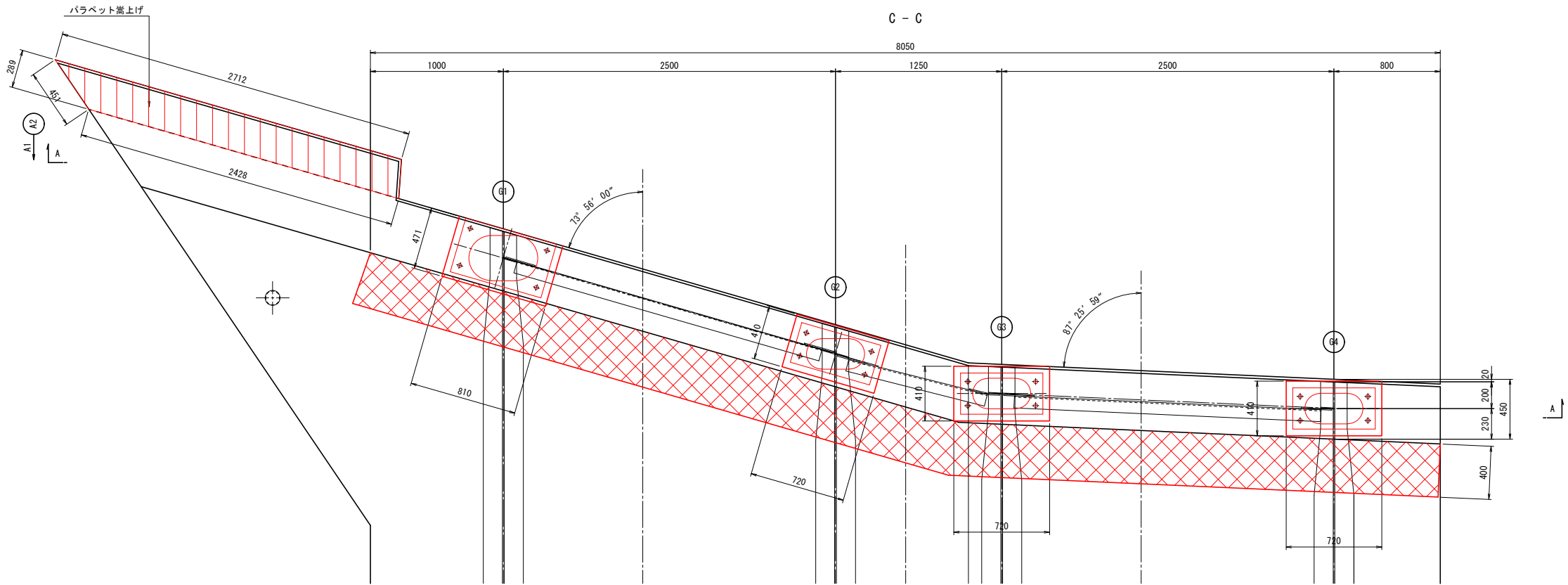


側面図



平面図

C - C

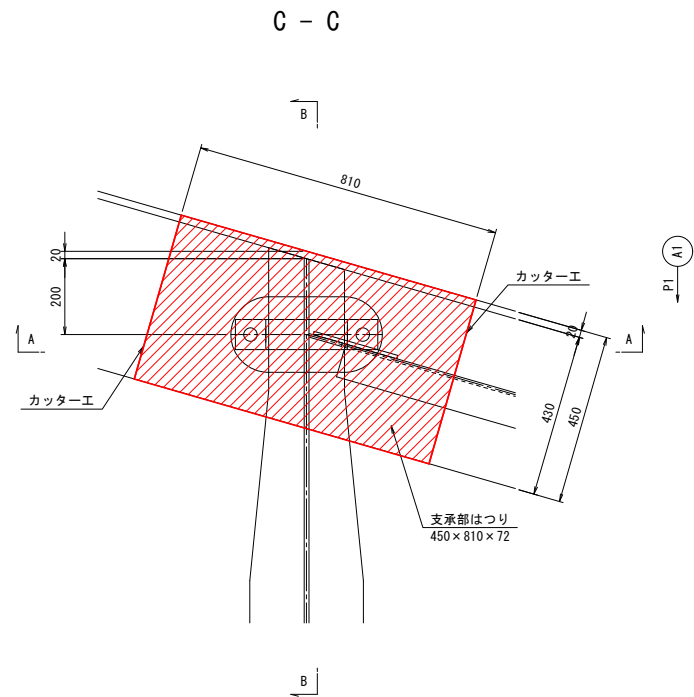
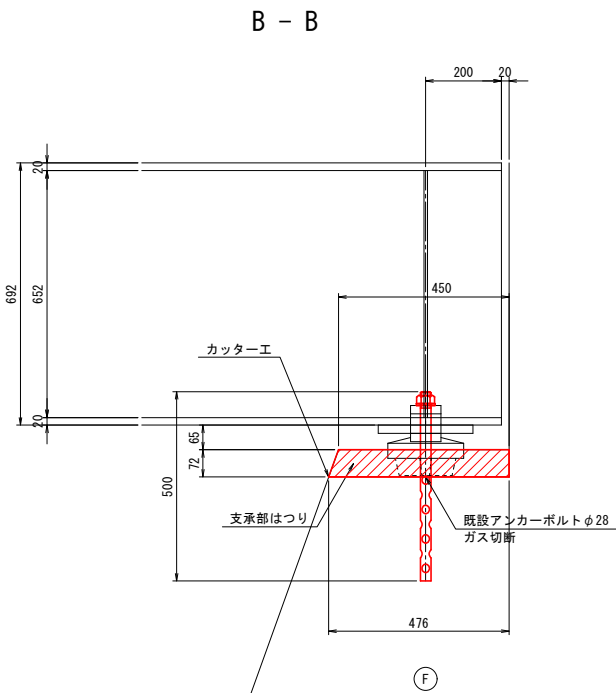
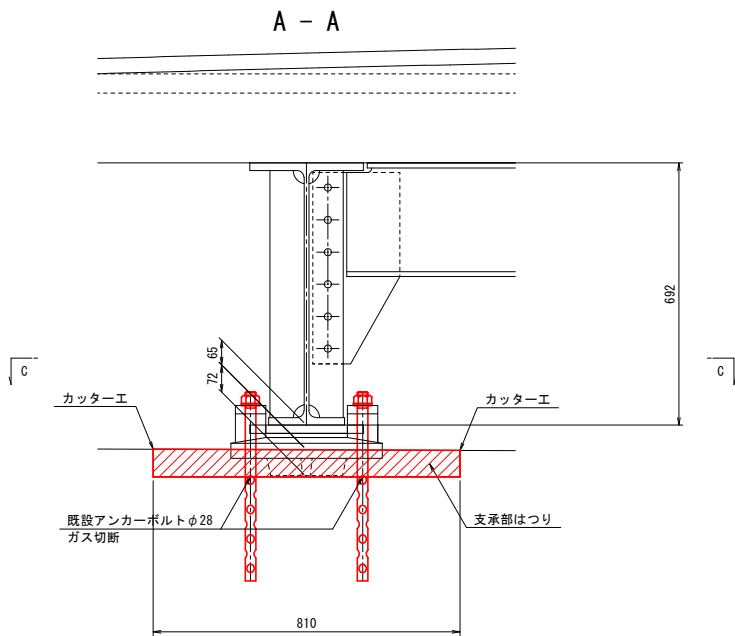


<注記>
 1. 製作寸法は現地実測後に決定すること。

棕の実1号橋			
業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道棕実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 棕実 地内	
図面の種類		A2橋台支承取替詳細図(2)	
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 8
会 社 名		株式会社興栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

棕の実1号橋 A2橋台支承取替詳細図(3)
 S=1:10

<撤去図>
 (G1桁)



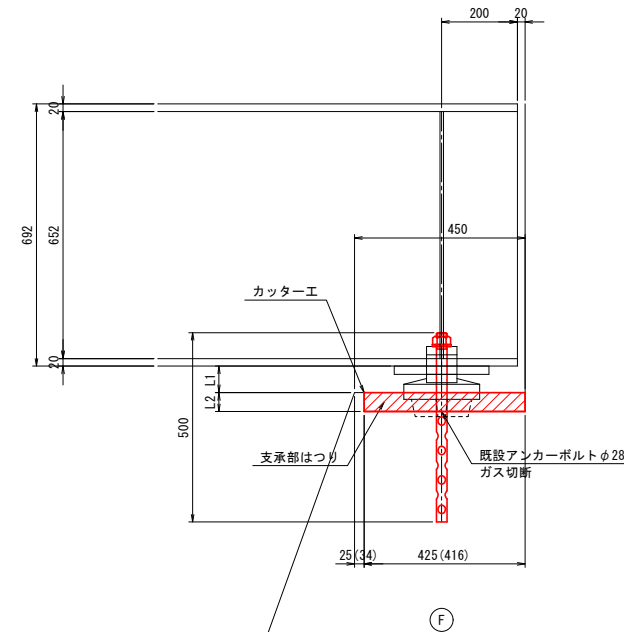
- <注記>
- 製作寸法は現地実測後に決定すること。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は協議の上位置を決定すること。
 - 上部工・下部工の支承まわりは手はつりとし、アンカーボルトはコア削孔で行う。横桁と下部工の空間部のコア削孔は特殊コア削孔機(高さ420mm)を使用すること。

棕の実1号橋			
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	A2橋台支承取替詳細図(3)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 9
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

S=1:10

(G2～G4桁)

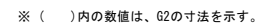
B - B



※ ()内の数値は、G2の寸法を示す。

寸法表 (単位 mm)

	L1	L2
G2桁	75	45
G3桁	70	50
G4桁	70	50



棕の実1号橋

業務名/工事名	様の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道榑実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 榑実 地内		
図面の種類	A2橋台支取替詳細図(4)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 10
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 A2橋台支承取替詳細図(6)

S=1:10

〈設置図〉
(G2~G4桁)

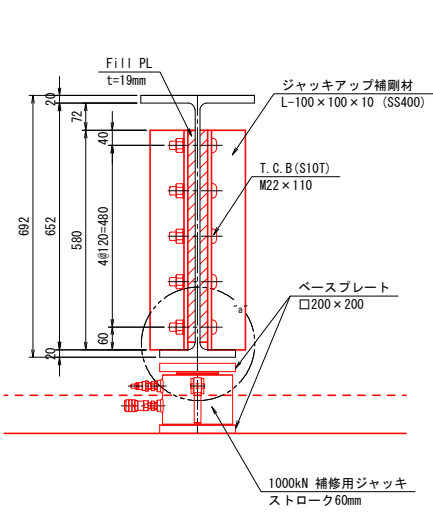
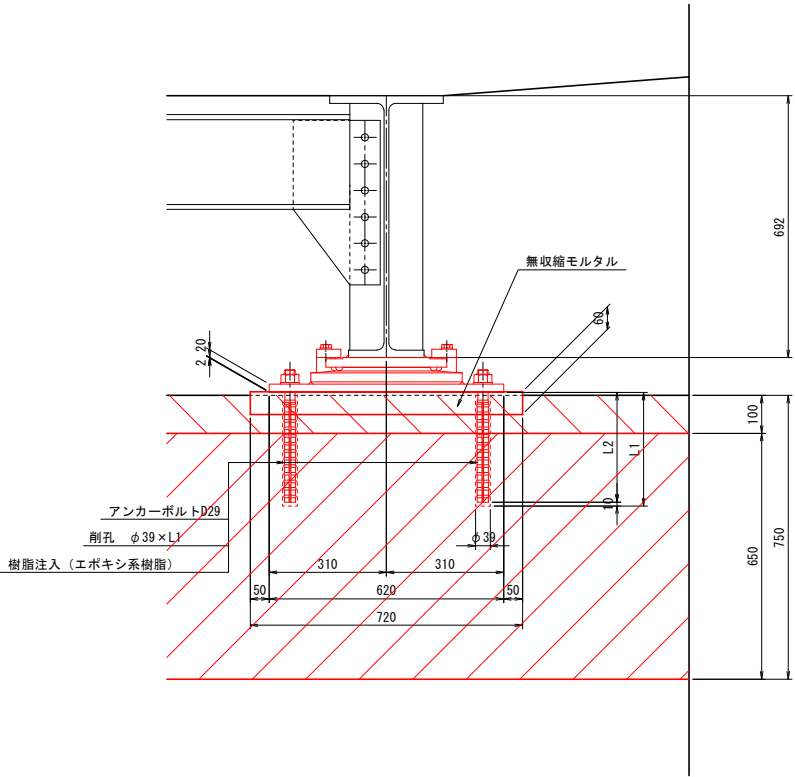
A - A

B - B

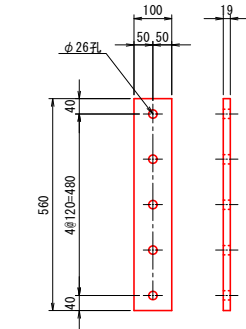
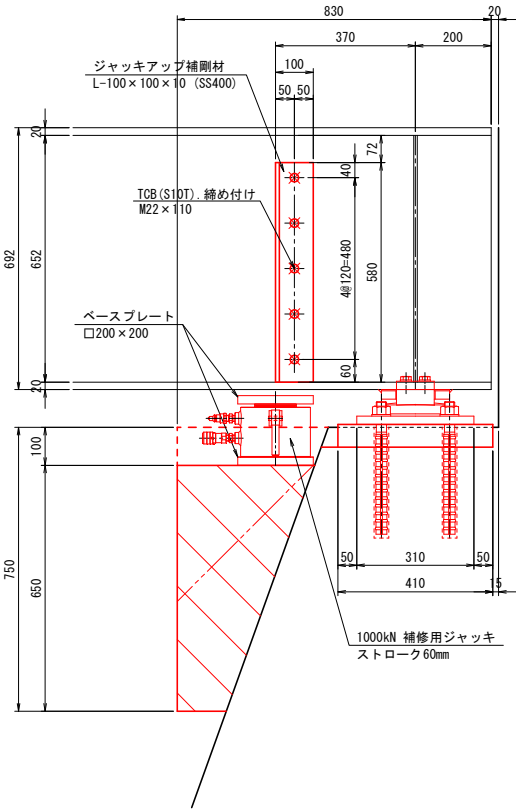
C - C

フィラープレート詳細

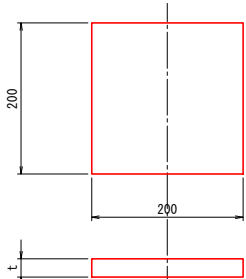
“a”部詳細 S=1:5



寸法表	(単位 mm)	
	L1	L2
G2桁	287	277
G3桁	292	282
G4桁	292	282

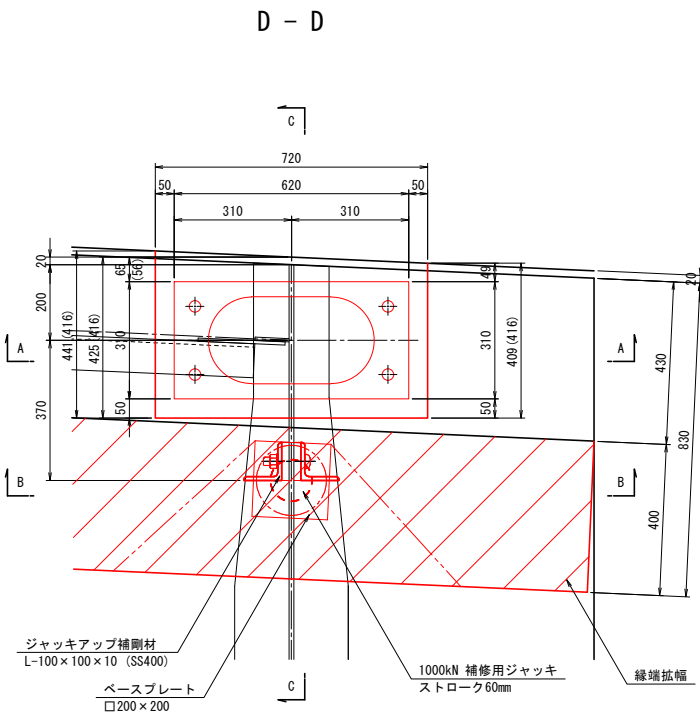
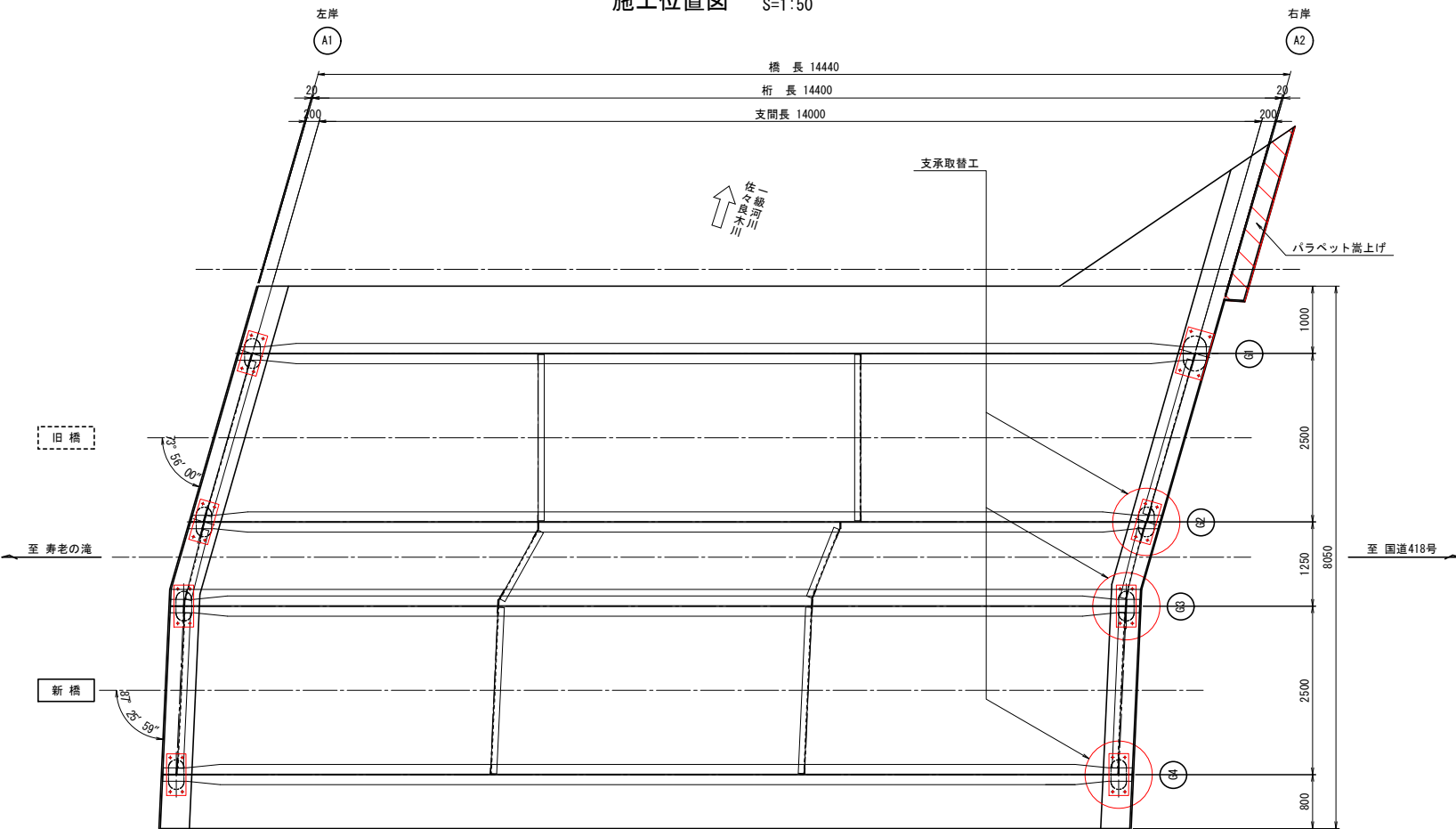


ベースプレート詳細図 S=1:5

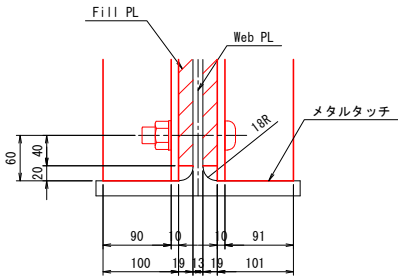


1箇所当り数量 (製作数:1箇所)
2-PL 200×t×200 (SS400)

施工位置図 S=1:50



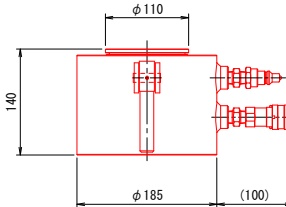
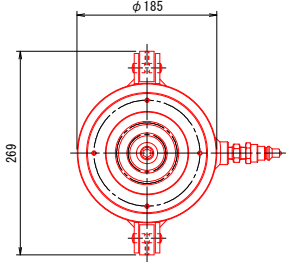
※ () 内の数値は、G2の寸法を示す。



1箇所当り数量 (製作数:3箇所)
2-L 100×100×10×580 (SS400)
2-PL 100×19×560 (SS400)
5-T.C.B. M22×110 (S10T)

ジャッキ詳細図 S=1:5

1000kN ストローク60mm

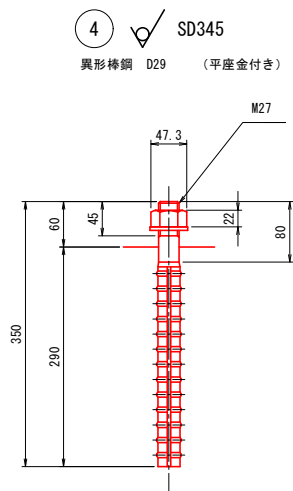
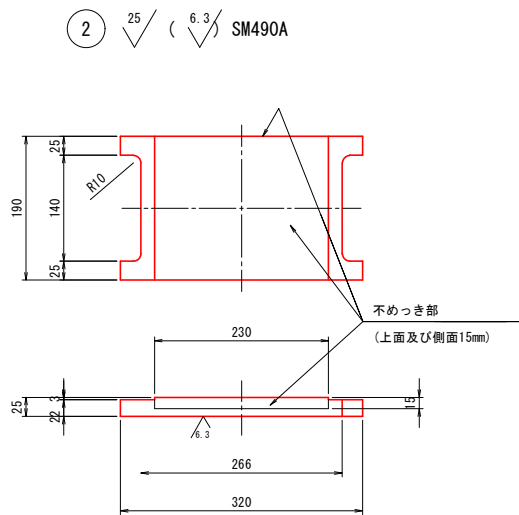
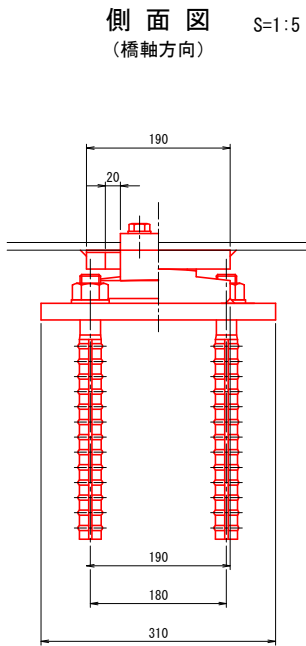
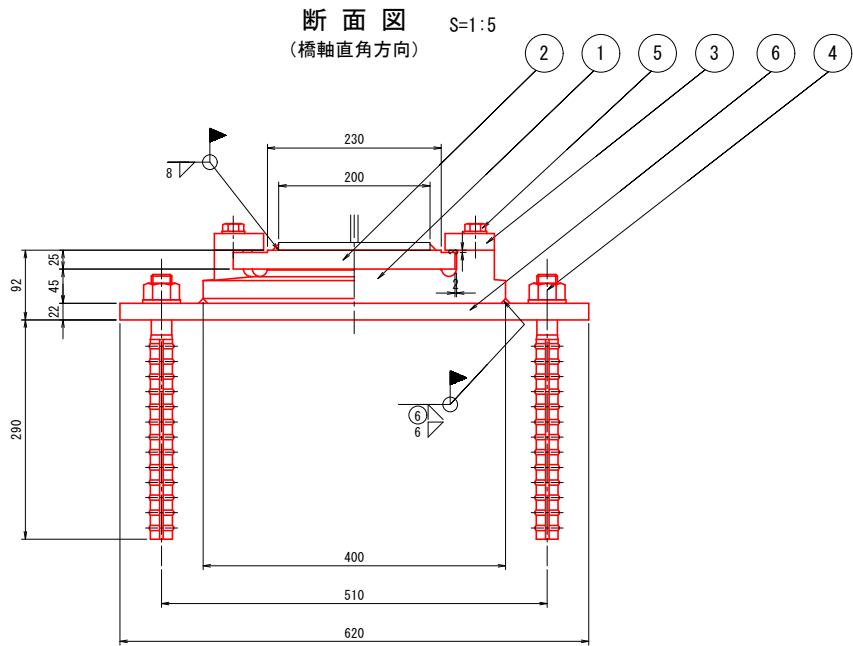


- 〈注記〉
1. 製作寸法は現地実測後に決定すること。
 2. 図中の調整プレートは参考値であり現地にて調整のこと。
 3. 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。又、アンカー位置の変更は協議の上位置を決定すること。
 4. 削孔は、現場孔明けφ24.5を示す。
 5. アンカーボルトのコア削孔は特殊コア削孔機(高さ420mm)を使用すること。

業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道棕実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 棕実 地内	
図面の種類		A2橋台支承取替詳細図(6)	
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 12
会 社 名		株式会社興栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

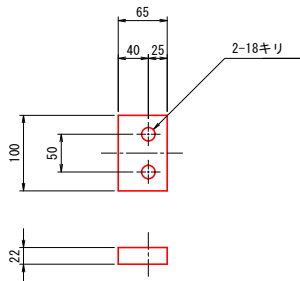
棕の実1号橋 支承詳細図(1)
(A1-G1~G4: 可動支承)

S=1:5

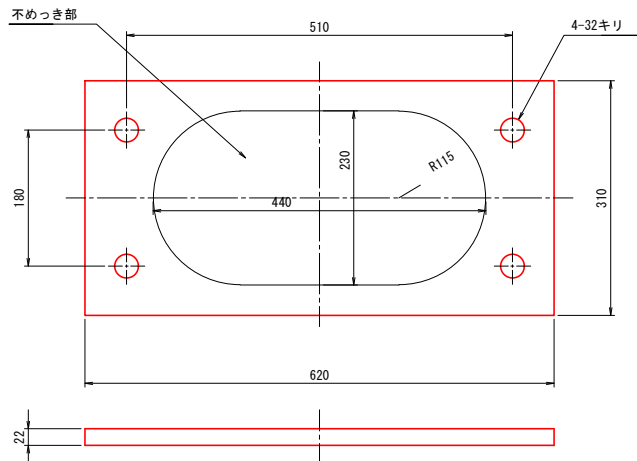


⑤ 六角ボルト 中 M16×50 強度区分4.8
(平座金付)

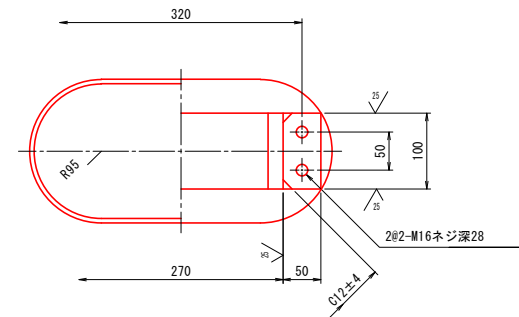
③ 25 / SS400



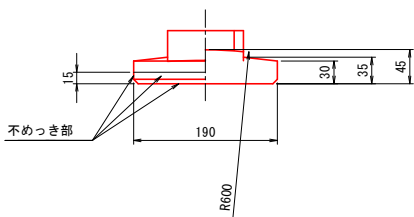
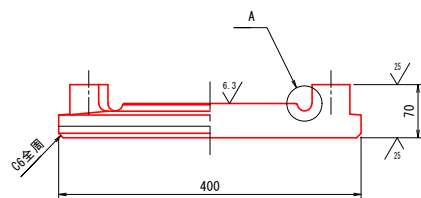
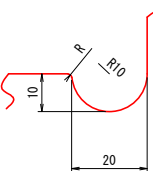
⑥ SM490A



① 25 / (6.3 / SCW480N



A部詳細 S=1:1



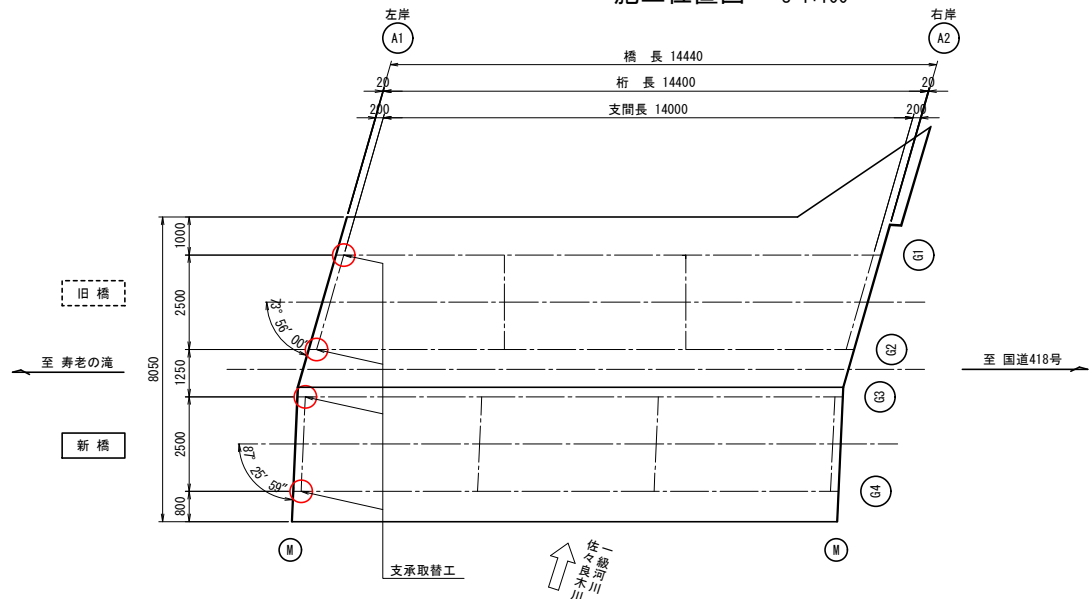
設計条件

反		力	
全	反	R	368 kN
死	荷重反力	R _d	125 kN
橋軸方向水平力	(移動時)	R _{H1f}	92 kN
橋軸方向水平力	(地震時)	R _{H1e}	25 kN
橋軸直角方向水平力	(地震時)	R _{H2e}	25 kN
上	揚力	V	12 kN
移動量			
計算移動量	e1	-	mm
移動可能量	e	40	mm
水平震度			
設計水平震度	K _H	0.20	
摩擦係数			
設計摩擦係数	f	0.25	
支承条件			
橋軸方向: 可動		橋軸直角方向: 固定	

材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量 (kg)	備 考
①	下 査	SCW480N	1	23.1	
②	上 査	SM490A	1	10.2	
③	ピンチプレート	SS400	2	2.1	
④	アンカーボルト・ナット・座金	SD345	4	7.9	JIS B 1181 1種 中 M27
⑤	六角ボルト・座金	-	4	0.5	JIS B 1180 JIS B 1256
⑥	ベースプレート	SM490A	1	32.6	
全 重 量				76.4 (kg)	
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき		JIS H 8641 HDZT77, HDZT49 (ボルト類)			

施工位置図 S=1:100



〈注記〉

- 現場実測後検討し、製作すること。
- 部番の○印部品をめっきのこと。
JIS H 8641 HDZT77, ボルト類はHDZT49とする。
- 不めっき部は開先防錆剤を塗布のこと。現場溶接後、高温度亜鉛末塗装のこと。
- 必要に応じて吊り用ネジを設けても良い。

棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道榎実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 榎実 地内		
図面の種類	支承詳細図(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 13
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

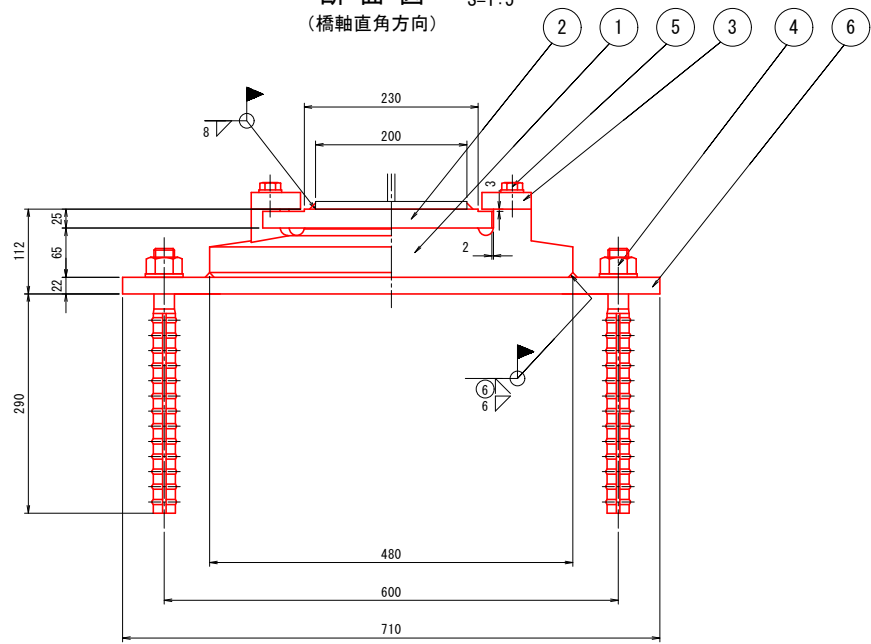
棕の実1号橋 支承詳細図(2)

(A2-G1: 固定支承)

S=1:5

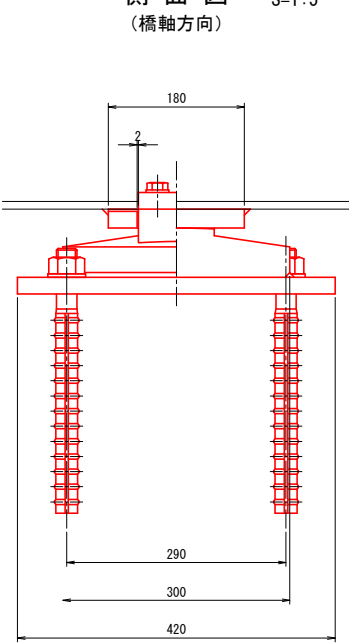
断面図
(橋軸直角方向)

S=1:5

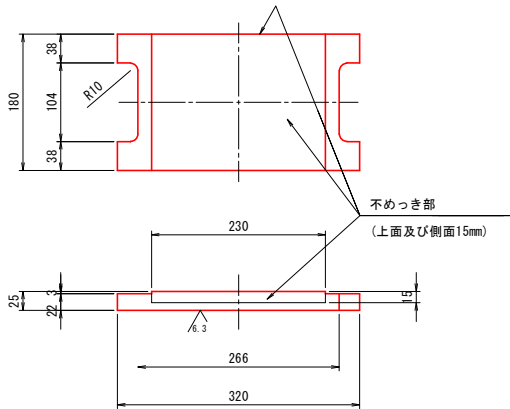


側面図
(橋軸方向)

S=1:5

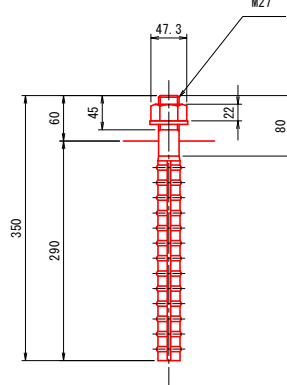


2 25 (6.3) SM490A



4 SD345

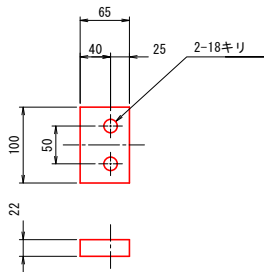
異形棒鋼 D29 (平座金付き)



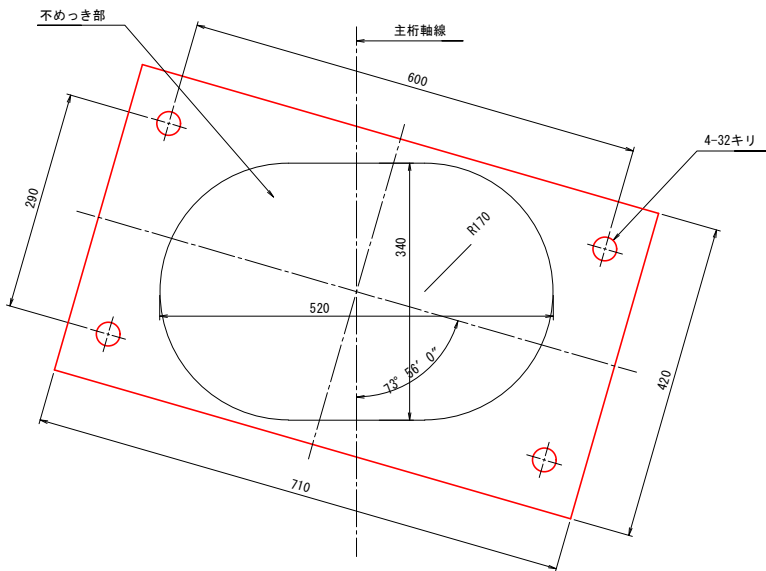
5 六角ボルト 中 M16×50 強度区分8.8

(平座金付)

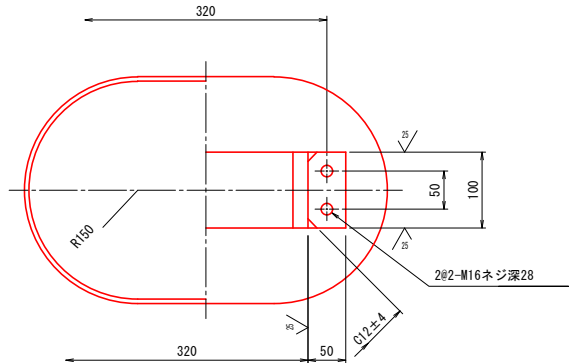
3 25 SS400



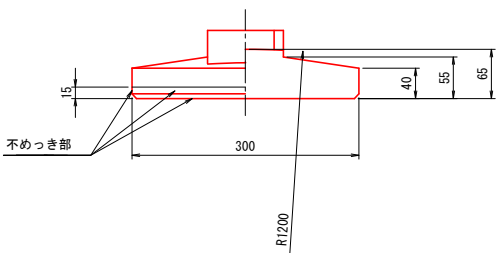
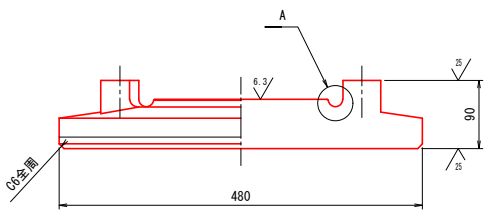
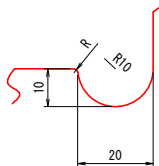
6 SM490A



1 25 (6.3) SCW480N



A部詳細 S=1:1



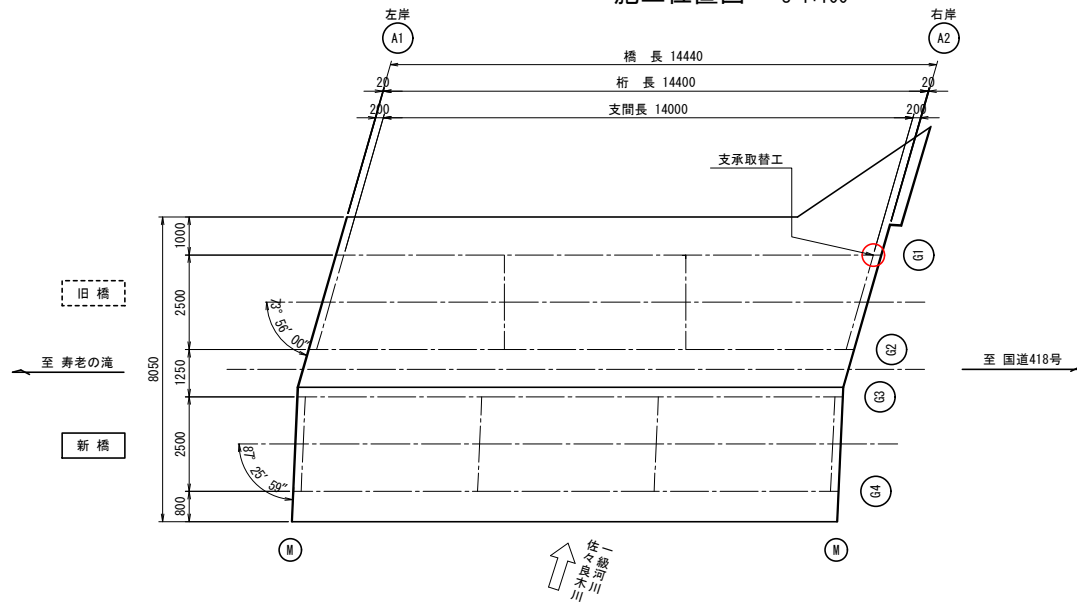
設計条件

反		力	
全	反	力	R
703	kN		
死	荷	重	R _d
153	kN		
橋	軸	方	向
水	平	力	(移動時)
R _{H1f}			176 kN
橋	軸	方	向
水	平	力	(地震時)
R _{H1e}			61 kN
橋	軸	直	角
方	向	水	平
力			(地震時)
R _{H2e}			31 kN
上	揚	力	(地震時)
V			15 kN
水 平 震 度			
設	計	水	平
震	度	K _H	0.20
摩 擦 係 数			
設	計	摩	擦
係	数	f	0.25
支 承 条 件			
橋 軸 方 向 : 固 定		橋 軸 直 角 方 向 : 固 定	

材 料 表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量 (kg)	備 考
1	下 査	SCW480N	1	53.2	
2	上 査	SM490A	1	10.0	
3	ピン チ プ レ ー ト	SS400	2	2.1	
4	アンカーボルト・ナット・座金	SD345	4	7.9	JIS B 1181 1種 中 M27
5	六角ボルト・座金	—	4	0.5	JIS B 1180 JIS B 1256
6	ベースプレート	SM490A	1	50.9	
全 重 量			124.6	(kg)	
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき		JIS H 8641 HDZT77, HDZT49 (ボルト類)			

施工位置図 S=1:100



〈注記〉

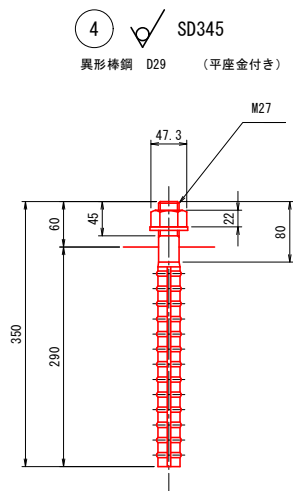
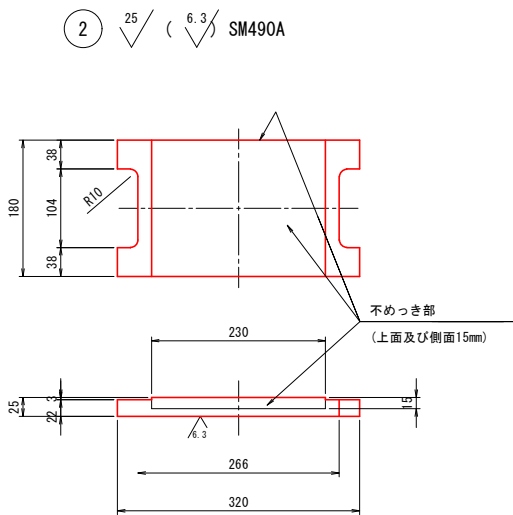
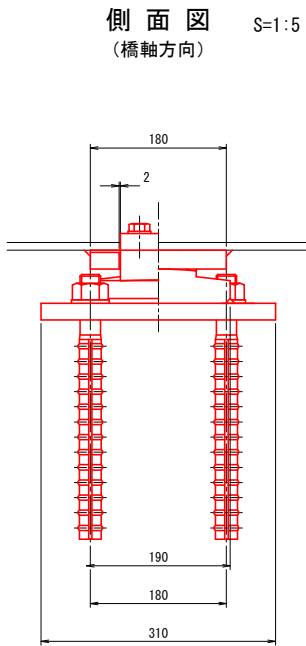
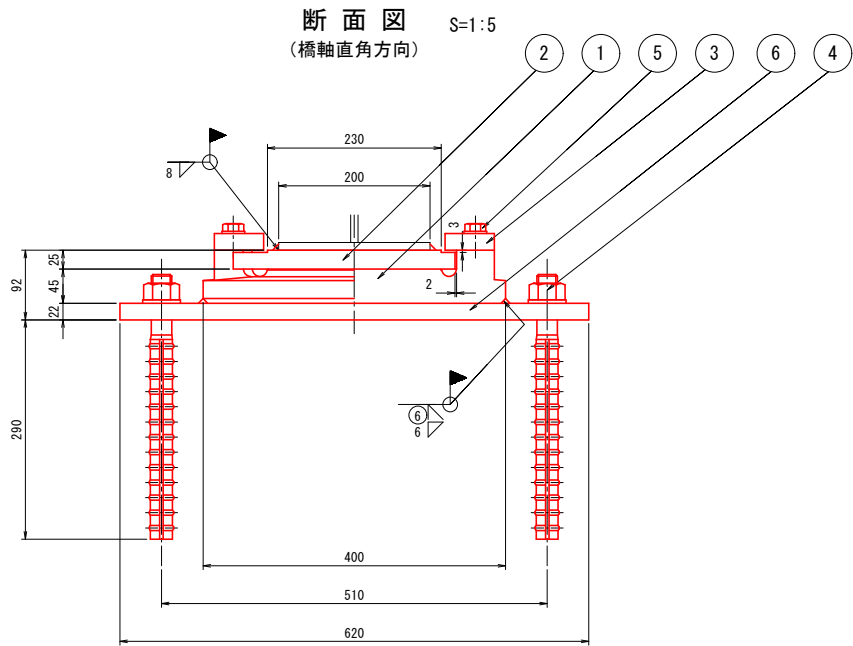
- 現場実測後検討し、製作すること。
- 部番の○印部品をめっきのこと。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- 不めっき部は開先防錆剤を塗布のこと。現場溶接後、
高濃度亜鉛末塗装のこと。
- 必要に応じて吊り用ネジを設けても良い。

棕の実1号橋

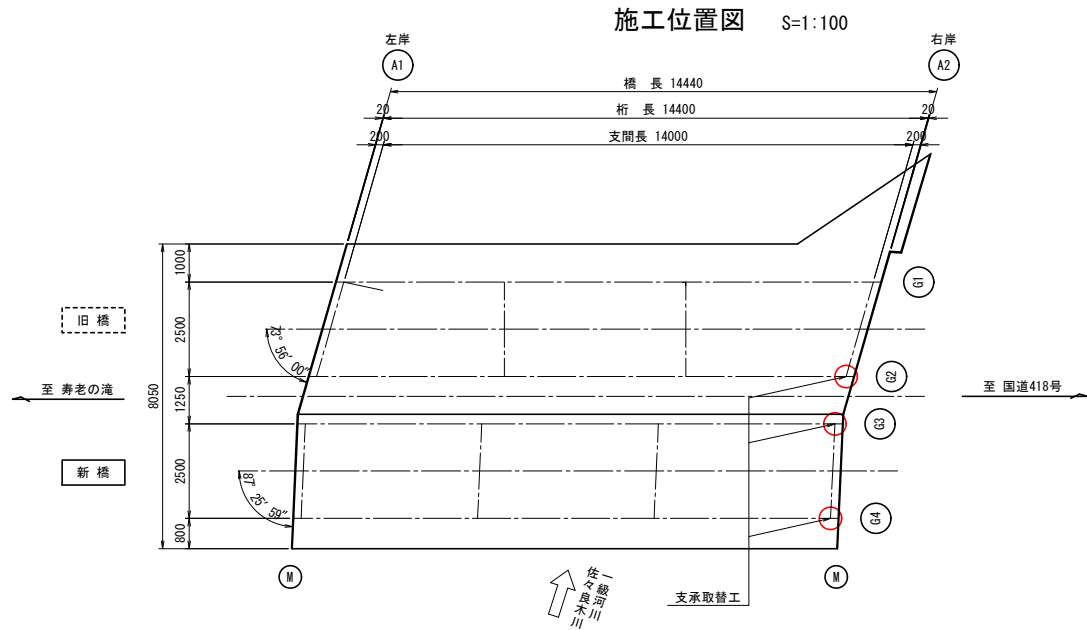
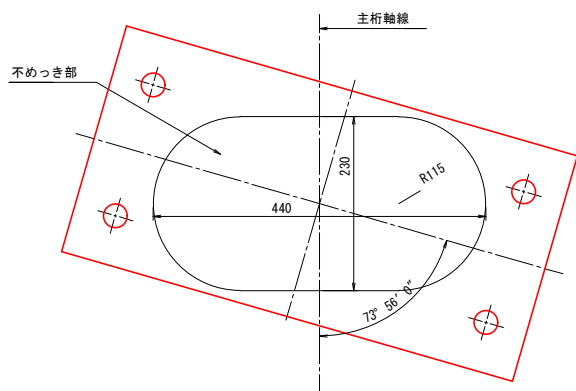
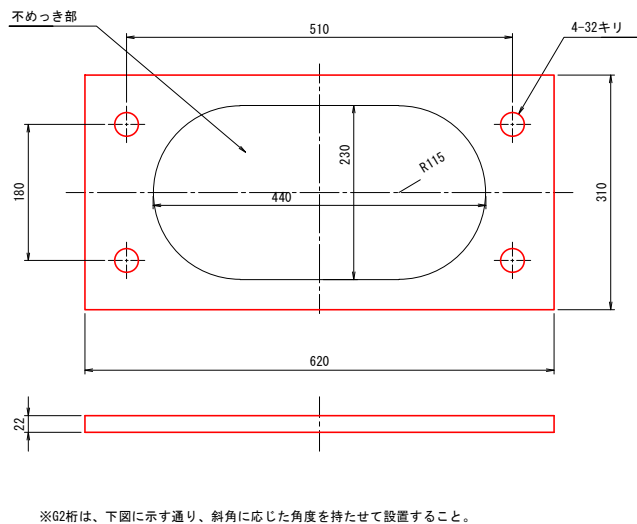
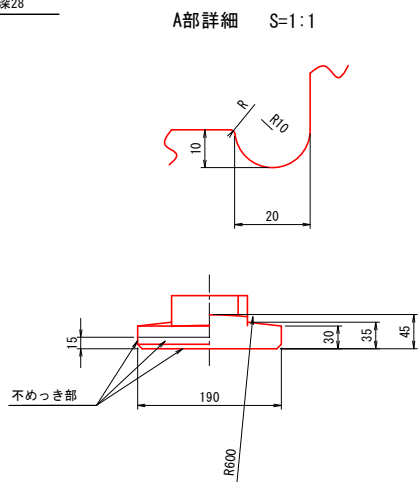
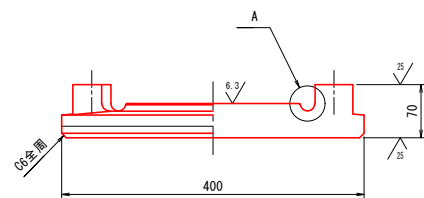
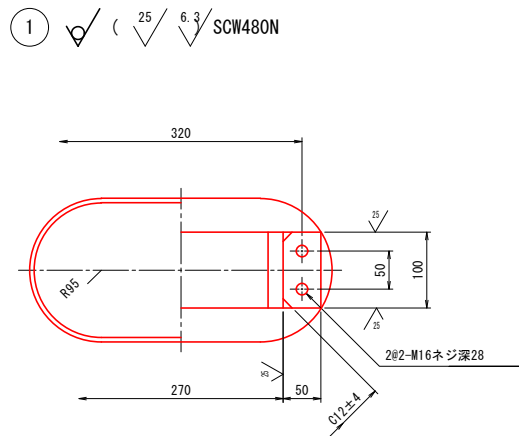
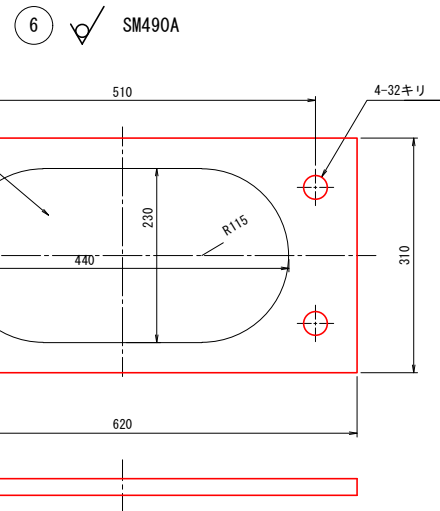
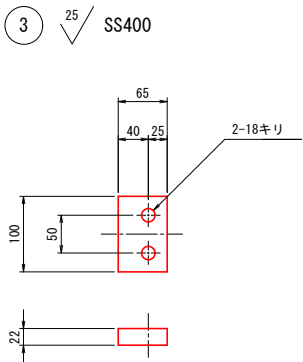
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	支承詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 14
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 支承詳細図(3)
(A2-G2~G4: 固定支承)

S=1:5



5 六角ボルト 中 M16×50 強度区分4.8
(平座金付)



〈注記〉

- 現場実測後検討し、製作すること。
- 部番の○印部品をめっきのこと。
JIS H 8641 HDZT77、ボルト類はHDZT49とする。
- 不めっき部は開先防錆剤を塗布のこと。現場溶接後、高濃度亜鉛末塗装のこと。
- 必要に応じて吊り用ネジを設けても良い。

設計条件

反		力	
全	反 力	R	316 kN
死	荷 重 反 力	R _d	116 kN
橋 軸 方 向	水 平 力 (移動時)	R _{H1f}	79 kN
橋 軸 方 向	水 平 力 (地震時)	R _{H1e}	46 kN
橋 軸 直 角 方 向	水 平 力 (地震時)	R _{H2e}	23 kN
上	揚 力 (地震時)	V	12 kN
水 平 震 度			
設 計 水 平 震 度		K _H	0.20
摩 擦 係 數			
設 計 摩 擦 係 數		f	0.25
支 承 条 件			
橋 軸 方 向：固 定		橋 軸 直 角 方 向：固 定	

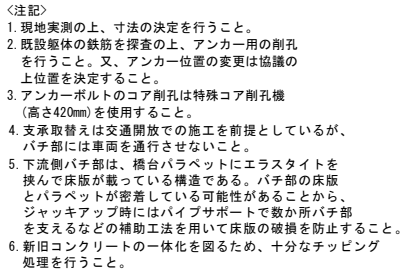
材料表

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量 (kg)	備 考
①	下 番	SCW480N	1	23.1	
②	上 番	SM490A	1	10.0	
③	ピ ン チ プ レ ー ト	SS400	2	2.1	
④	アンカーボルト・ナット・座金	SD345	4	7.9	JIS B 1181 1種 中 M27
⑤	六 角 ボ ル ト ・ 座 金	—	4	0.5	JIS B 1180 JIS B 1256
⑥	ベ ー ス プ レ ー ト	SM490A	1	32.6	
全 重 量			76.2	(kg)	
一 般 外 面 の 防 食 処 理					
溶融亜鉛めっき		JIS H 8641 HDZT77, HDZT49 (ボルト類)			

棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道榎実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 榎実 地内		
図面の種類	支承詳細図 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 15
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

S=1:20



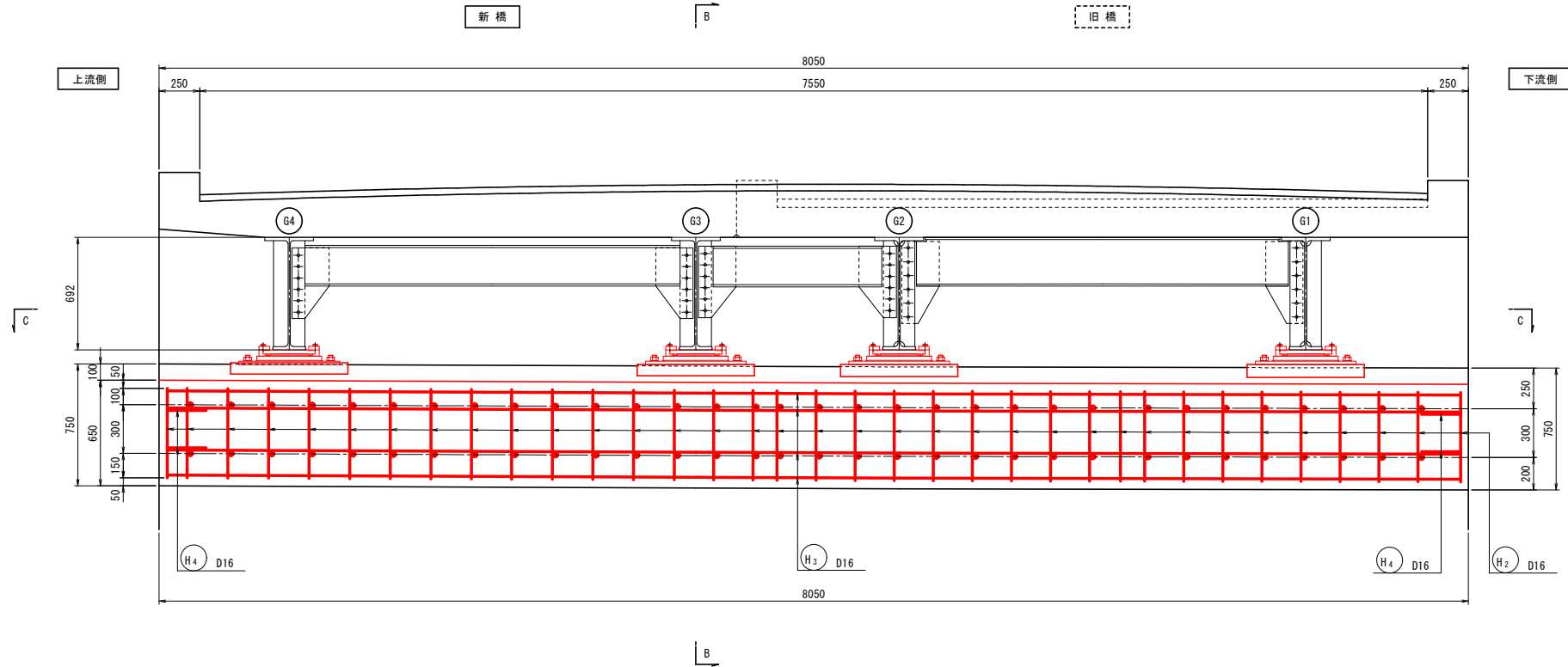
橋の実1号橋			
業務名/工事名		橋の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道橋実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 橋実 地内	
図面の種類		支取代替工施工要領図	
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 16
会 社 名		株式会社員栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

棕の実1号橋 A1橋台縁端拡幅詳細図(1)

S=1:20

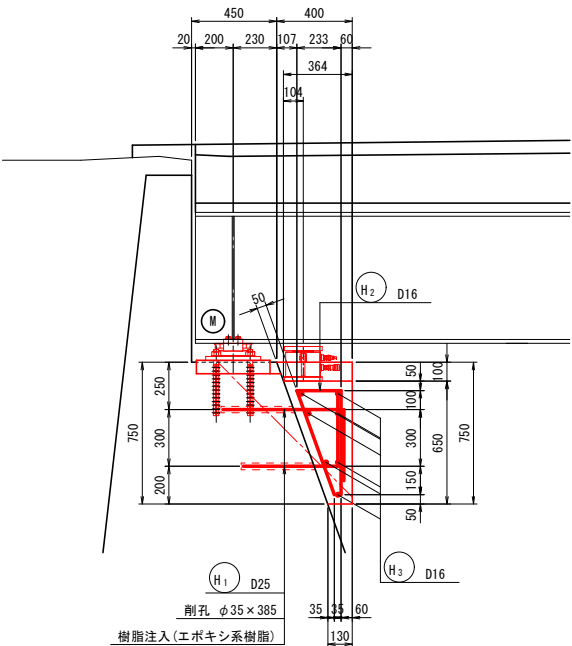
正面図

A - A



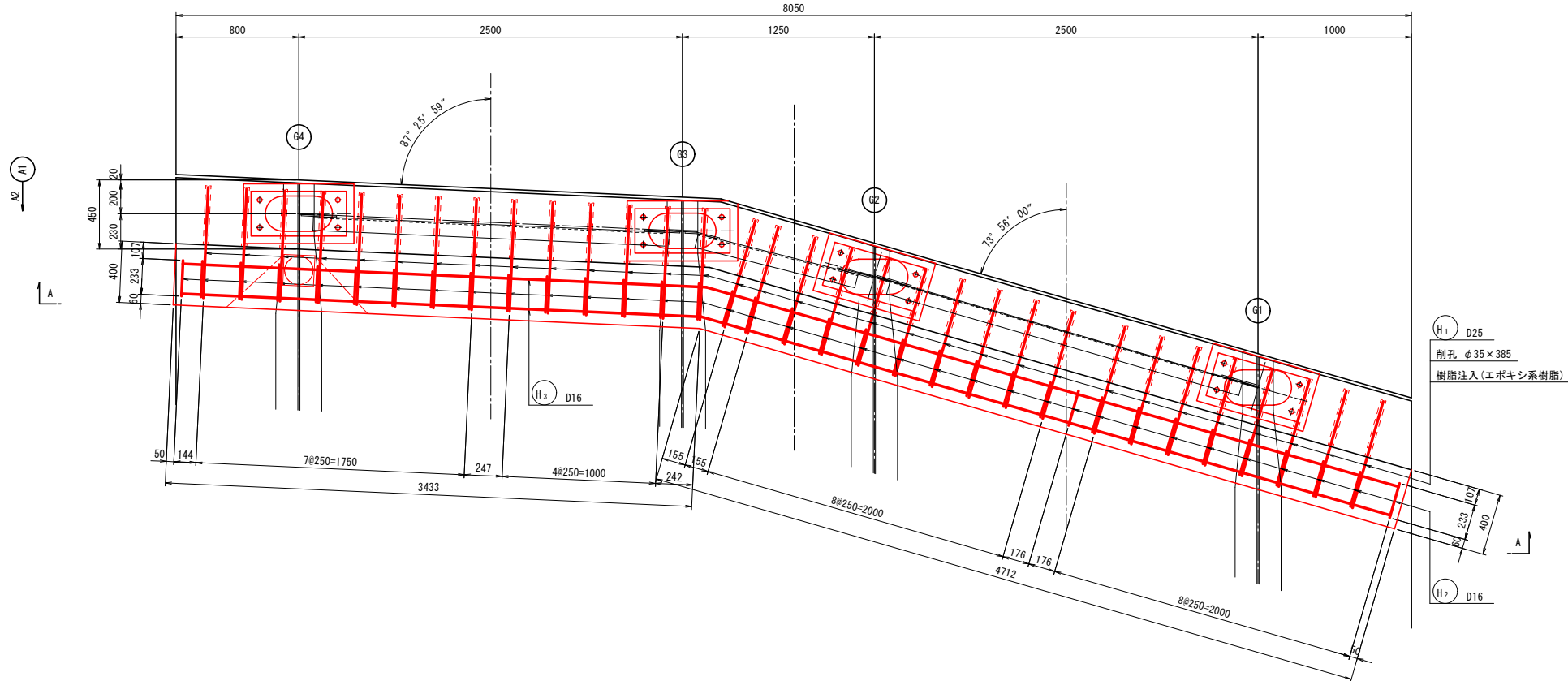
側面図

B - B



平面図

C - C

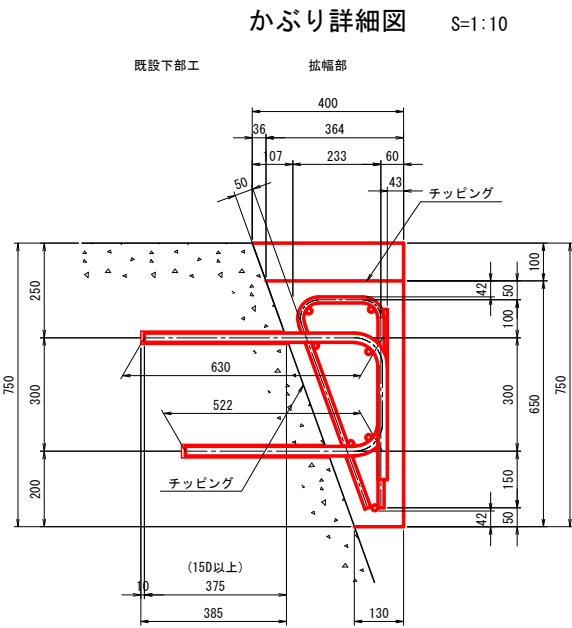


- <注記>
- 現場施工・材料加工にあたっては、現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 - コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
 - 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチッピング処理を行うこと。

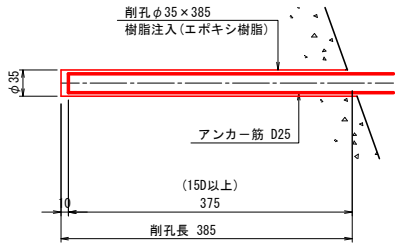
業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道棕実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 棕実 地内	
図面の種類		A1橋台縁端拡幅詳細図(1)	
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 17
会 社 名		株式会社興栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

棕の実1号橋 A1橋台縁端拡幅詳細図(2)

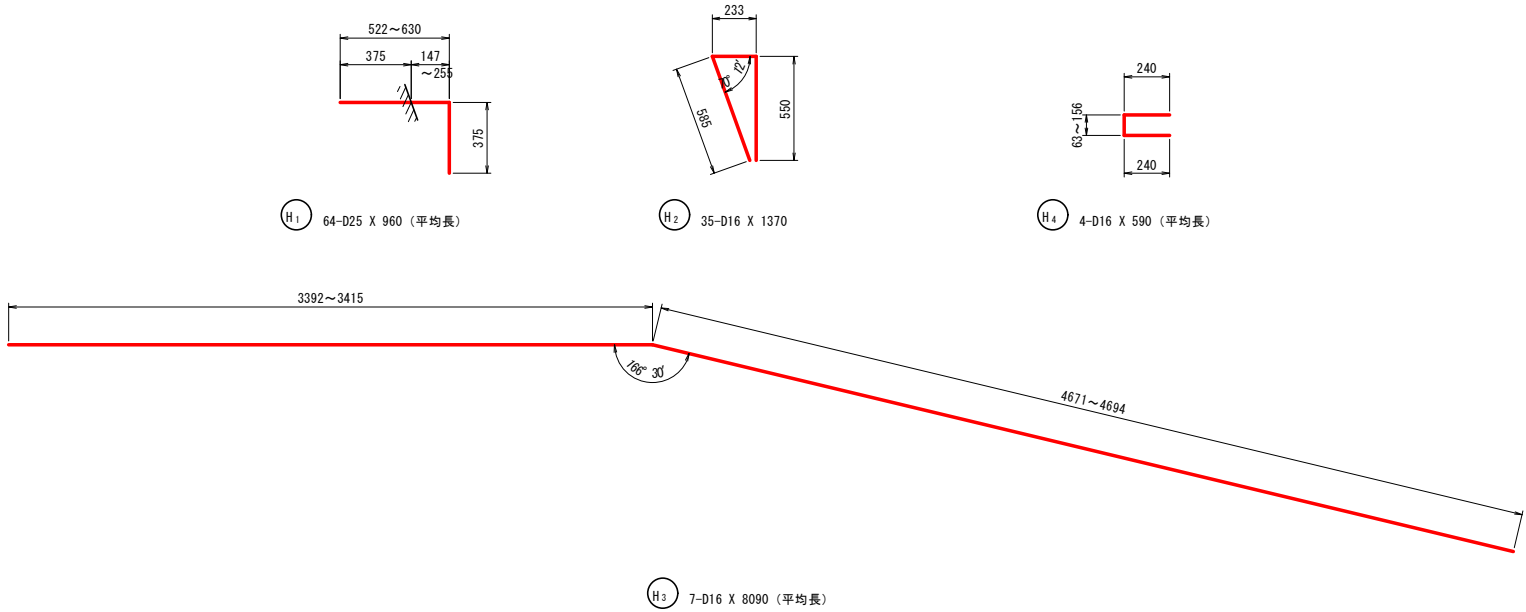
S=1:20



アンカー筋定着部詳細図 S=1:5



加工図



鉄筋質量表

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質量 (kg)	摘要
H ₁	D25	960	64	3.98	3.82	244	〔平均長〕
アンカー筋							
合 計 D25				244 kg			
総質量				244 kg			
H ₂	D16	1370	35	1.56	2.14	75	〔平均長〕
H ₃	D16	8090	7	1.56	12.62	88	〔平均長〕
H ₄	D16	590	4	1.56	0.92	4	〔平均長〕
167							
合 計 D16				167 kg			
総質量				167 kg			

- <注記>
- 現場施工・材料加工にあたっては、現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 - コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
 - 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチップング処理を行うこと。

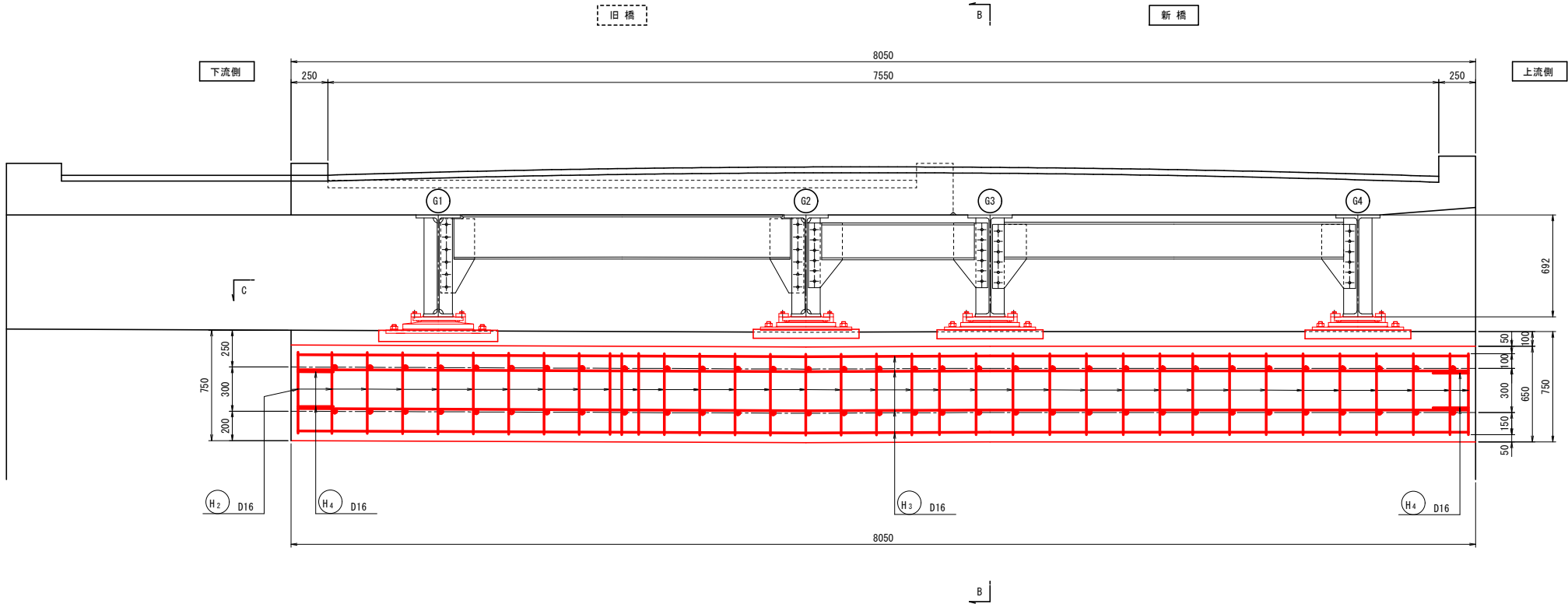
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	A1橋台縁端拡幅詳細図(2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 18
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 A2橋台縁端拡幅詳細図(1)

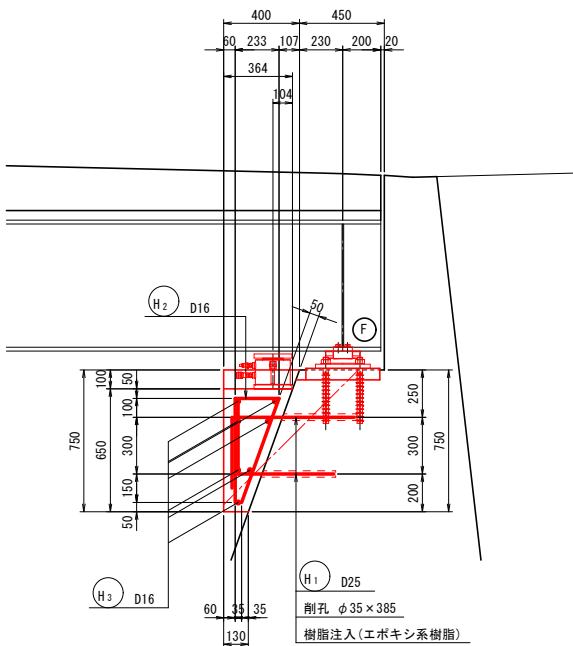
S=1:20

正面図

A - A

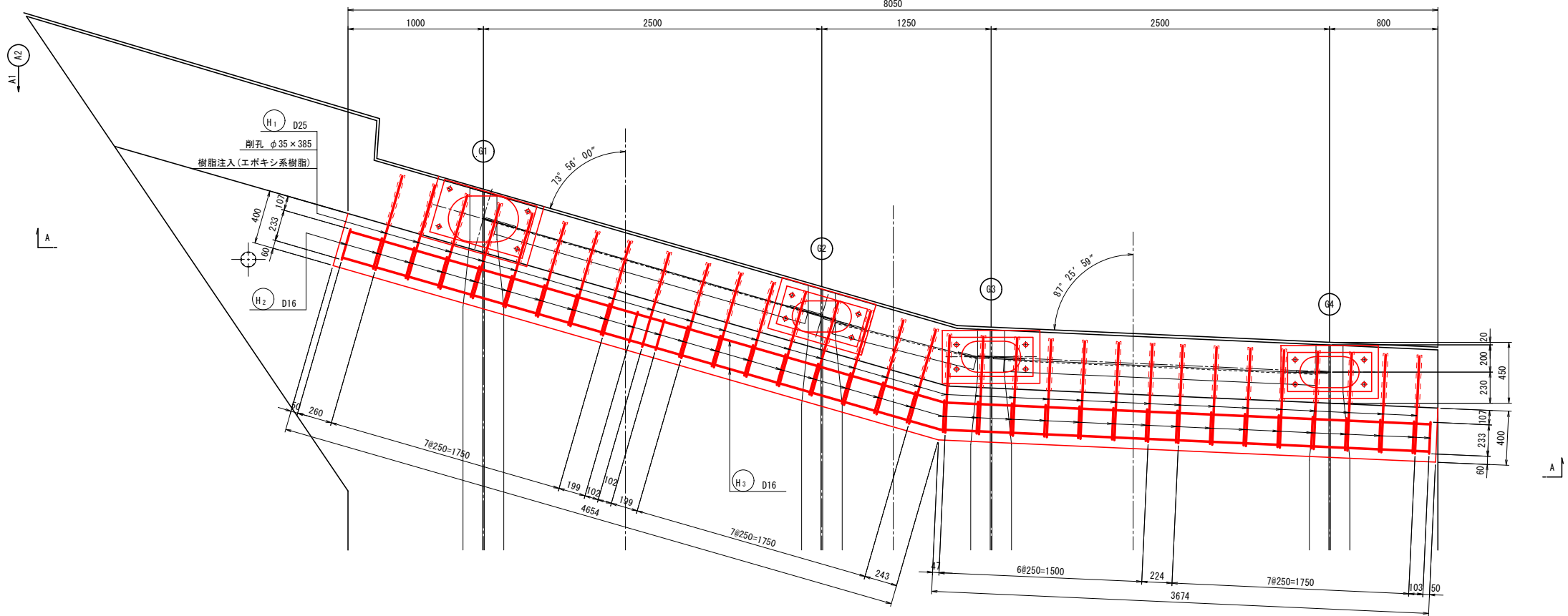


側面図



平面図

C - C

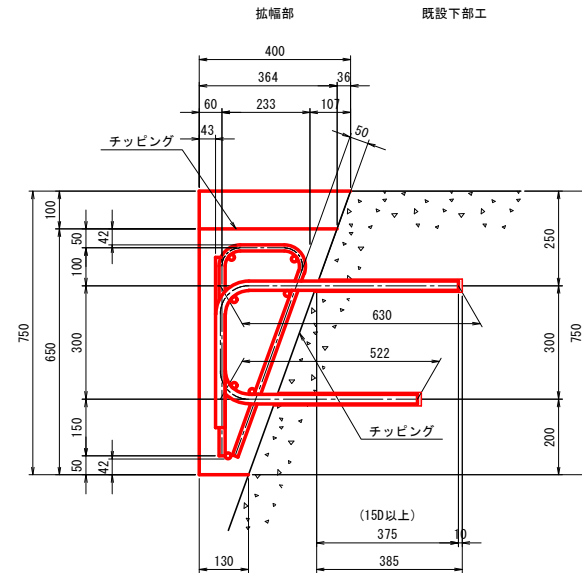


- <注記>
- 現場施工・材料加工にあたっては、現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
 - 既設躯体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
 - コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 、鉄筋の材質はSD345とする。
 - 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチッピング処理を行うこと。

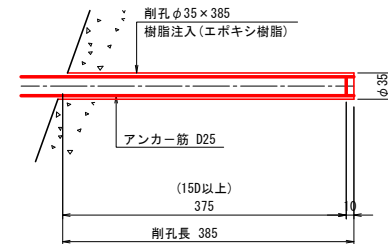
業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道棕実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 棕実 地内	
図面の種類		A2橋台縁端拡幅詳細図(1)	
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 19
会 社 名		株式会社興栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

S=1 : 20

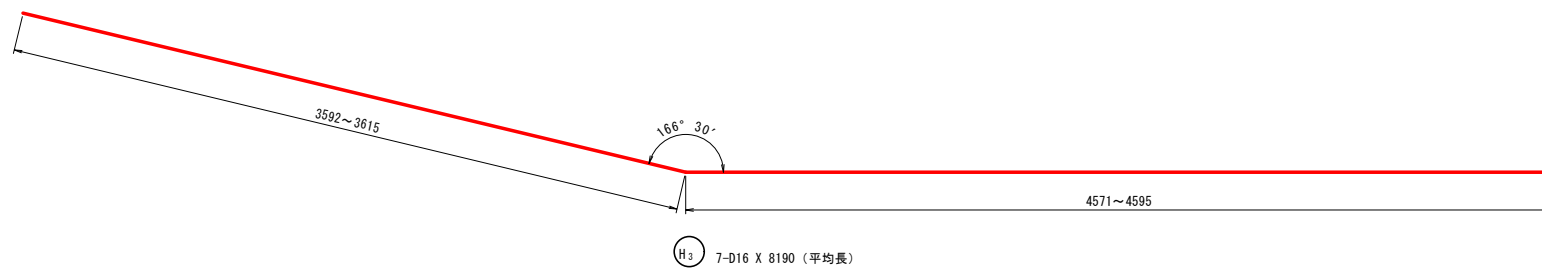
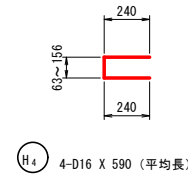
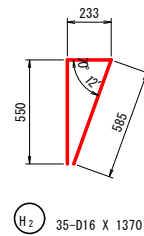
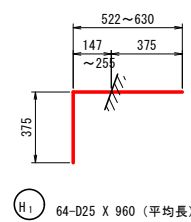
S=1:10



S=1:5



加工図



躯体1基当り

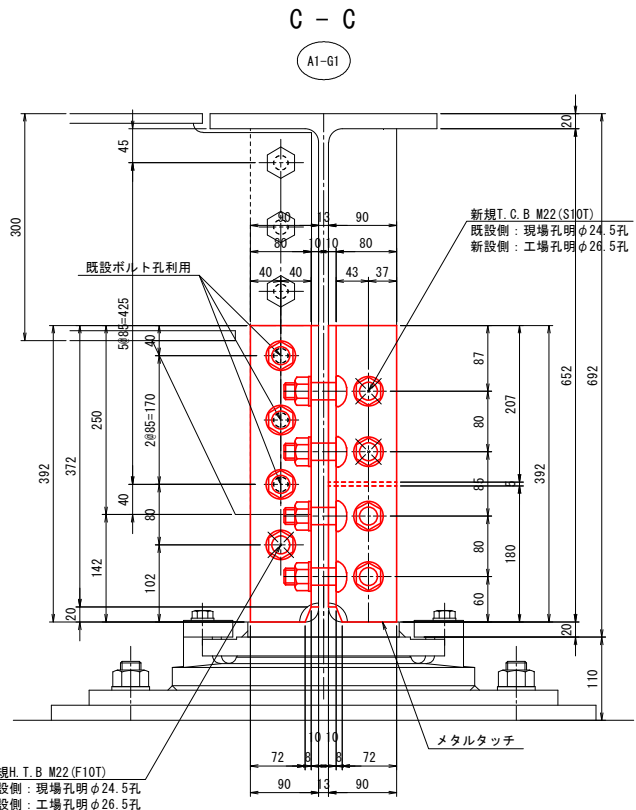
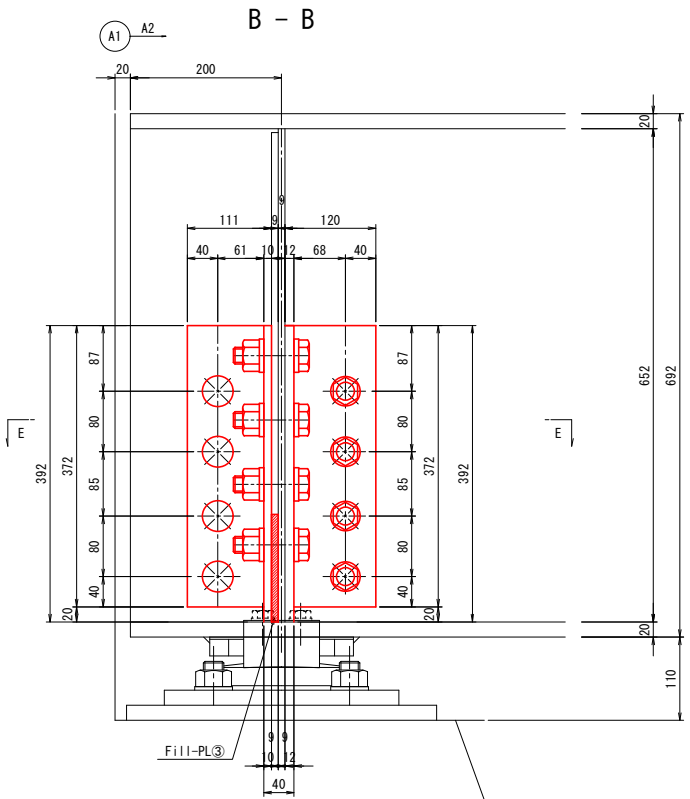
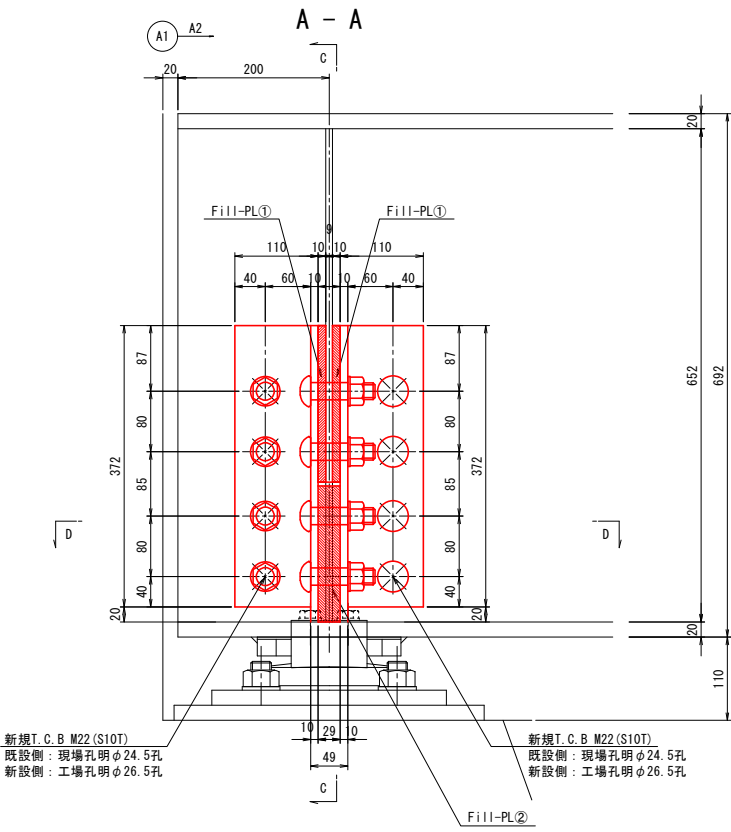
第 1 表							摘要	
記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg/本)	質 量 (kg)		
H ₁	D25	960	64	3.98	3.82	244	□ (準拠表)	
アンカー筋								
合 計 D25				244 kg				
総質量				244 kg				
H ₂	D16	1370	35	1.56	2.14	75	▽ (準拠表)	
H ₃	D16	8190	7	1.56	12.78	89	— (準拠表)	
H ₄	D16	590	4	1.56	0.92	4	□ (準拠表)	
							168	
合 計 D16				168 kg				
総質量				168 kg				

1. 現場施工・材料加工にあたっては、現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
2. 既設船体の鉄筋を探索の上、アンカー用の削孔を行うこと。
又、アンカー位置の変更は、協議の上位置を決定すること。
3. コンクリートの設計基準強度は $\sigma_{ck}=24\text{N/mm}^2$ 鉄筋の材質はSD345とする。
4. 新旧コンクリートの一体化を図るため、十分なチッピング処理を行うこと。

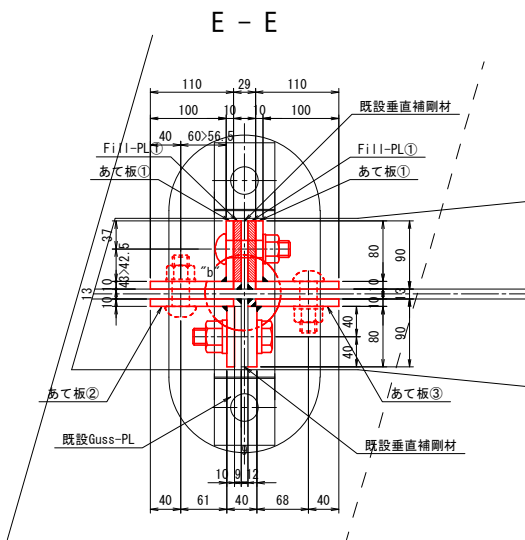
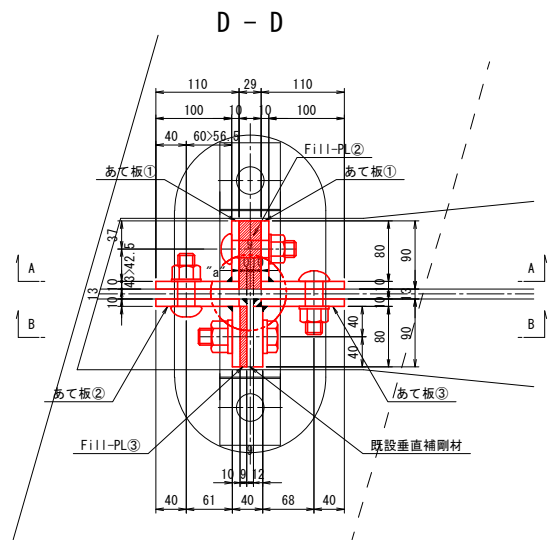
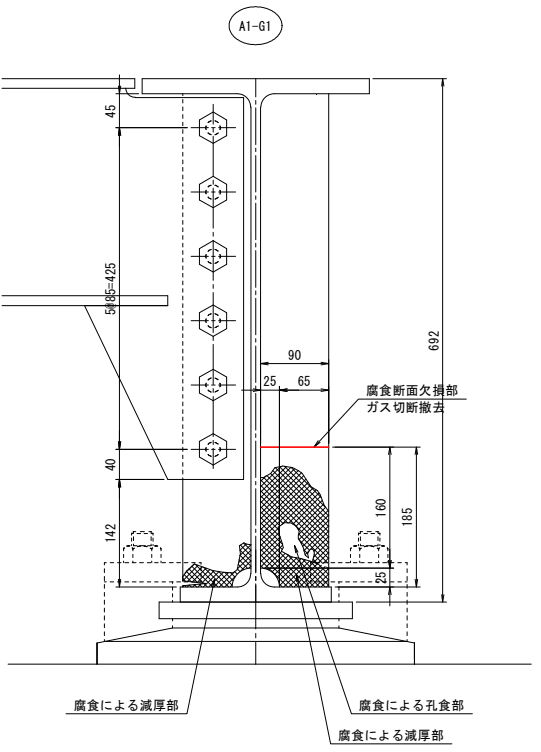
棟の実1号橋			
業務名/工事名	棟の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棟実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棟実 地内		
図面の種類	A2橋台縁端幅詳細図 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 20
会 社 名	株式会社興昇コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 主桁当て板補修工(1)

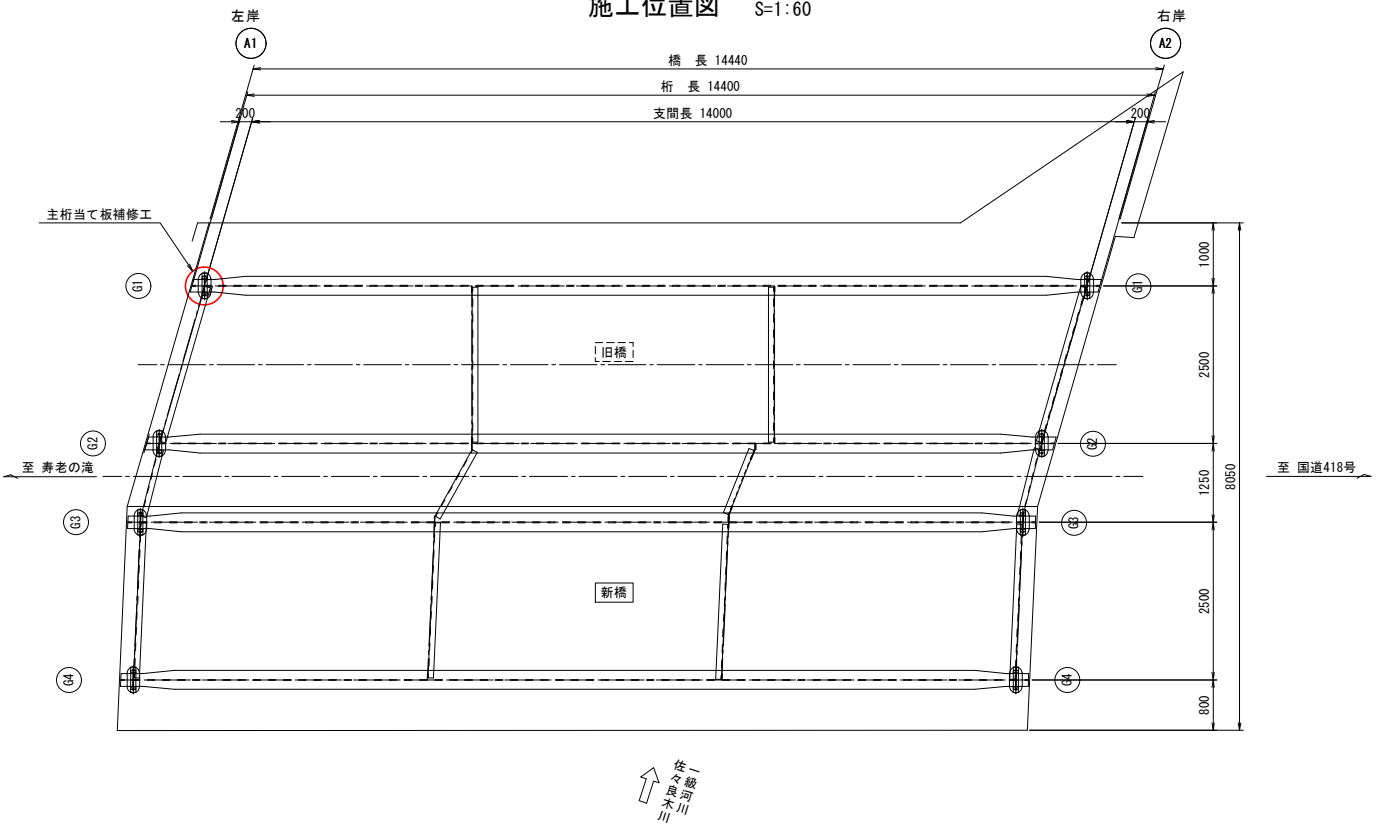
G1(下流側)支点上補剛材補修詳細図 S=1:5



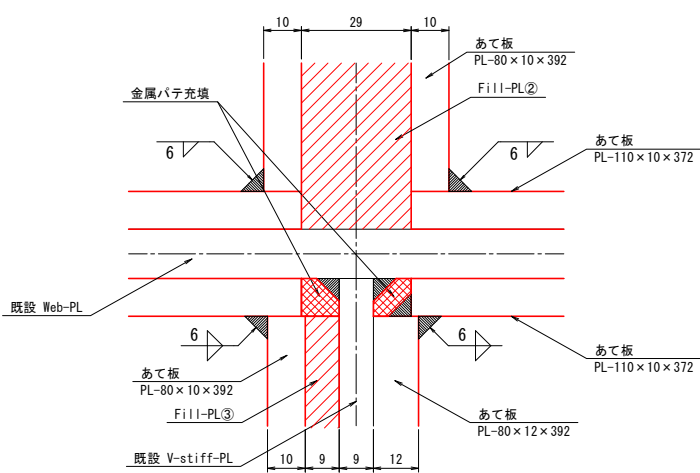
損傷状況, 切断撤去図 S=1:5



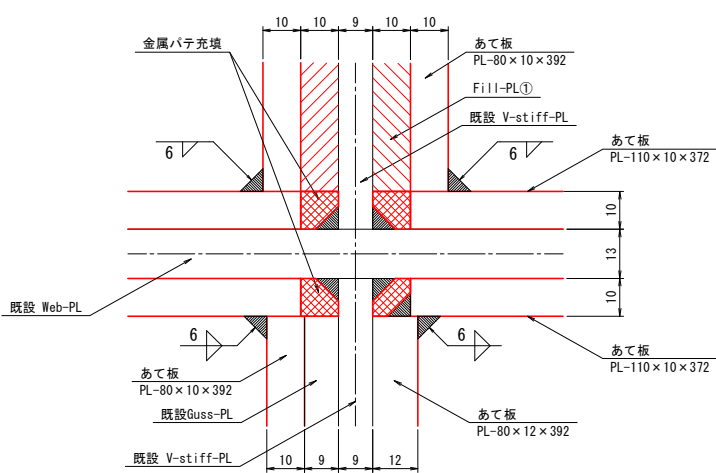
施工位置図 S=1:60



“a”部詳細図 S=1:1



“b”部詳細図 S=1:1



- <注記>
1. 製作寸法は現地計測後に決定すること。
 2. 特記なき材質は、全てSM400とする。
 3. * M22(S10T, F10)の現場孔明けφ24.5を示す。
工場孔明けはφ26.5とする。
 4. 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
 5. 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属パテにより整形を行い補修を施す。

業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道榑実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 榑実 地内	
図面の種類		主桁当て板補修工(1)	
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 21
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

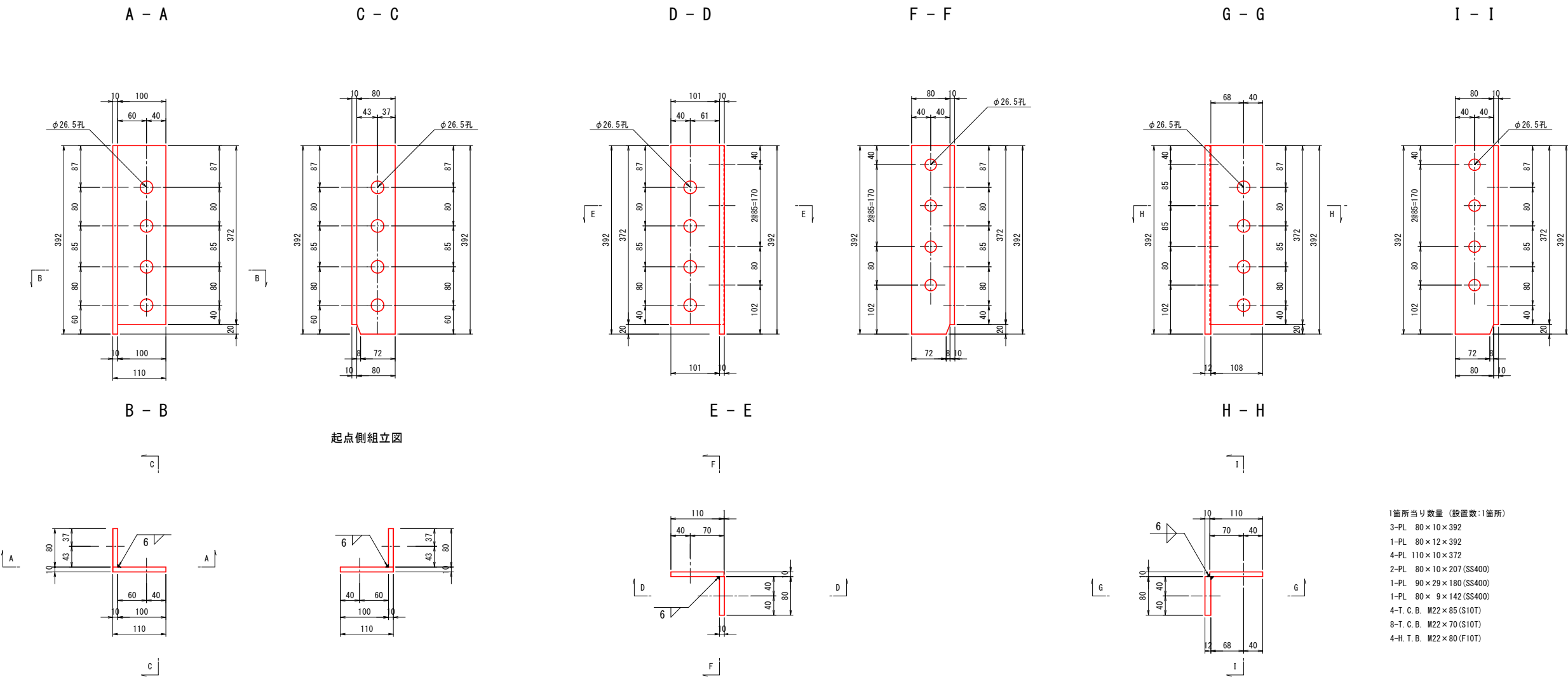
棕の実1号橋 主桁当て板補修工 (2)

S=1:5

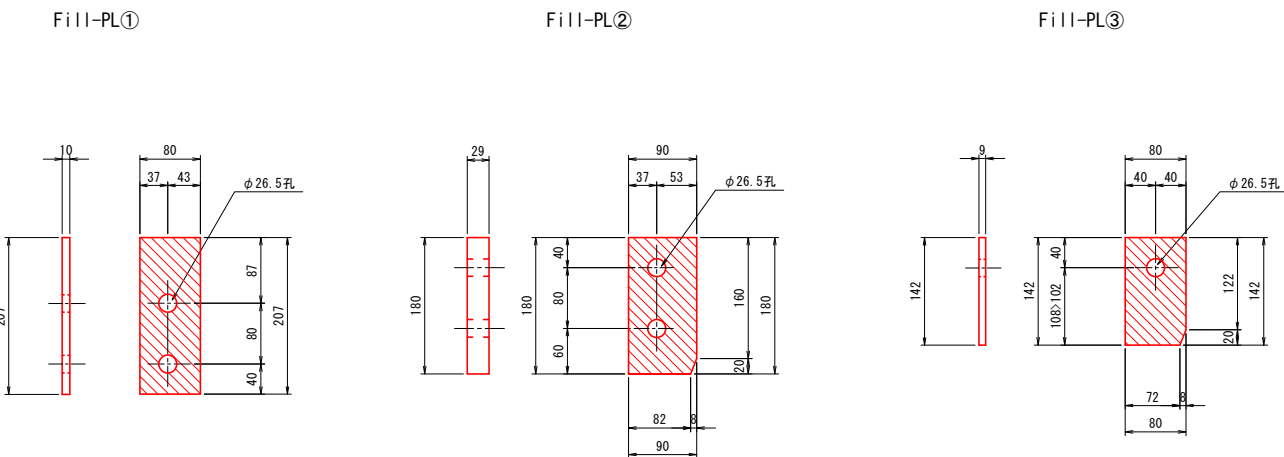
あて板①詳細図

あて板②詳細図

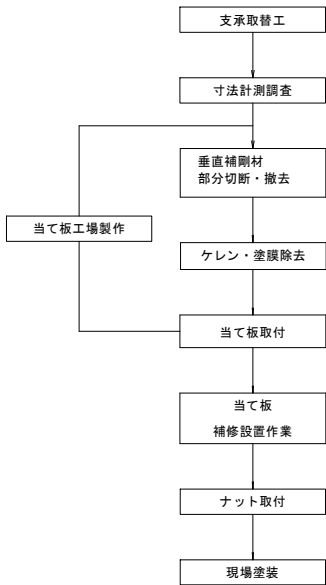
あて板③詳細図



フィラー詳細図



施工手順



・高力ボルト締め付け

<注記>

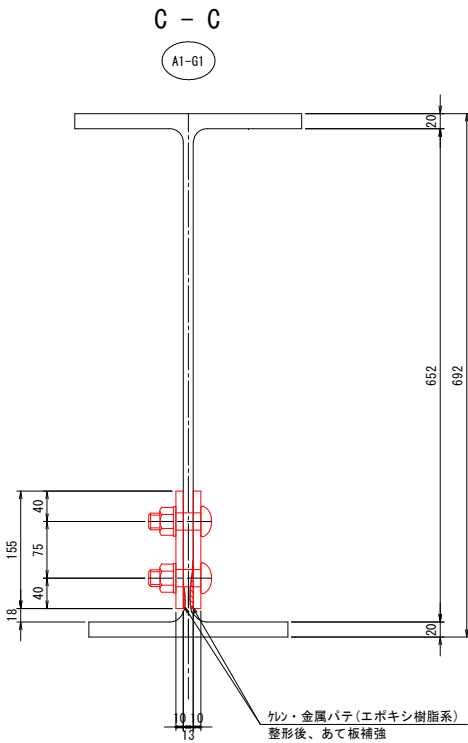
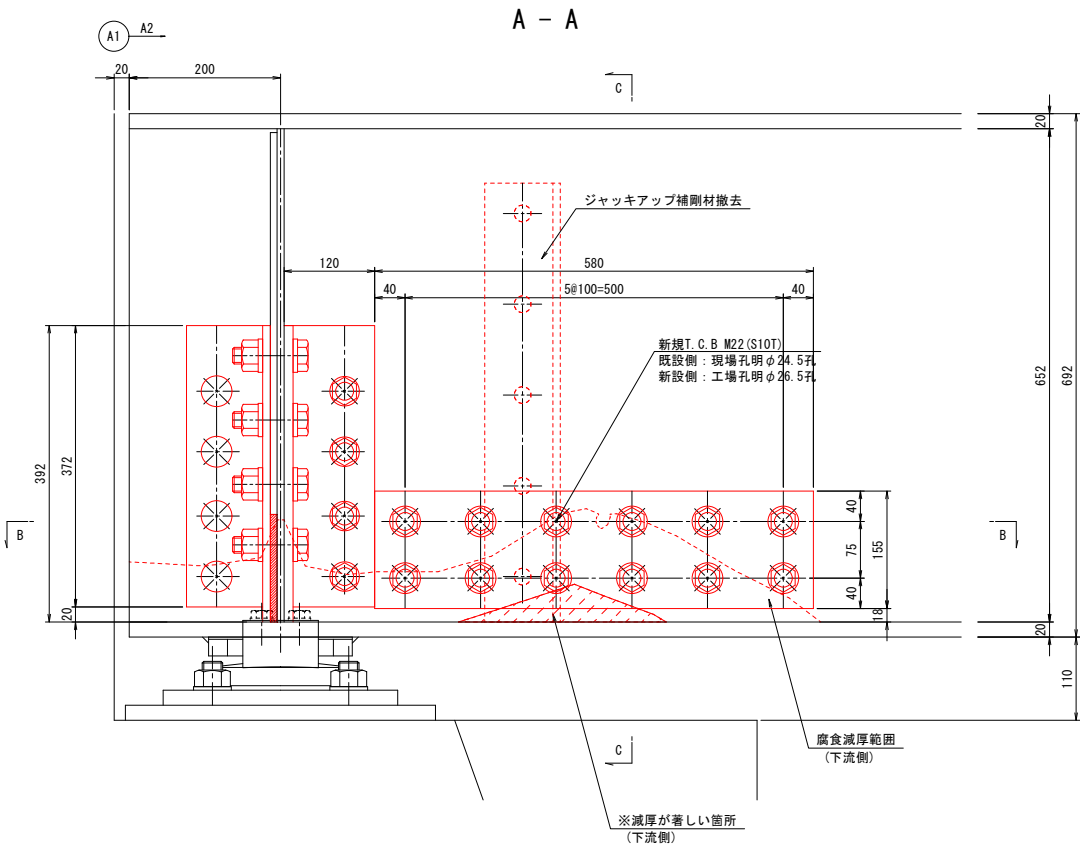
1. 製作寸法は現地計測後に決定すること。
2. 特記なき材質は、全てSM400とする。
3. ※ M22 (S10T, F10T) の現場孔明けφ24.5を示す。
工場孔明けはφ26.5とする。
4. 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属バテにより整形を行い補修を施す。

棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	主桁当て板補修工 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 22
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 主桁当て板補修工 (3)
 S=1:5

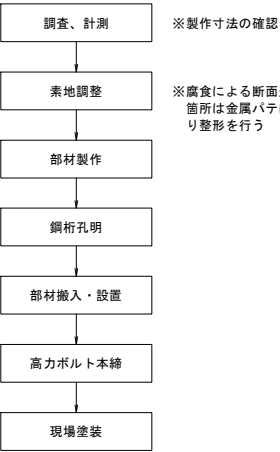
G1 (下流側) Web補修詳細図



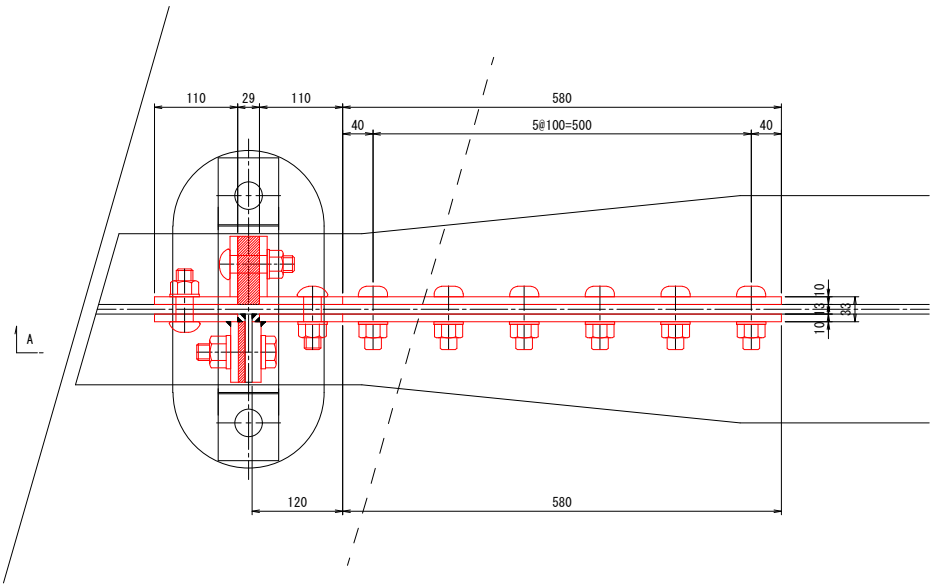
1箇所当り数量 (設置数:1箇所)
 2-PL 155×10×580
 12-T.C.B. M22×70 (S10T)

1箇所当り数量 (撤去数:1箇所)
 2-L 100×100×10×580 (SS400)
 2-PL 100×19×560 (SS400)

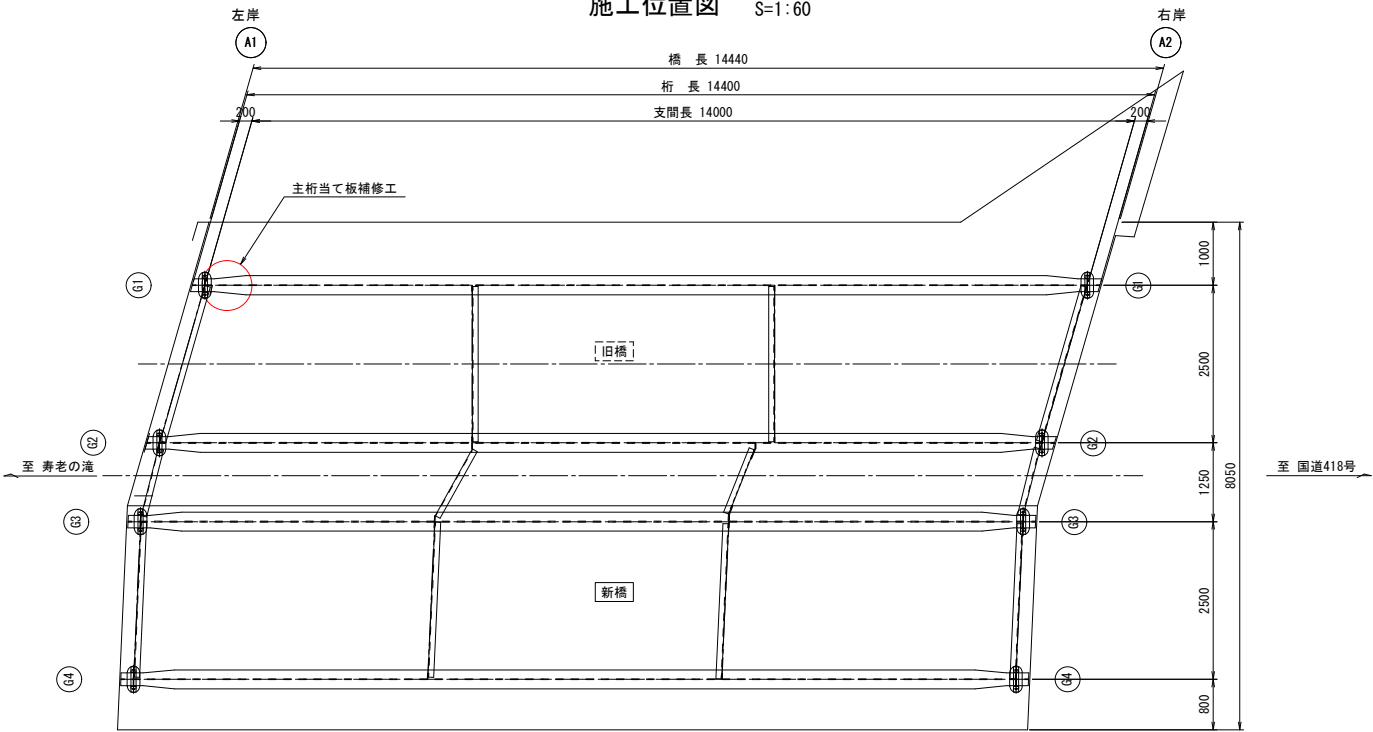
施工手順



B - B



施工位置図 S=1:60



<注記>

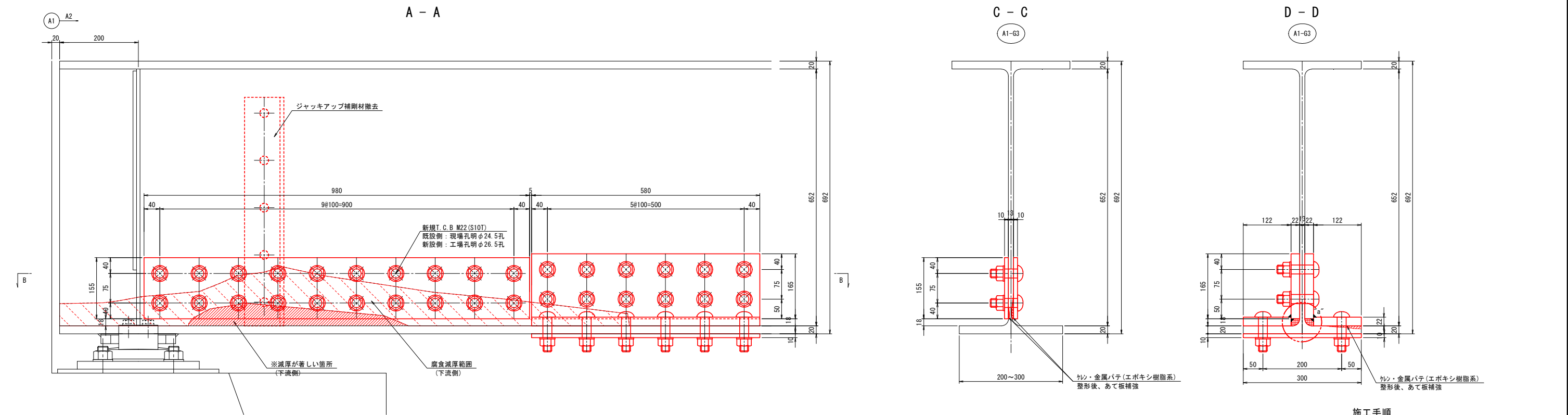
- 製作寸法は現地計測後に決定すること。
- 特記なき材質は、全てSM400とする。
- 干渉するジャッキアップ補剛材の撤去後に施工を行うこと。
- ※ M22 (S10T) の現場孔明けφ24.5を示す。工場孔明けはφ26.5とする。
- 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属パテにより整形を行い補修を施す。

棕の実1号橋

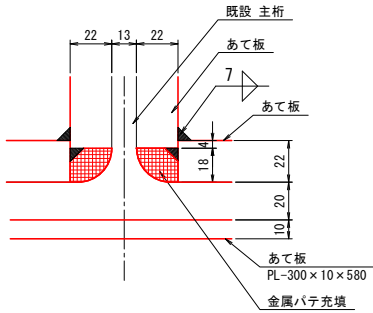
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	主桁当て板補修工 (3)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 23
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 主桁当て板補修工 (4)
 S=1:5

G3 (下流側) Web補修詳細図



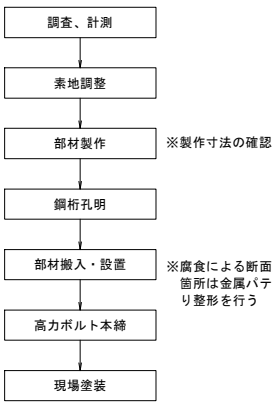
“a”部詳細図 S=1:2



1箇所当り数量 (設置数:1箇所)
 2-PL 155×10×980
 2-PL 165×22×580
 2-PL 122×22×580
 1-PL 300×10×580
 12-T.C.B. M22×95 (S10T)
 12-T.C.B. M22×90 (S10T)
 20-T.C.B. M22×70 (S10T)

1箇所当り数量 (撤去数:1箇所)
 2-L 100×100×10×580 (SS400)
 2-PL 100×19×560 (SS400)

施工手順

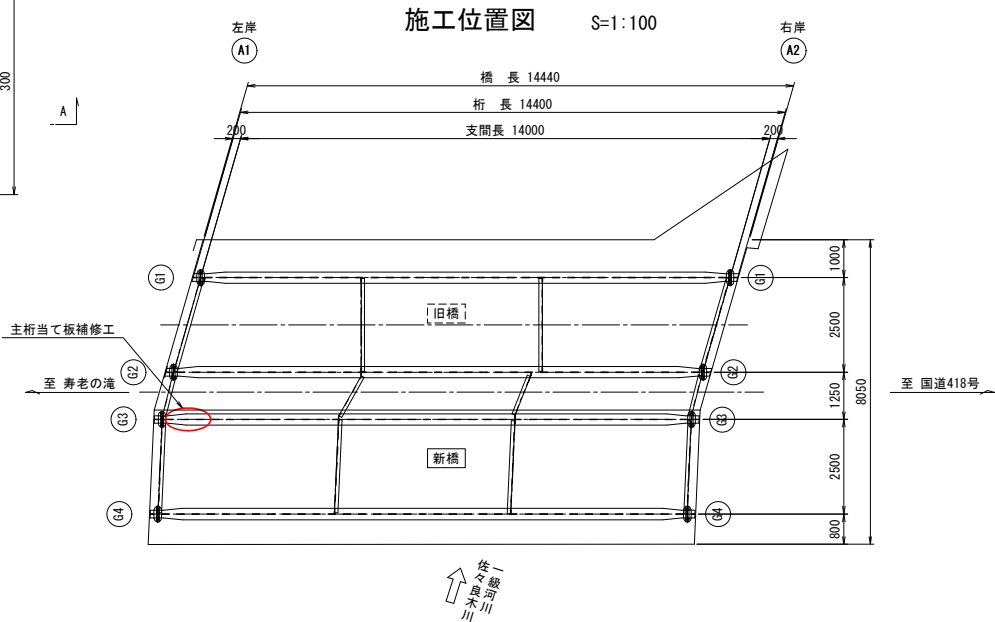


<注記>

- 製作方法は現地計測後に決定すること。
- 特記なき材質は、全てSM400とする。
- 干渉するジャッキアップ補剛材の撤去後に施工を行うこと。
- ※ M22 (S10T) の現場孔明明けφ24.5を示す。工場孔明明けはφ26.5とする。
- 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
- 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属パテにより整形を行い補修を施す。

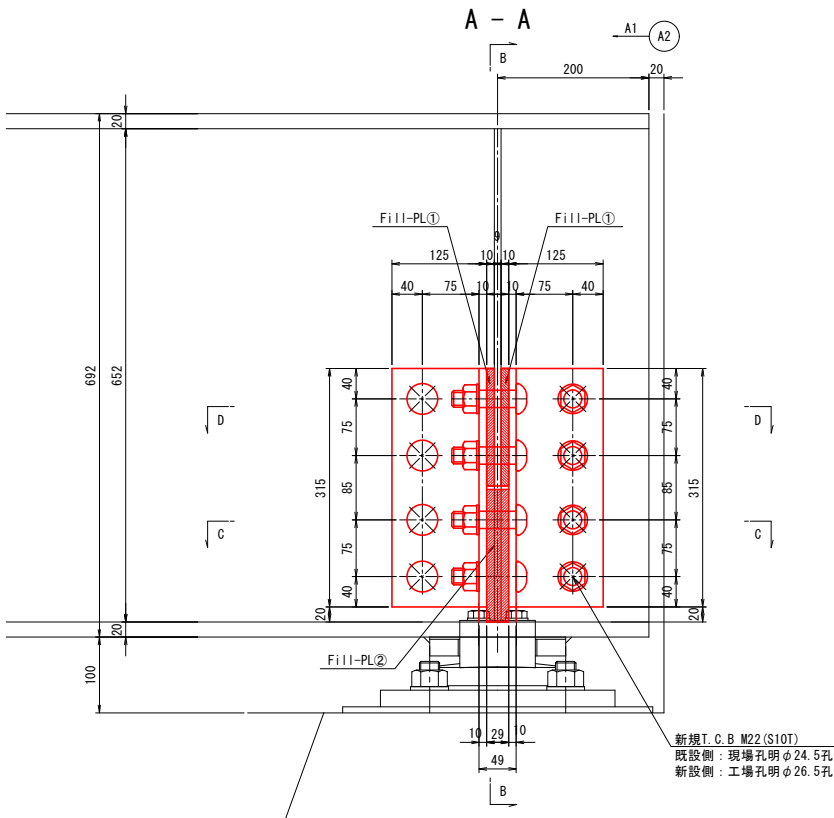
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	主桁当て板補修工 (4)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 24
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

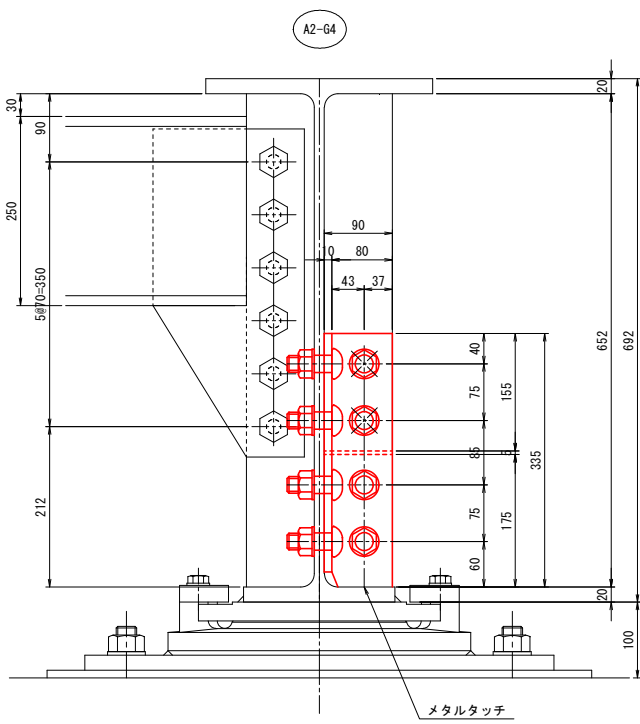


棕の実1号橋 主桁当て板補修工 (5)

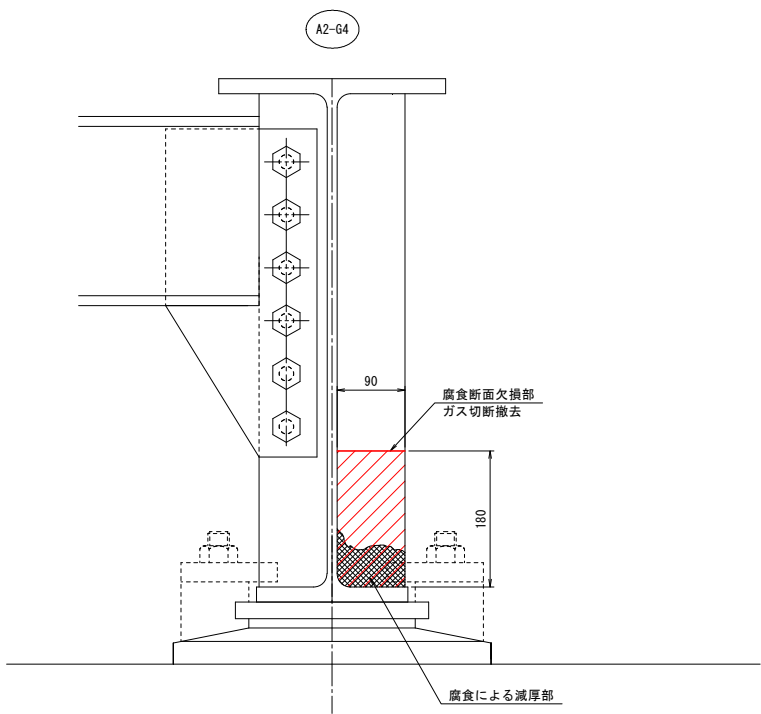
G4(上流側)支点上補剛材補修詳細図 S=1:5



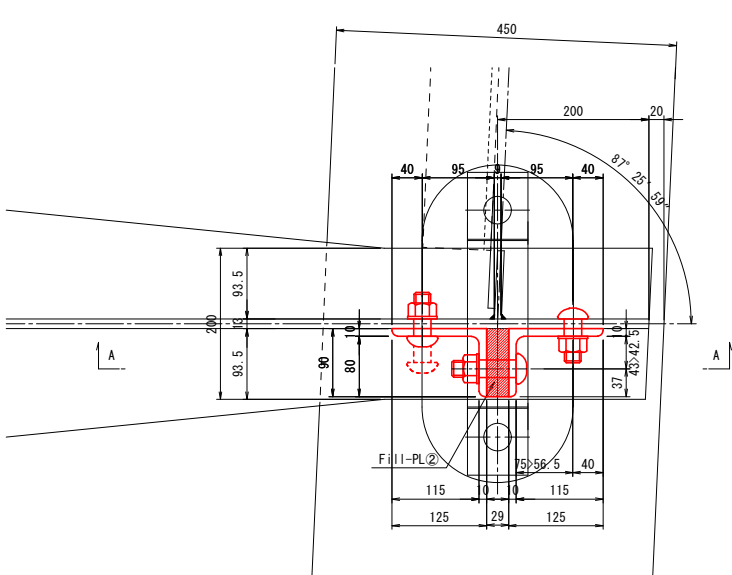
B - B



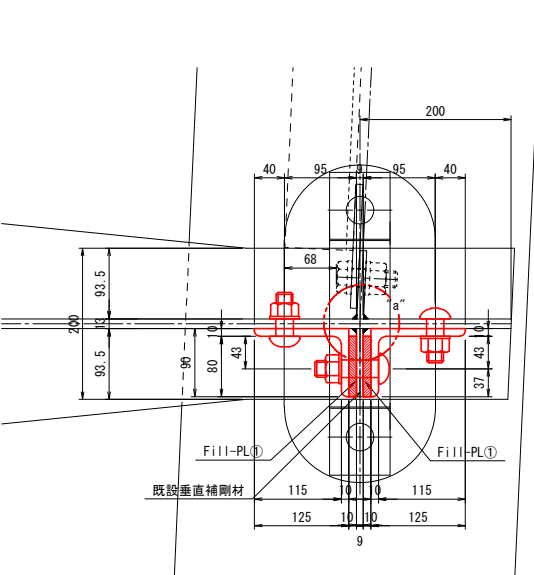
損傷状況, 切断撤去図 S=1:5



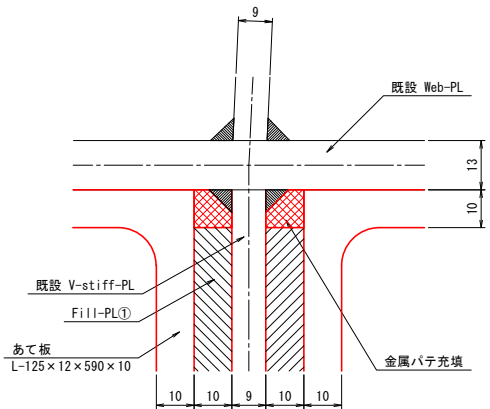
C - C



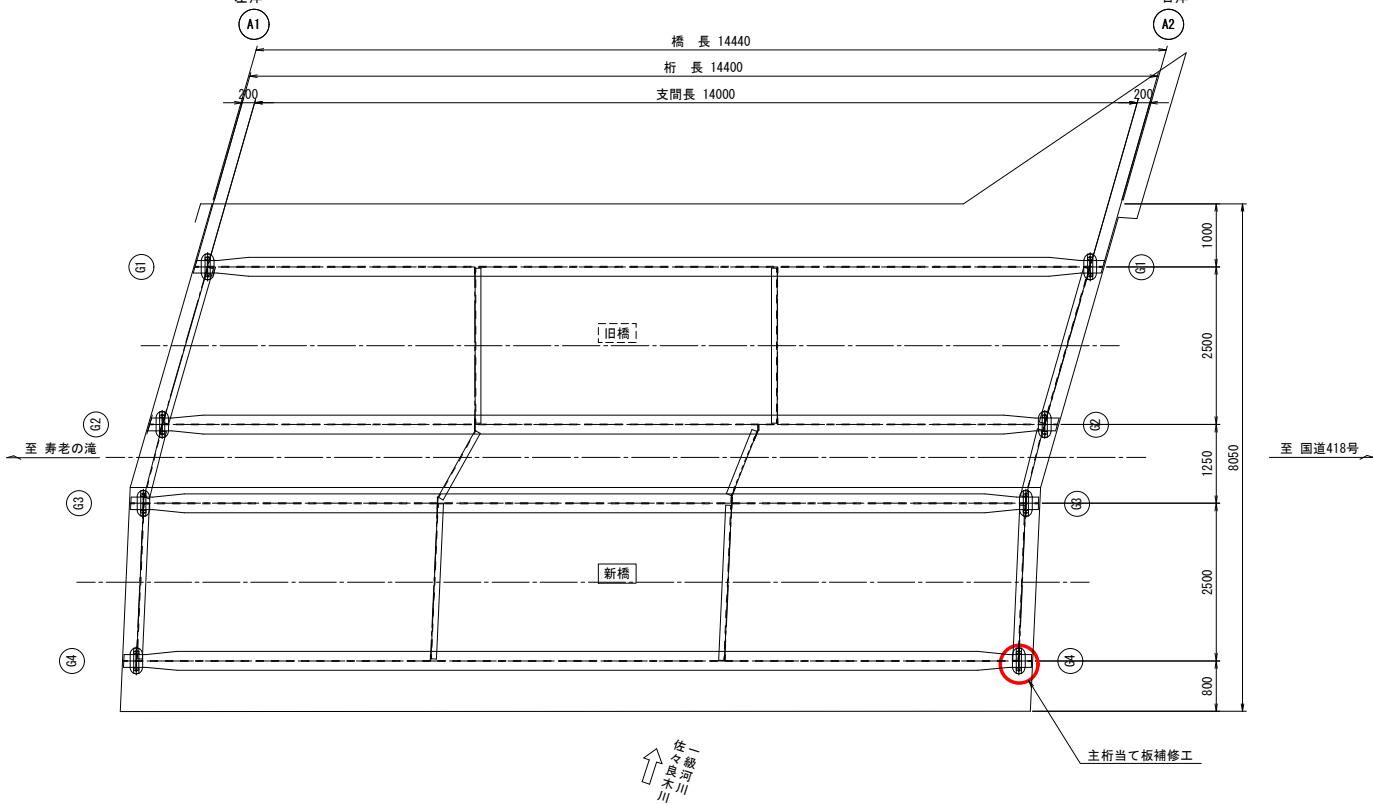
D - D



"a"部詳細図 S=1:1



施工位置図 S=1:60



佐々木川
 一級河川

<注記>

1. 製作寸法は現地計測後に決定すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. ※M22 (S10T) の現場孔明けφ24.5を示す。
工場孔明けはφ26.5とする。
4. 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属パテにより整形を行い補修を施す。

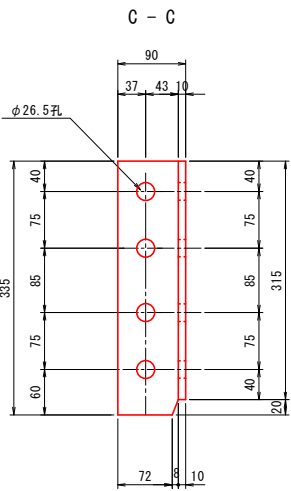
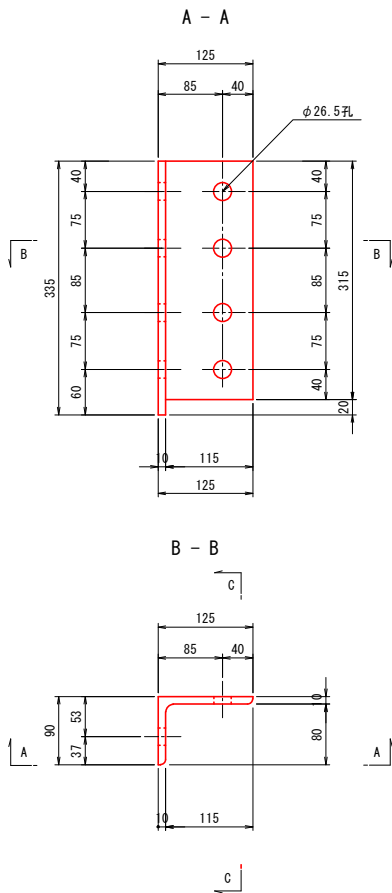
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	主桁当て板補修工 (5)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 25
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 主桁当て板補修工 (6)

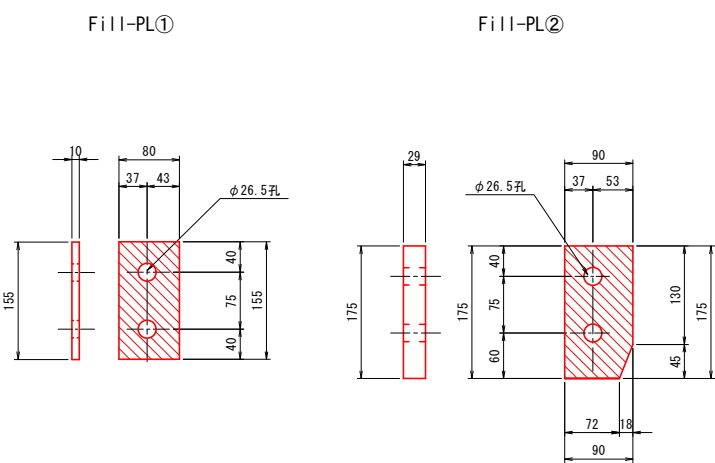
S=1:5

あて板詳細図

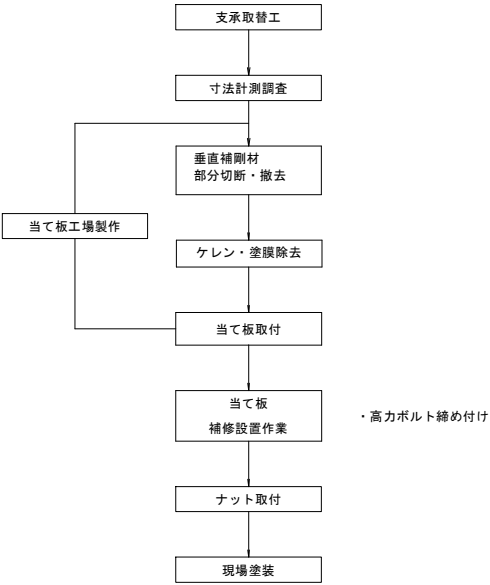


1箇所当り数量 (設置数:1箇所)
 2-L 125×90×10×335 (SS400)
 1-PL 90×29×175 (SS400)
 2-PL 80×10×155 (SS400)
 4-T. C. B. M22×85 (S10T)
 8-T. C. B. M22×60 (S10T)

フィラー詳細図



施工手順



<注記>

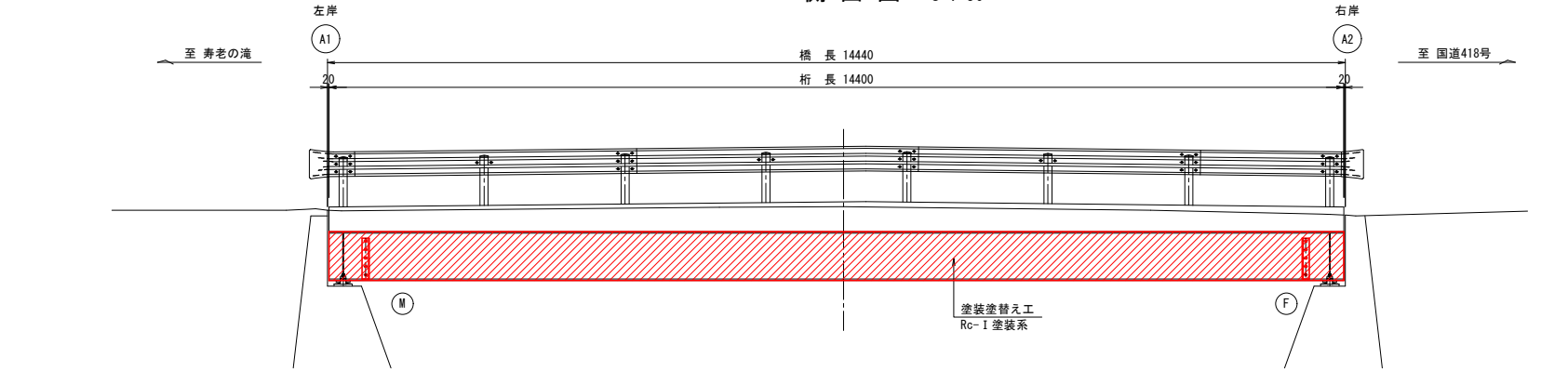
1. 製作寸法は現地計測後に決定すること。
2. 特記なき材質は、全てSS400とする。
3. ※ M22 (S10T)の現場孔明けφ24.5を示す。
工場孔明けはφ26.5とする。
4. 補修部材は主桁塗装塗替仕様と同等以上の防錆塗装を施すものとする。
5. 腐食による極度な断面欠損箇所がある場合は、ケレン後金属バテにより整形を行い補修を施す。

棕の実1号橋

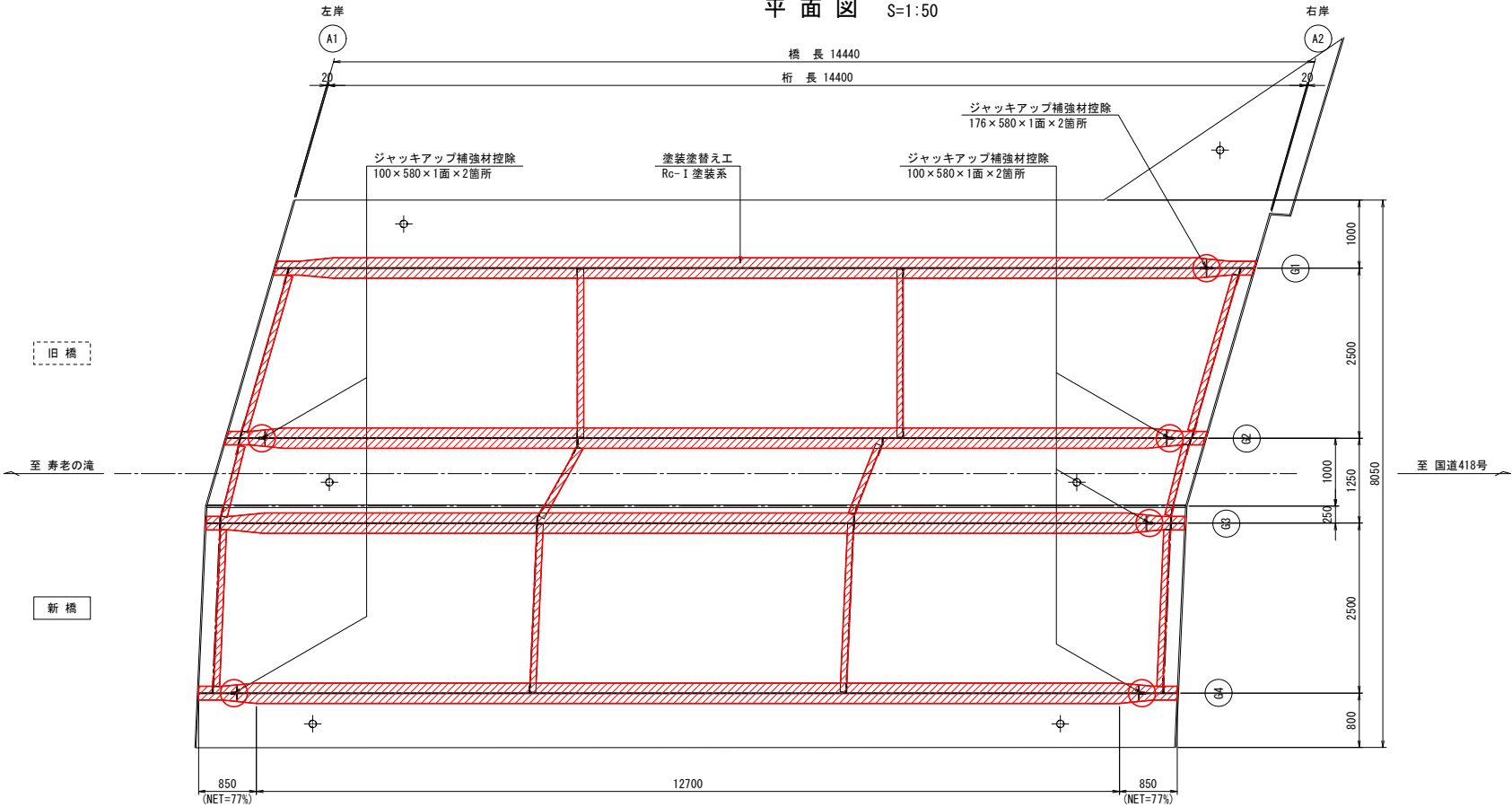
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	主桁当て板補修工 (6)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 26
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 塗装塗替え工

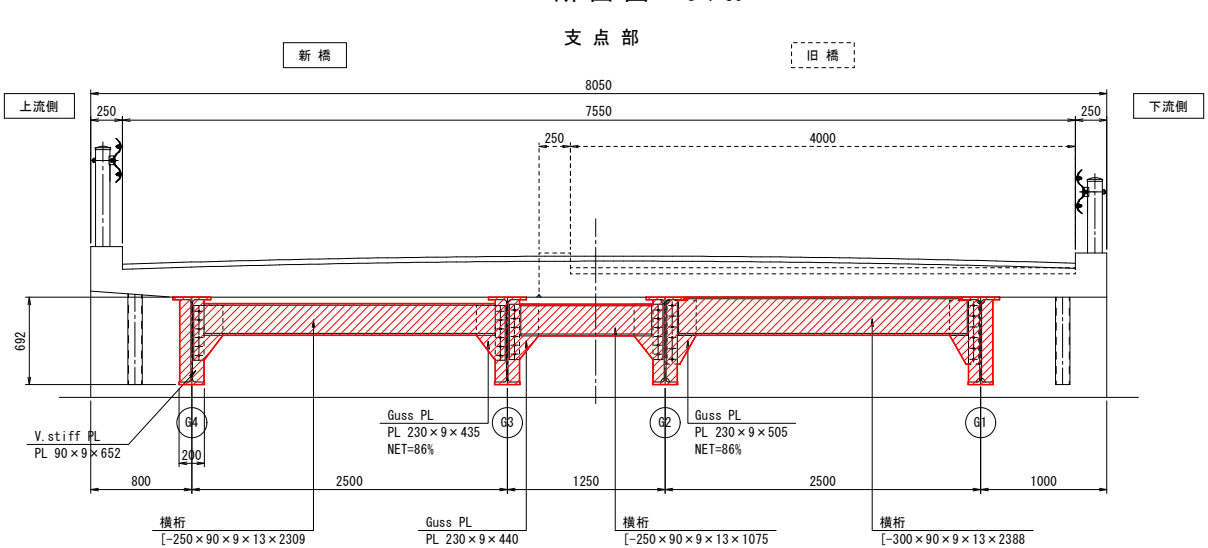
側面図 S=1:50



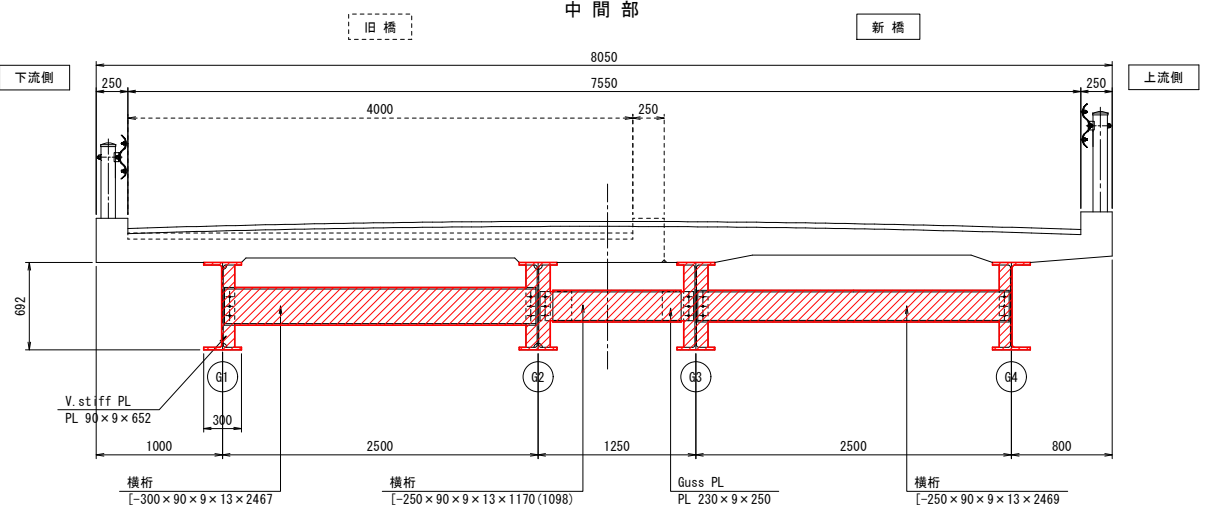
平面図 S=1:50



断面図 S=1:30



中間部

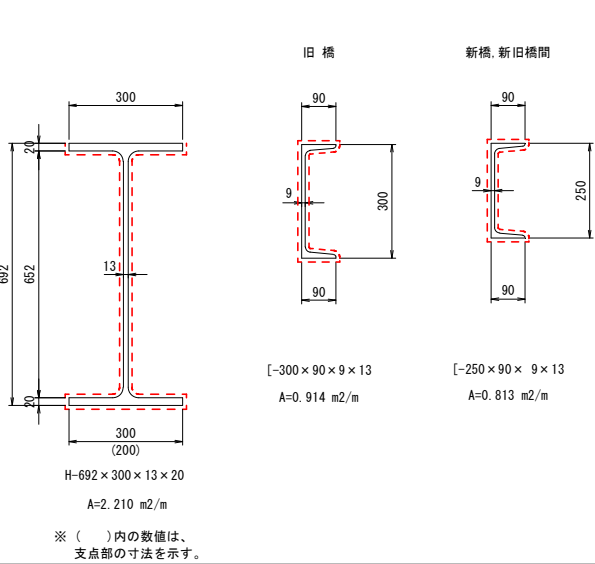


※ () 内は中間部A2側を示す。

塗装仕様 Rc-I 塗装系(スプレー)

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m ²)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

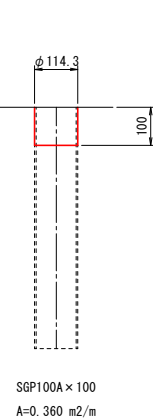
主桁 S=1:10



横桁 S=1:10

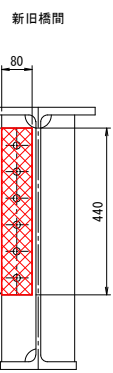
排水管 S=1:10

N=4本



※ 存置する排水管は可能な範囲で内面も塗装すること。

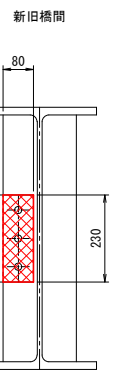
支点部



控除面積 S=1:10

※ は、タッチ面(鋼部材同士の接触面)控除部を示す。

中間部



支承部



<注記>

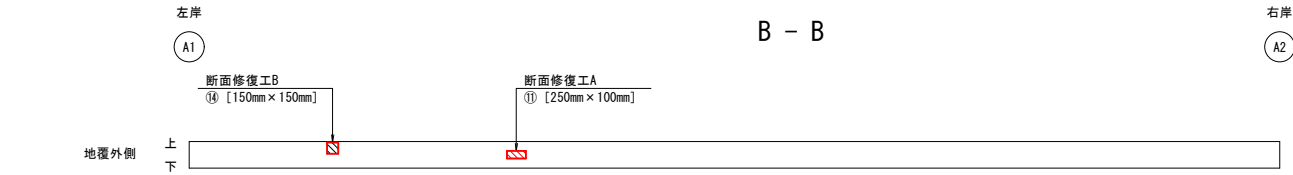
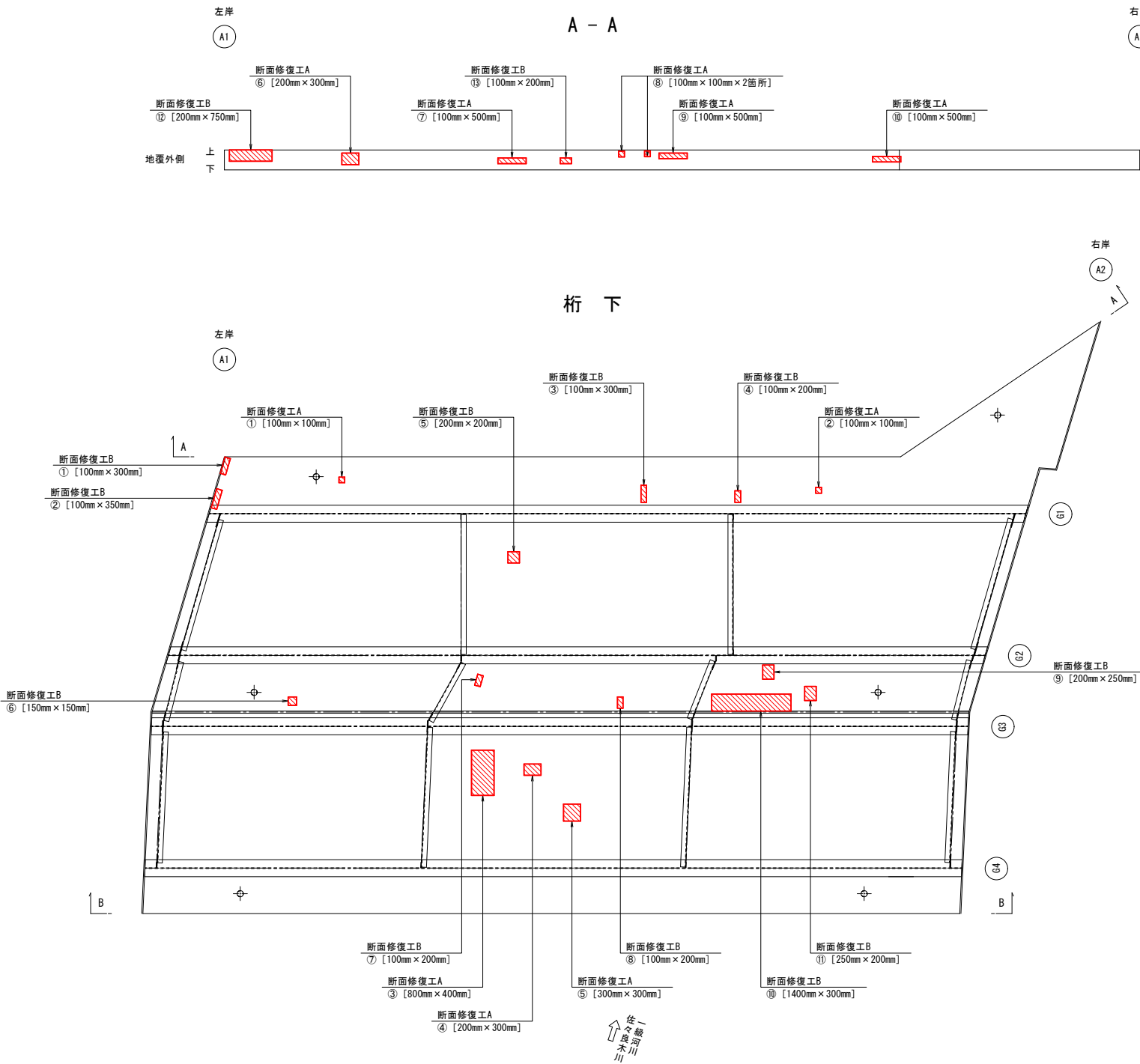
1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 塗替え塗装系はRc-I 塗装系とする。
3. 主桁当て板補修後に塗替えを行うこと。
4. 既設塗膜は鉛、PCBを含有しているため、素地調整にあたっては、鉛中毒規制等の関連法令を遵守すること。
5. ケレン扱は低濃度PCB廃棄物に該当するため、適切に処分すること。

棕の実1号橋

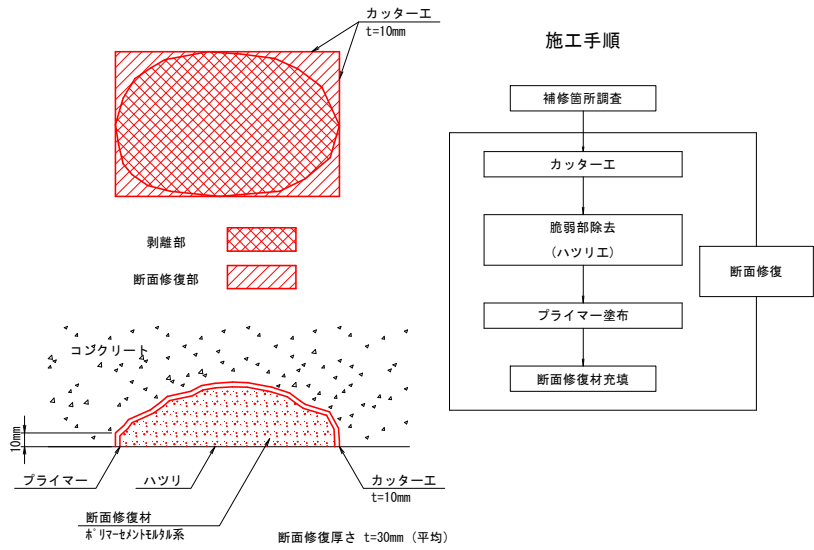
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	塗装塗替え工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 27
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 上部工断面修復工

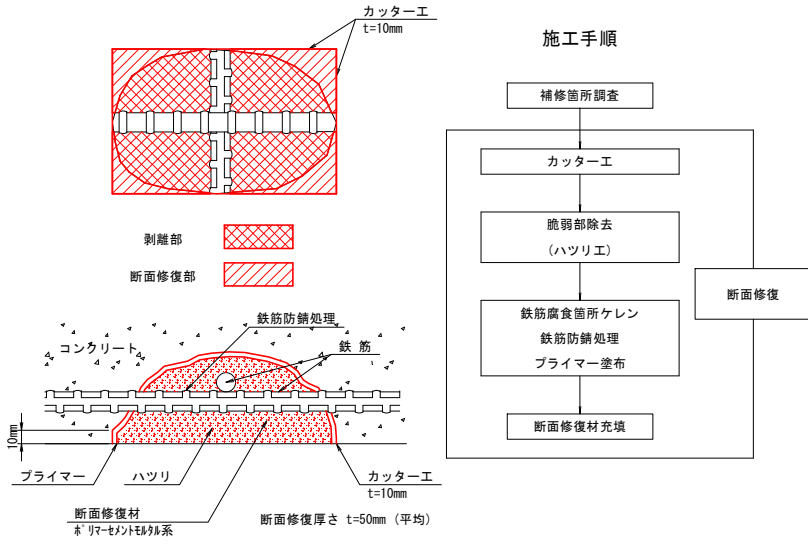
S=1:50



断面修復工A詳細図



断面修復工B詳細図



断面修復工A 数量表

	形状 (m)	箇所	面積 (㎡)
床版			
①	0.100 × 0.100	1	0.010
②	0.100 × 0.100	1	0.010
③	0.800 × 0.400	1	0.320
④	0.200 × 0.300	1	0.060
⑤	0.300 × 0.300	1	0.090
地覆			
⑥	0.200 × 0.300	1	0.060
⑦	0.100 × 0.500	1	0.050
⑧	0.100 × 0.100	2	0.020
⑨	0.100 × 0.500	1	0.050
⑩	0.100 × 0.500	1	0.050
⑪	0.250 × 0.100	1	0.025
面積計			0.745
体積 (m3)			0.022

断面修復工B 数量表

	形状 (m)	箇所	面積 (㎡)
床版			
①	0.100 × 0.300	1	0.030
②	0.100 × 0.350	1	0.035
③	0.100 × 0.300	1	0.030
④	0.100 × 0.200	1	0.020
⑤	0.200 × 0.200	1	0.040
⑥	0.150 × 0.150	1	0.023
⑦	0.100 × 0.200	1	0.020
⑧	0.100 × 0.200	1	0.020
⑨	0.200 × 0.250	1	0.050
⑩	1.400 × 0.300	1	0.420
⑪	0.250 × 0.200	1	0.050
地覆			
⑫	0.200 × 0.750	1	0.150
⑬	0.100 × 0.200	1	0.020
⑭	0.150 × 0.150	1	0.023
面積計			0.931
体積 (m3)			0.047

<注記>

1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合は、監督員と協議の上、断面修復を施すこと。
3. 脆弱部及び既設鉄筋背面までハツリ落とすこと。
4. カッター工・ハツリ工に際しては、既設鉄筋等を傷付けないこと。

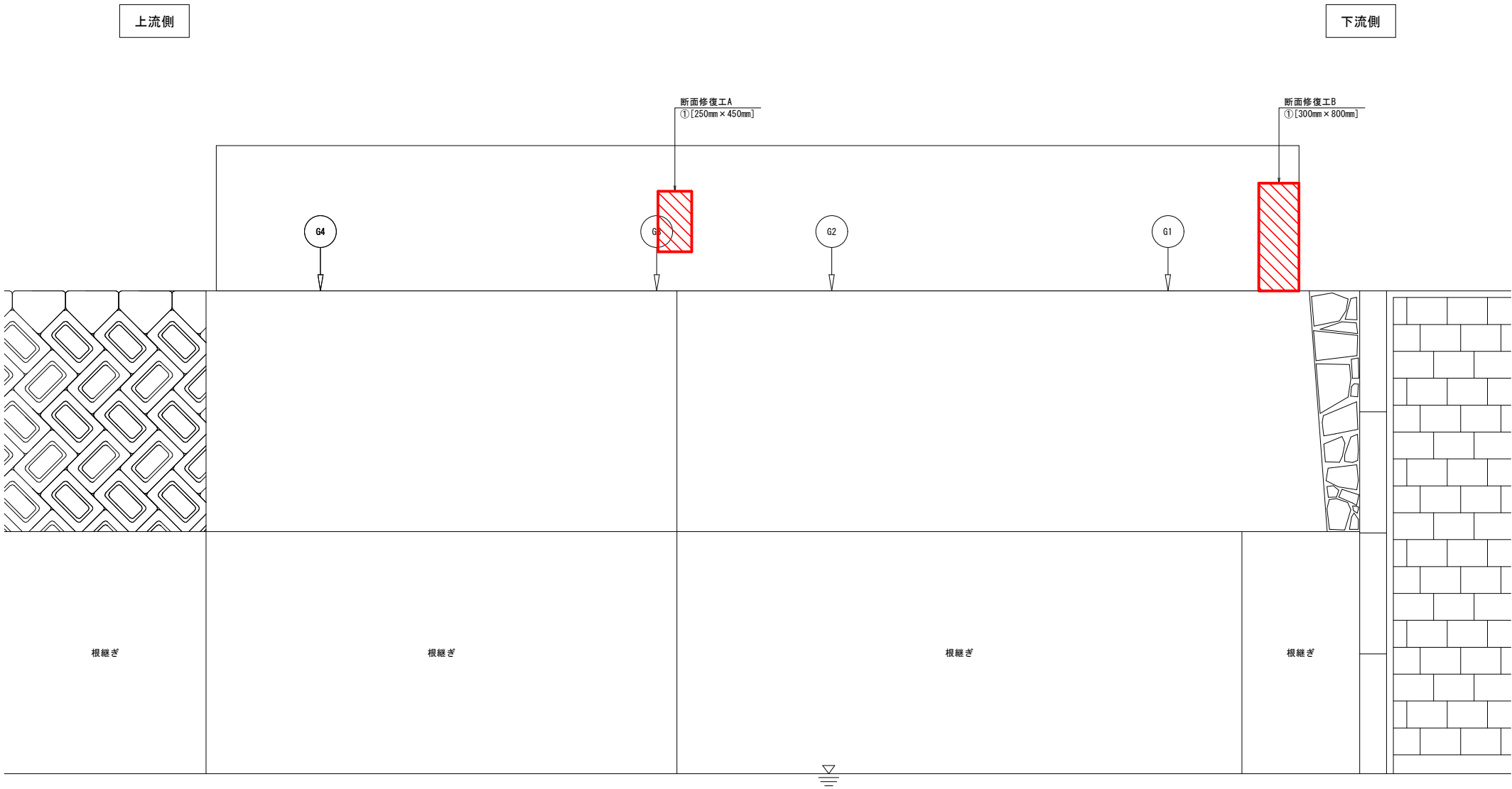
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	上部工断面修復工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 28
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 下部工断面修復工 S=1:20

A1橋台(左岸)

正面図



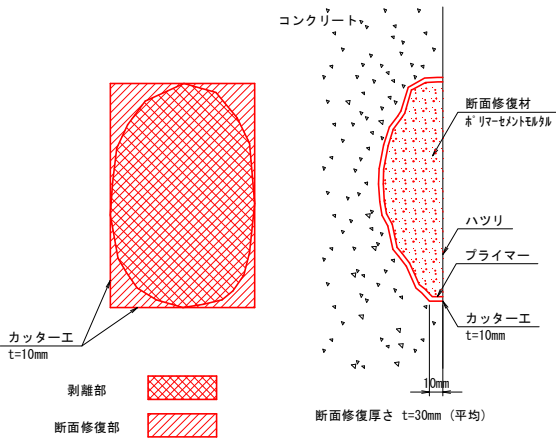
断面修復工A 数量表

	形状 (m)	箇所	面積 (㎡)
A1橋台			
①	0.250 × 0.450	1	0.113
面積計			0.113
体積 (m3)			0.003

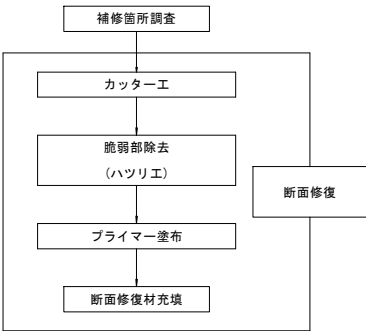
断面修復工B 数量表

	形状 (m)	箇所	面積 (㎡)
A1橋台			
①	0.300 × 0.800	1	0.240
面積計			0.240
体積 (m3)			0.012

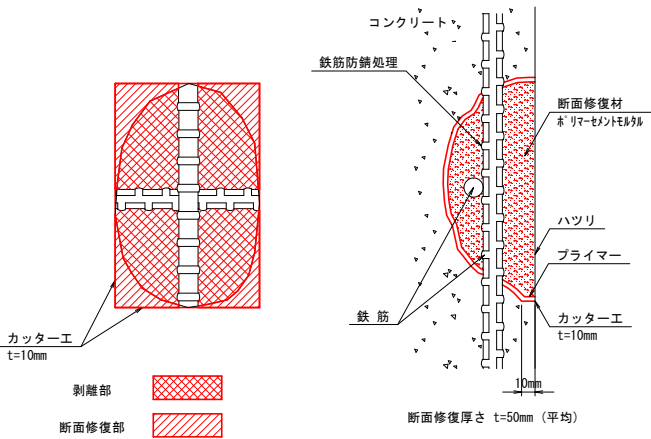
断面修復工A詳細図



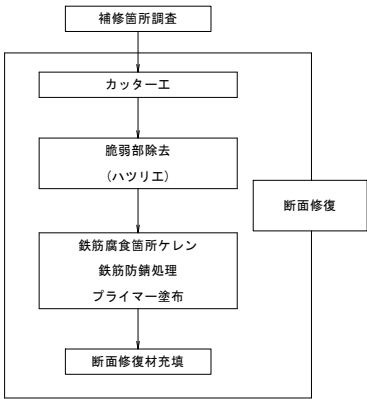
施工手順



断面修復工B詳細図



施工手順



<注記>

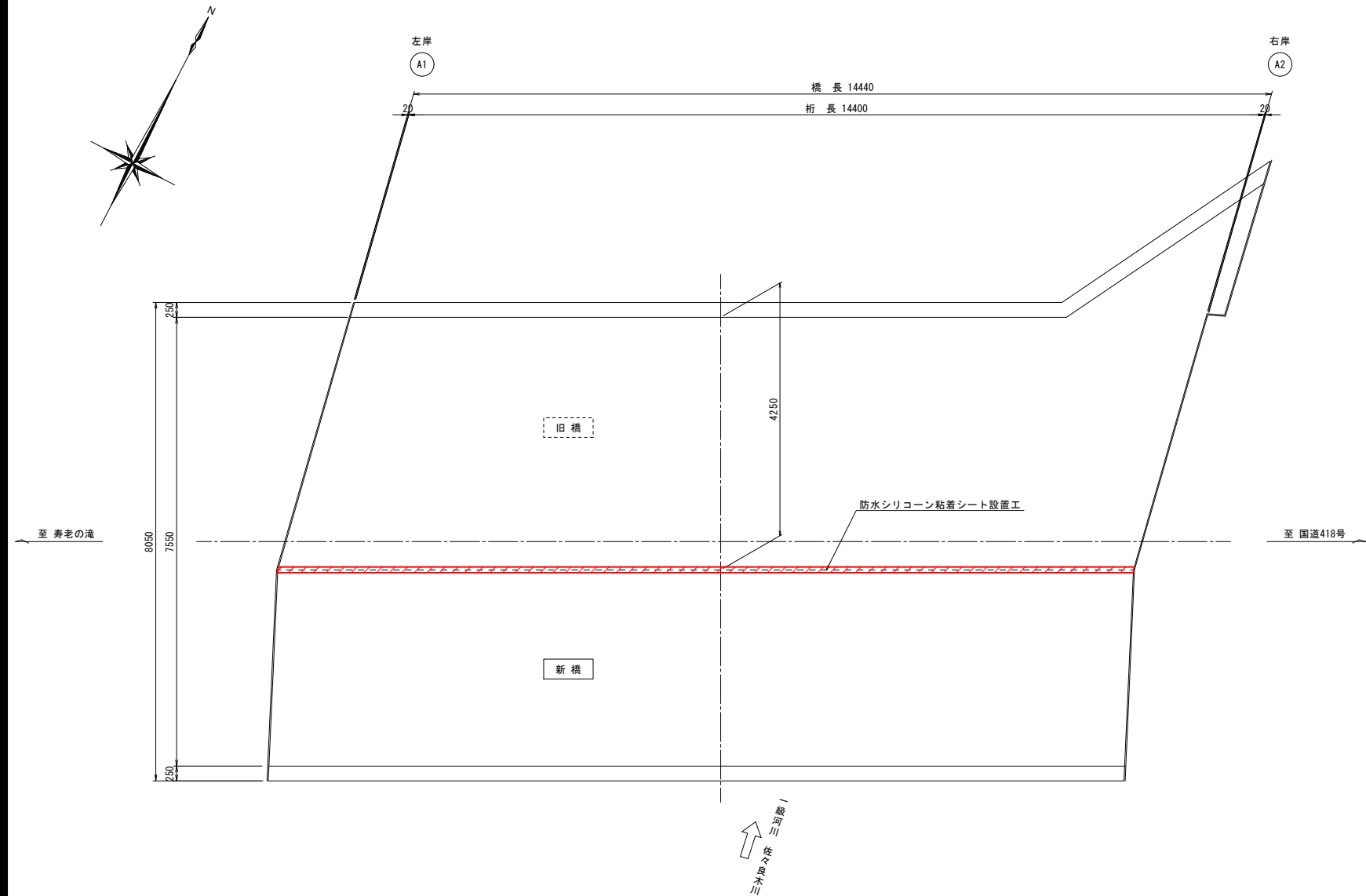
1. 施工に関しては、現地寸法を確認のこと。
2. 本図に示した箇所以外で同様の損傷が確認された場合は、監督員と協議の上、断面修復を施すこと。
3. 脆弱部及び既設鉄筋背面までハツリ落とすこと。
4. カッター工・ハツリ工に際しては、既設鉄筋等を傷付けないこと。

棕の実1号橋

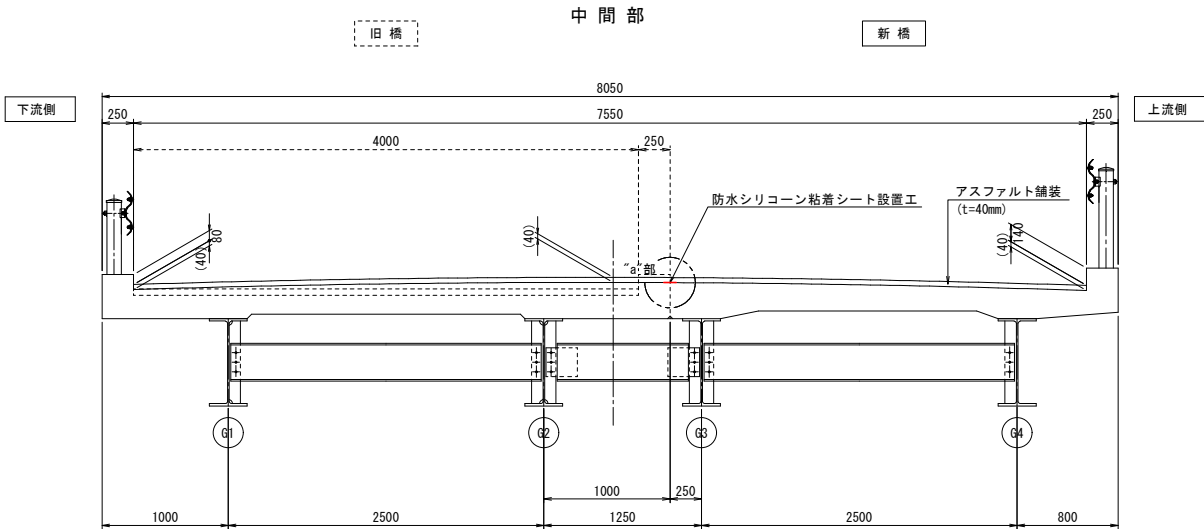
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	下部工断面修復工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 29
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 床版継目漏水対策工

平面図 S=1:50

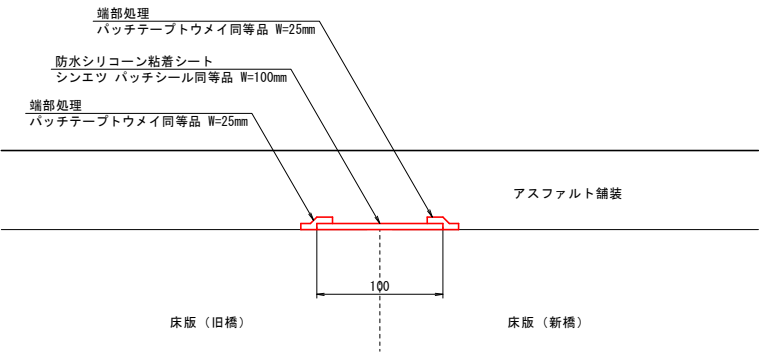


断面図 S=1:30

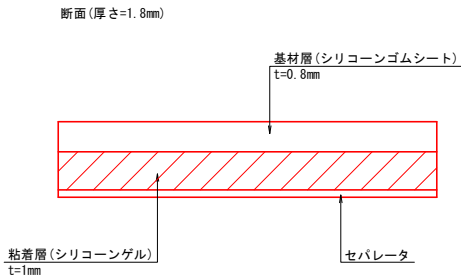


※ () 内数値は、推定値である。

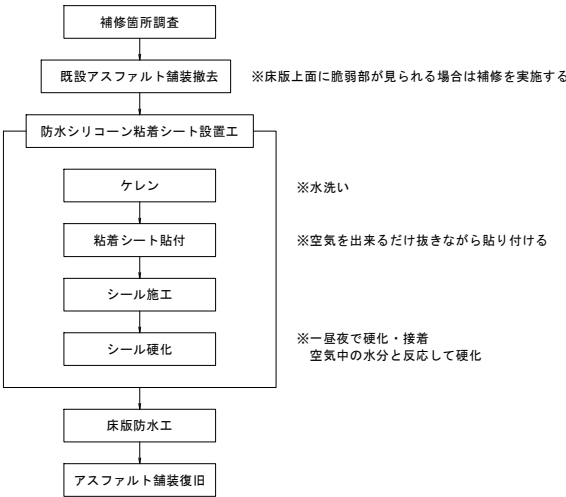
“a”部詳細図 S=1:3



防水シリコン粘着シート構成図
<参考図>



施工手順

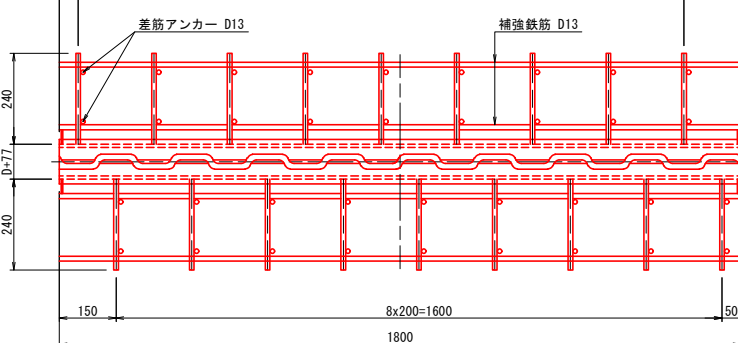
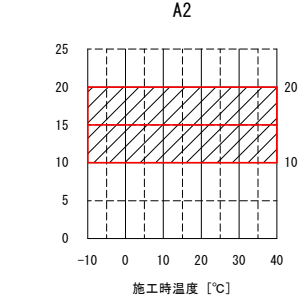
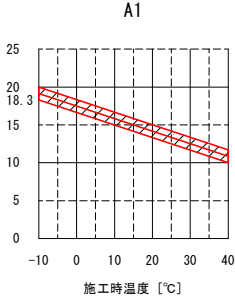
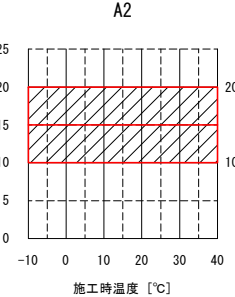
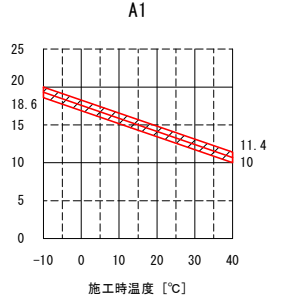
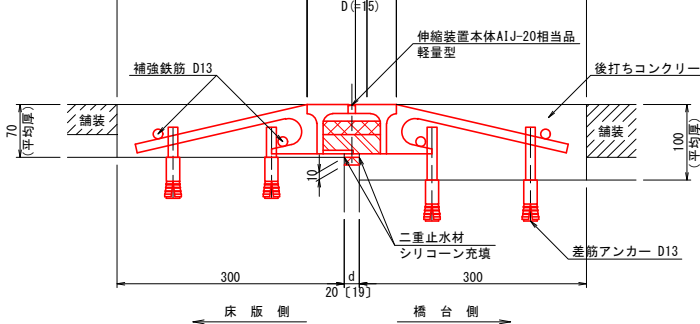
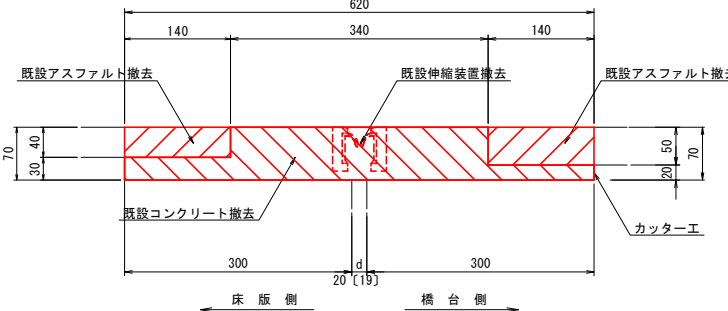
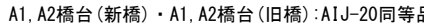
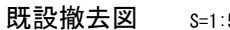
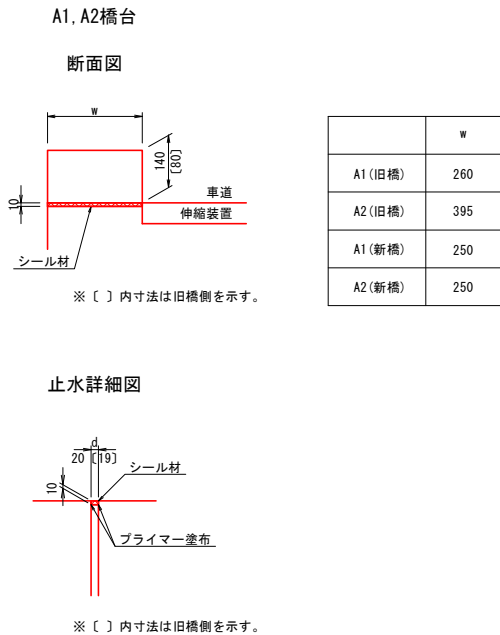
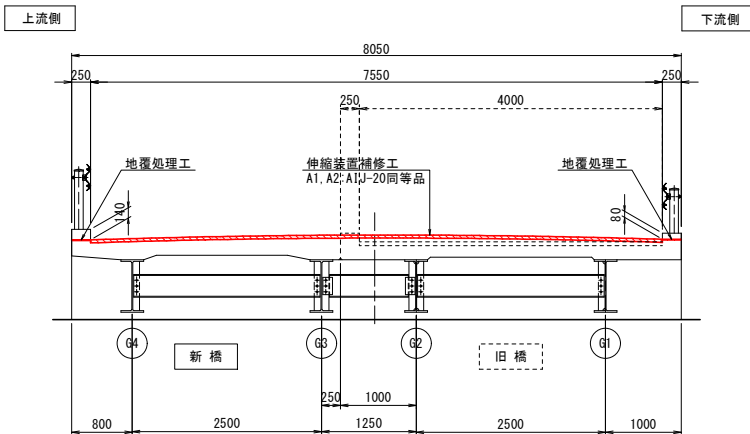
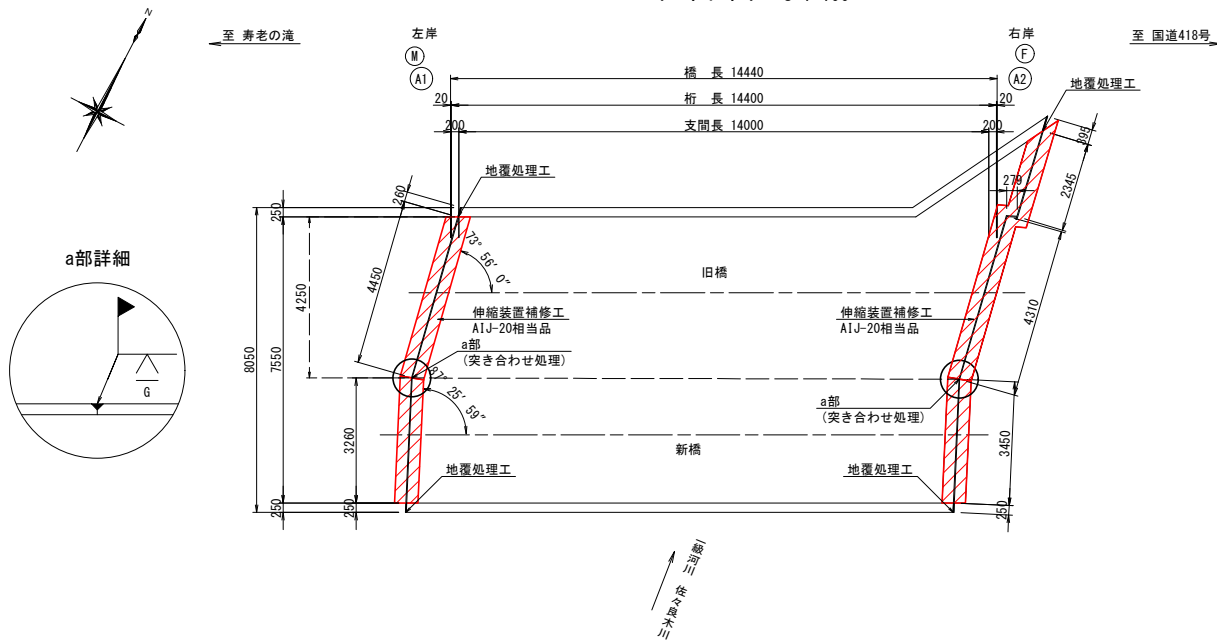


<注記>

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 舗装撤去後に新旧床版の打ち継ぎ目の位置を確認し、粘着シートは打ち継ぎ目の上に貼り付けること。
- 粘着シート設置面は入念に清掃し、十分に乾燥させること。
- 粘着シートの継ぎ目は20mm以上重ね合わせること。

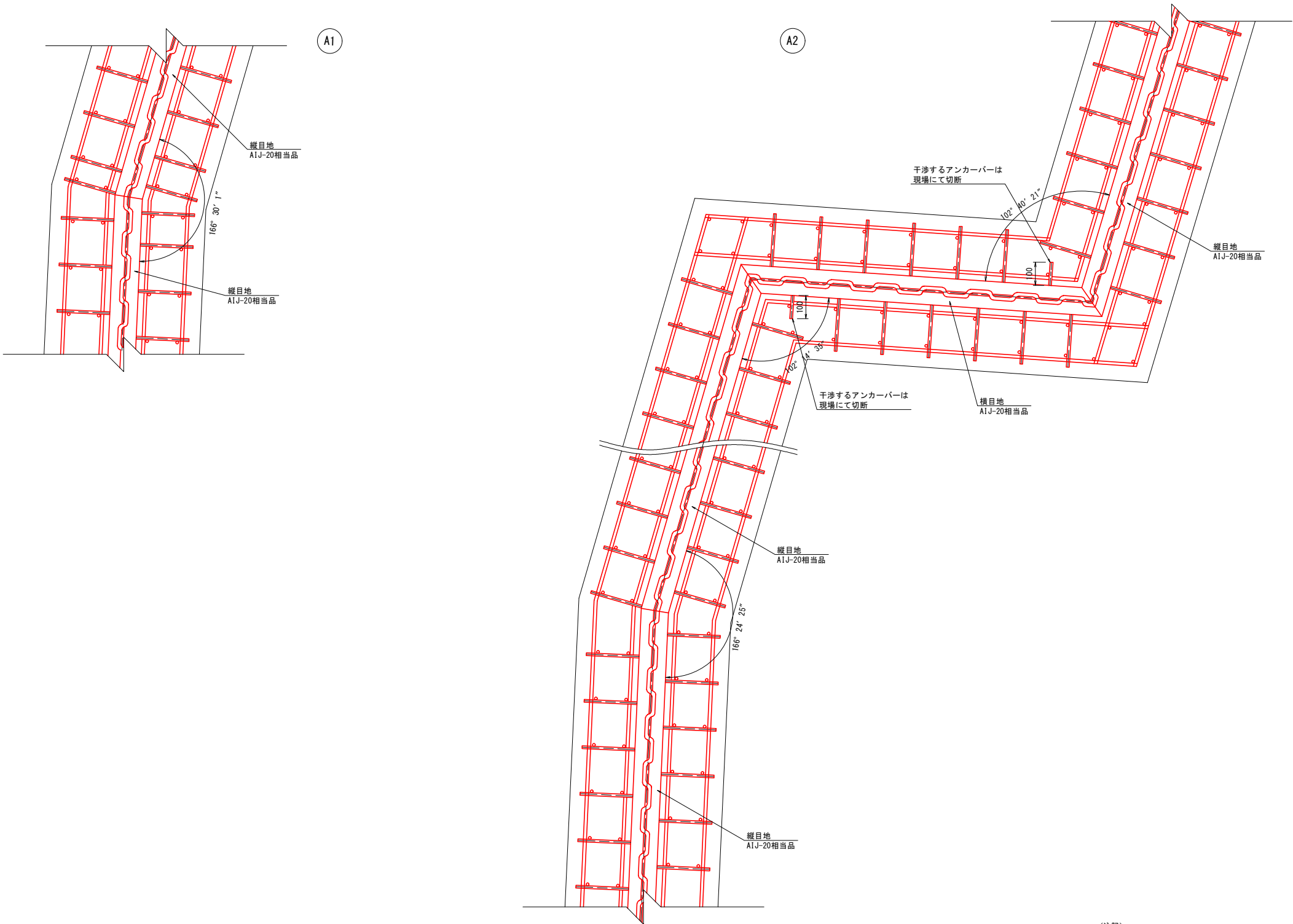
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	床版継目漏水対策工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 30
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		



棕の実1号橋
 伸縮装置取替工 (2)

目地交差部詳細図
 S=1:10



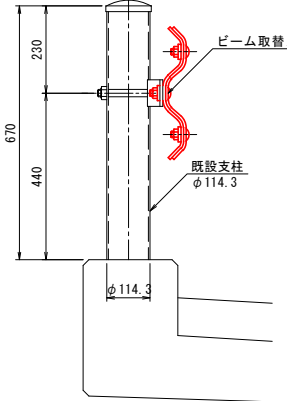
- <注記>
1. 詳細寸法は現地調査の上決定すること。
 2. 床版遊間は温度を考慮して調整すること。
 3. ジョイントセット遊間Dは施工時の温度及び床版遊間dにより調整すること。
 4. 既設ジョイント撤去時バラベツト及び床版の脆弱な箇所は全て新りすること。
 5. 伸縮装置設置時、突き合わせ部のフェースプレート波形を合わせること。
 6. 伸縮装置突き合わせ部は現場溶接及び、弾性シール材の充填を実施すること。
 7. 支承取替(桁の打ち上げ)後に伸縮装置を設置すること。桁の打ち上げ前にあらかじめ既設伸縮装置を撤去すること。

棕の実1号橋			
業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	伸縮装置取替工 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 32
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

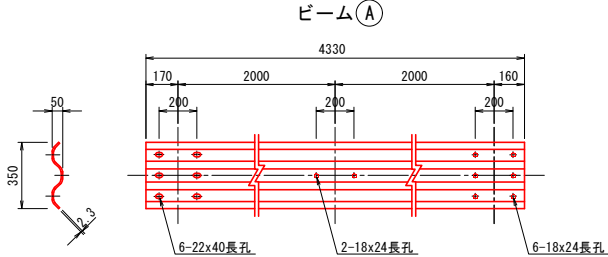
棕の実1号橋 防護柵補修工

防護柵断面図 S=1:10

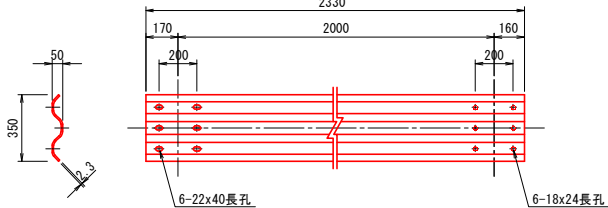
(Gr-C-2B-2)

直ビーム $S=1:20$

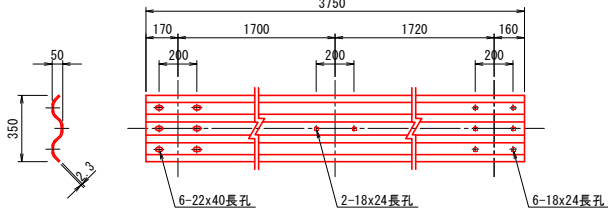
(C種)



ビーム⑤

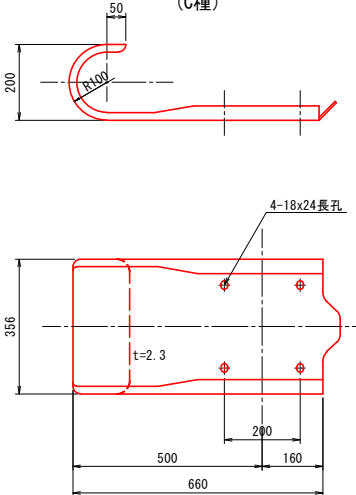


ビーム①



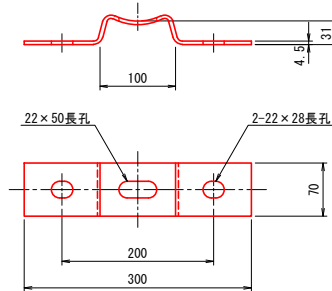
袖ビーム S=1:10

(C種)



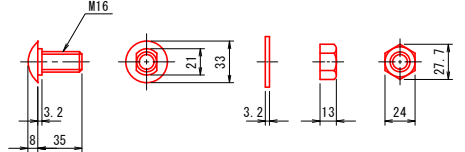
ブラケット S=1:5

(C型)



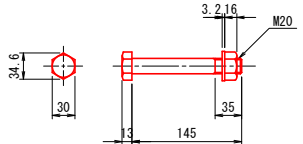
ビーム取付用ボルト S=1:3

M16 × 35

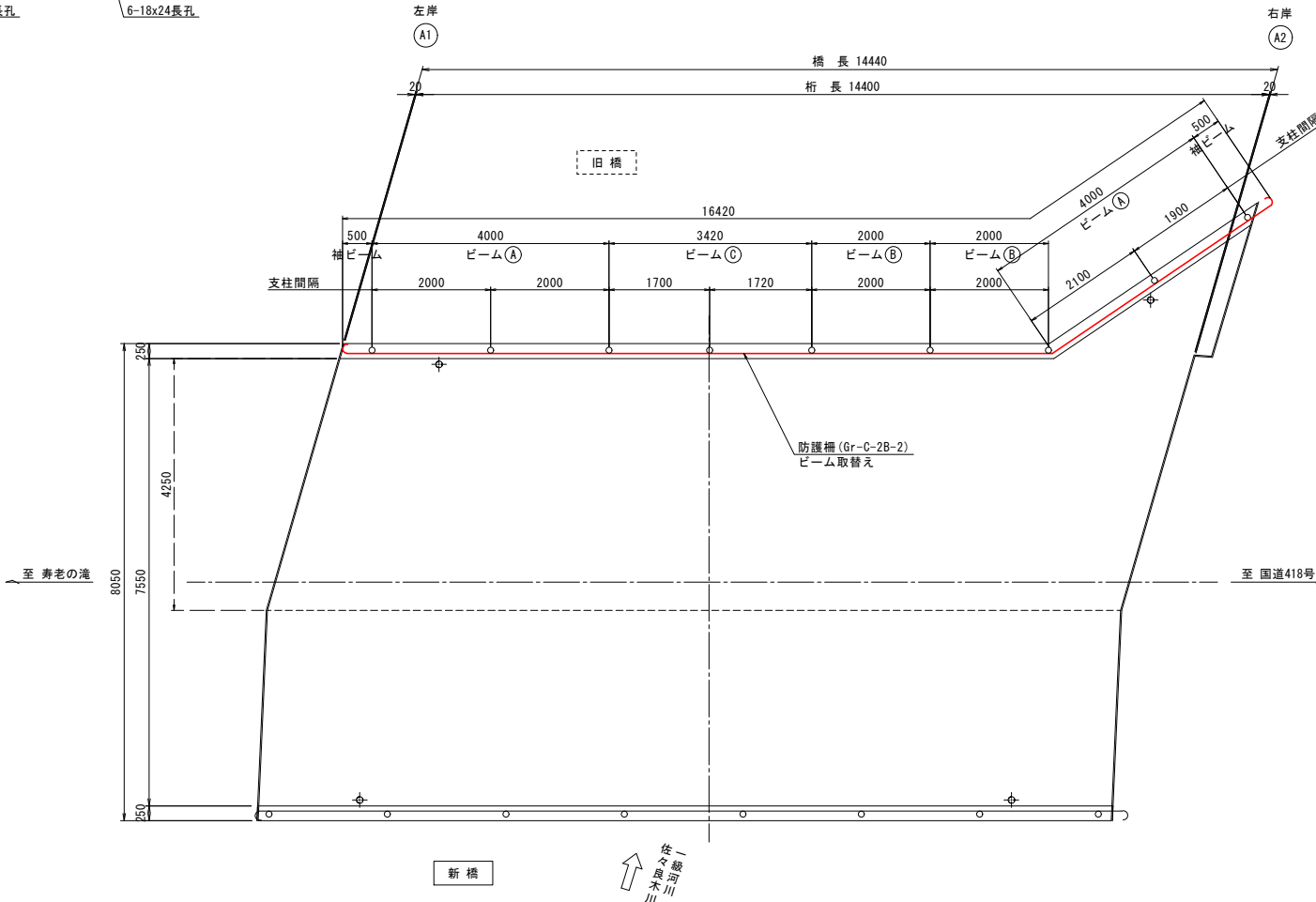


ブラケット取付用ボルト S=1:5

M20 × 145



施工位置図 S=1:60



〈注記〉

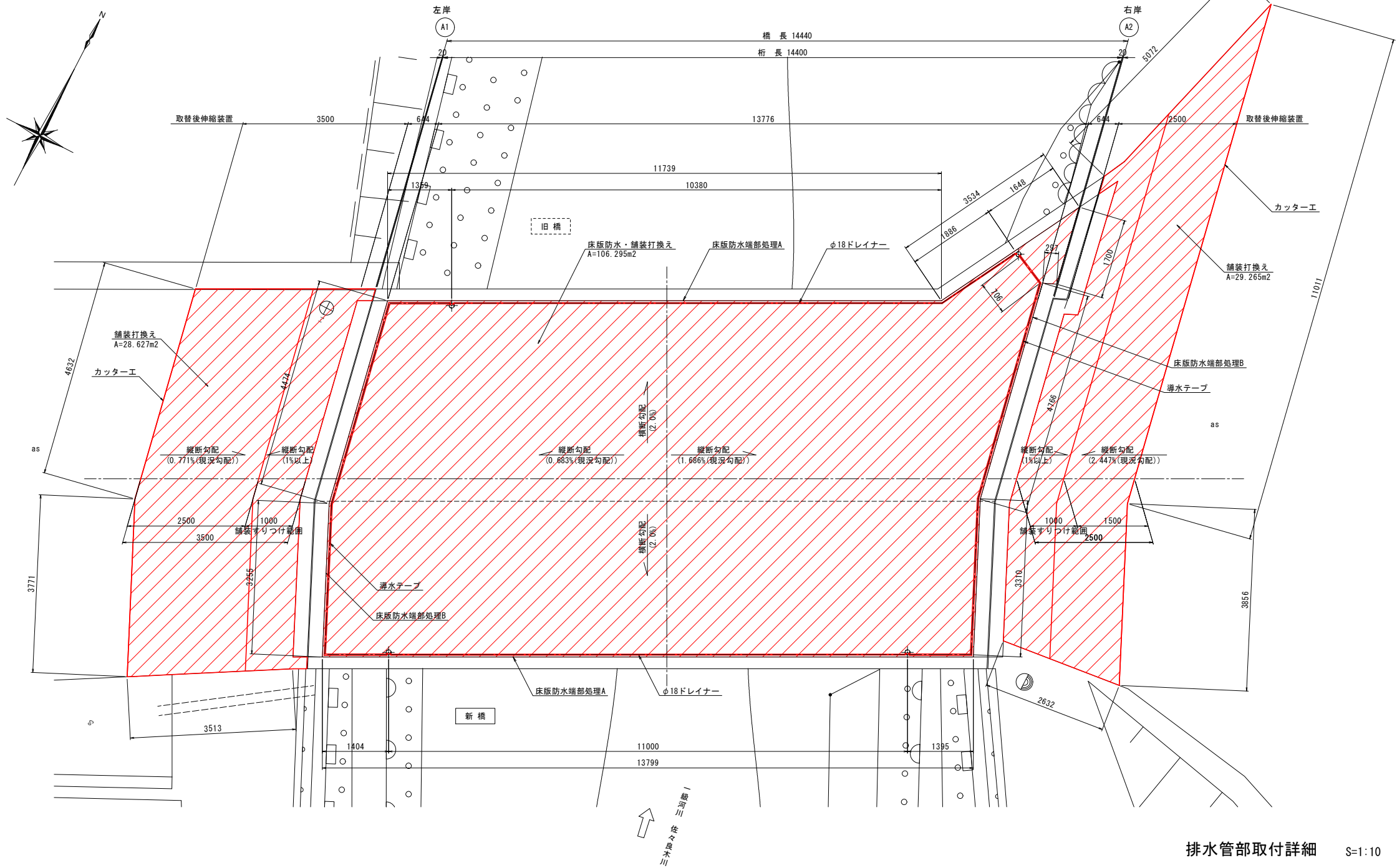
1. 現場施工・製作にあつては現地計測を行い寸法の決定を行うこと。

椋の実1号橋

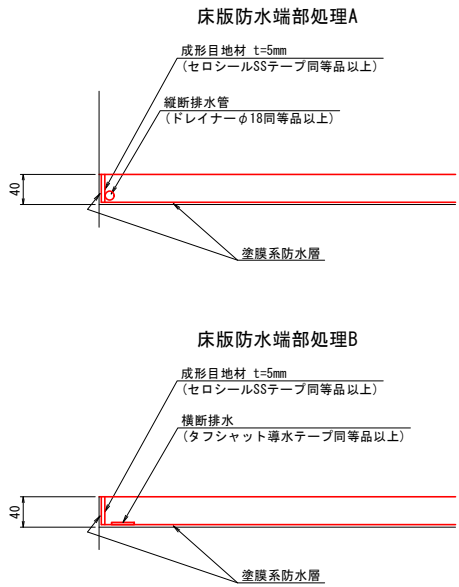
業務名/工事名	棟の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棟実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棟実 地内		
図面の種類	防護柵補修工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 之内 33
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
車 務 所 名	恵 那 市		

棕の実1号橋 床版防水工・舗装打換工

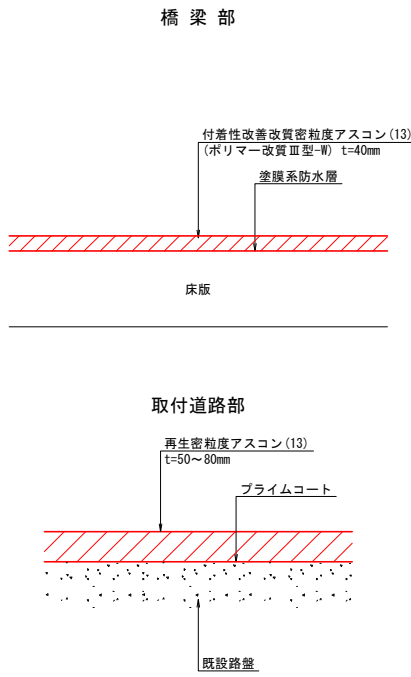
平面図 S=1:50



床版防水端部処理詳細図 S=1:5

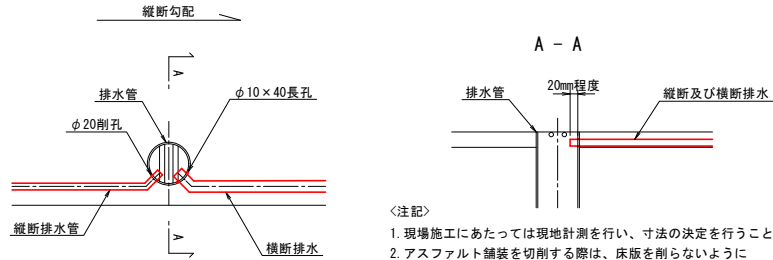


舗装構成図 S=1:10

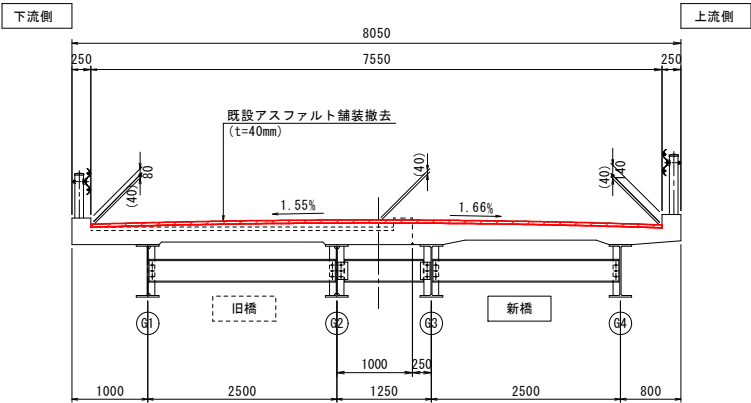


※ 舗装版の切削を行うにあたっては、施工前に舗装厚の確認を行うこと。

排水管部取付詳細 S=1:10

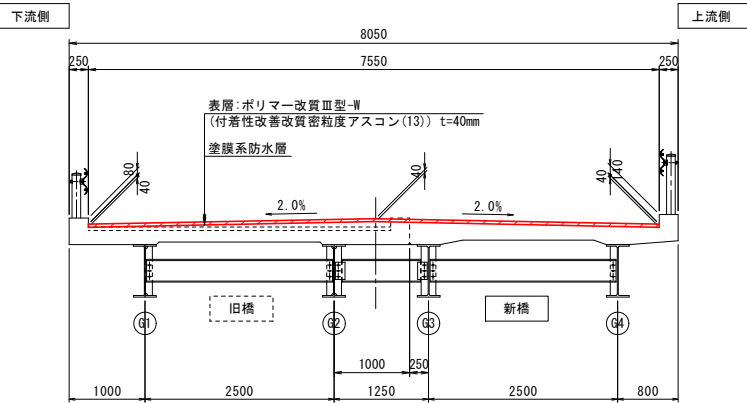


撤去断面図 S=1:50



※ () 内数値は、推定値である。

補修断面図 S=1:30



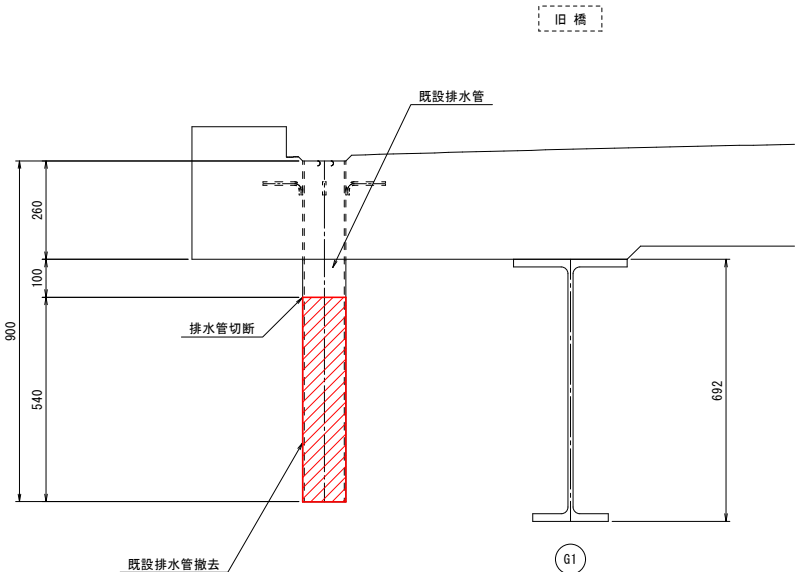
- ＜注記＞
- 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - アスファルト舗装を切削する際は、床版を削らないように注意して施工すること。
 - 舗装切削前に既設舗装厚を確認し、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
 - 既設舗装撤去後の上面に脆弱な箇所がある場合は、監督員と協議の上、超速硬モルタル等で復旧すること。
 - 取付道路部の既設舗装の延長を確認し、設計延長と現地が異なる場合は、施工範囲について監督員と協議すること。
 - 伸縮装置から1m距離を取った位置で取付道路の舗装をすりつけること。すりつけは段差が生じないように留意して施工すること。
 - 床版縦目漏れ対策工の施工後に防水層を施工すること。

業務名/工事名		棕の実1号橋補修設計業務委託	
路線・河川名等		市道棕実線	
施工箇所名		恵那市 三郷町 棕実 地内	
図面の種類		床版防水工・舗装打換工	
縮 尺	図 示	図面番号	40 業之内 34
会 社 名		株式会社興栄コンサルタント	
事務所名		恵 那 市	

棕の実1号橋 排水装置補修工(1)

排水装置補修工A

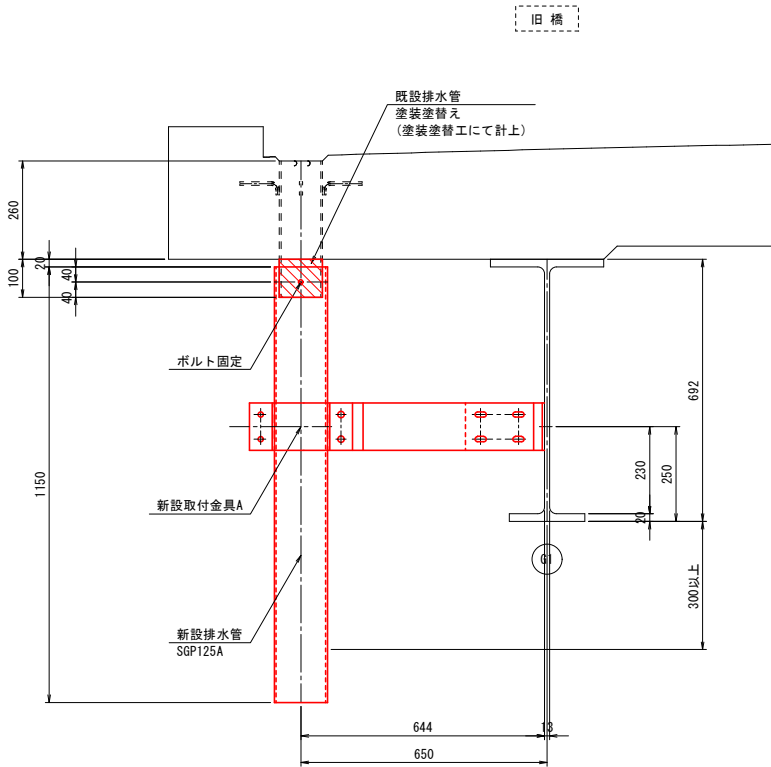
撤去詳細図 S=1:10



1箇所当り数量 (撤去数:1箇所)

1-PIPE φ114.3× 540 (SGP100A)

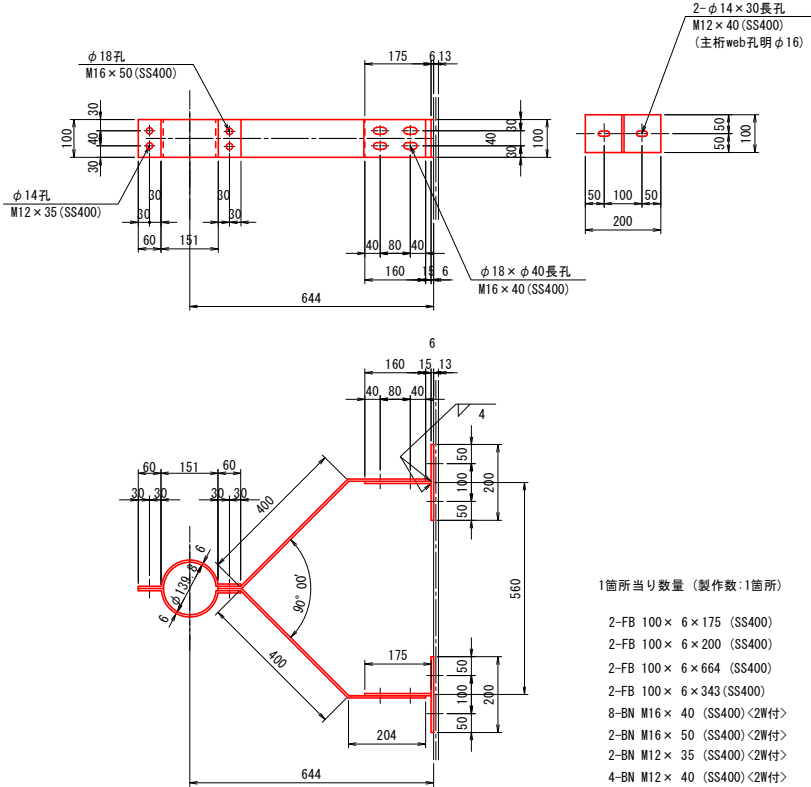
復旧詳細図 S=1:10



1箇所当り数量 (製作数:1箇所)

1-PIPE φ139.8×1150 (SGP125A)

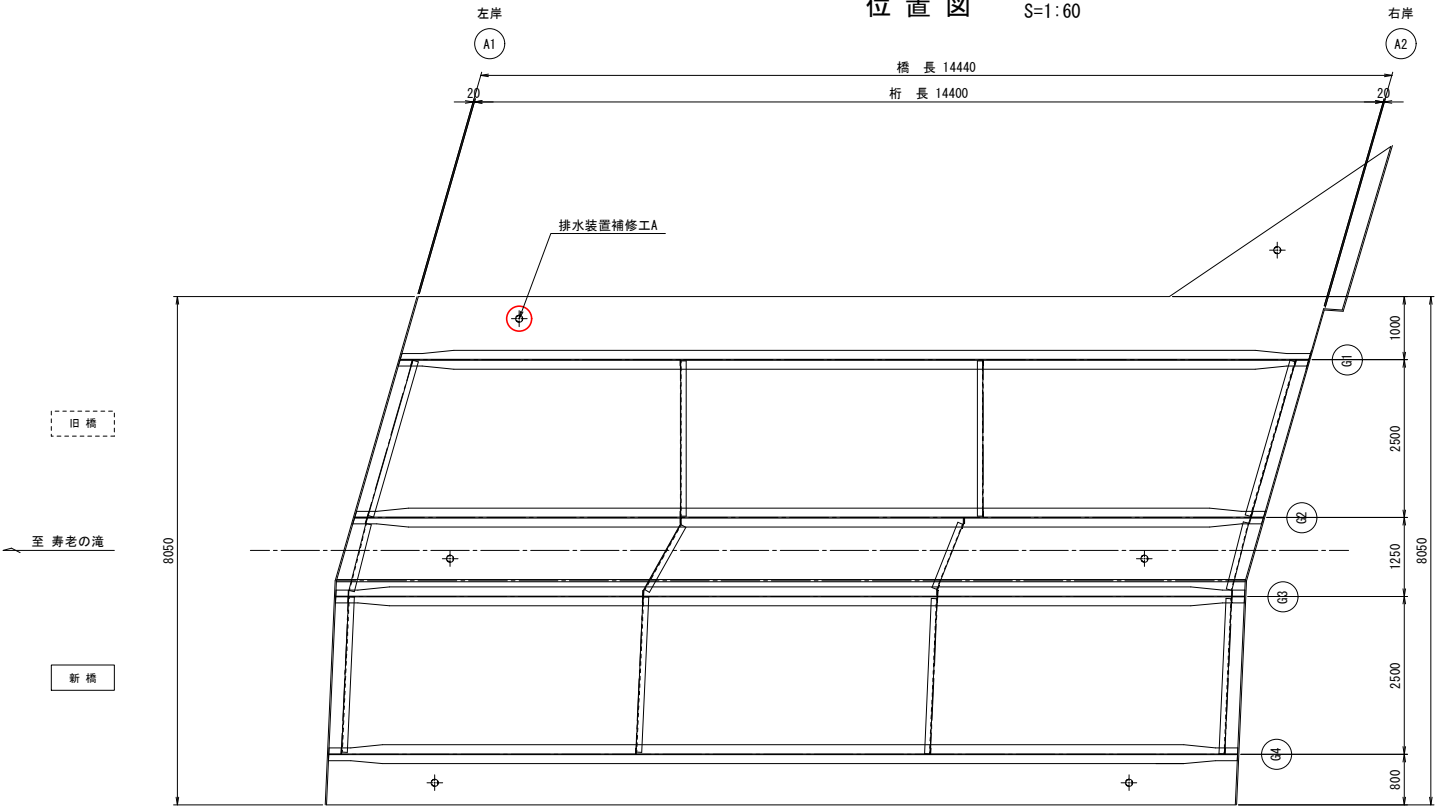
取付金具A詳細図 S=1:10



1箇所当り数量 (製作数:1箇所)

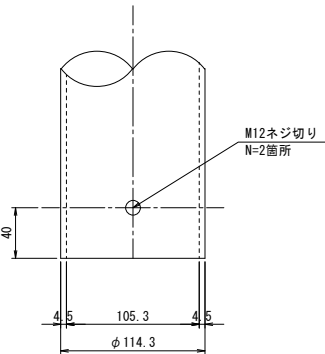
2-FB 100× 6×175 (SS400)
2-FB 100× 6×200 (SS400)
2-FB 100× 6×664 (SS400)
2-FB 100× 6×343 (SS400)
8-BN M16× 40 (SS400)〈2W付〉
2-BN M16× 50 (SS400)〈2W付〉
2-BN M12× 35 (SS400)〈2W付〉
4-BN M12× 40 (SS400)〈2W付〉

位置図 S=1:60

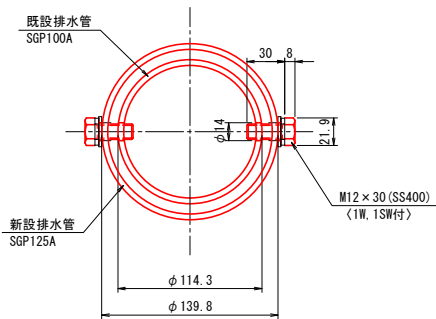


佐々木川
至 国道418号

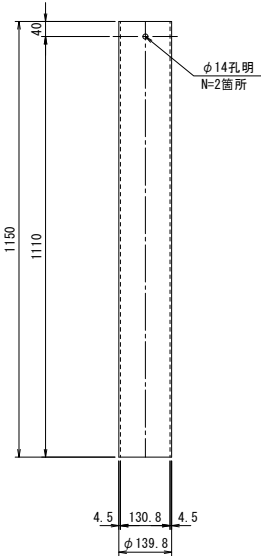
既設排水管詳細図 S=1:3
(SGP 100A)



ボルト固定部詳細図 S=1:3



新設排水管詳細図 S=1:10
(SGP 125A)



〈注記〉

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
- 排水管・取付金具は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとし、C-5塗装系とする。

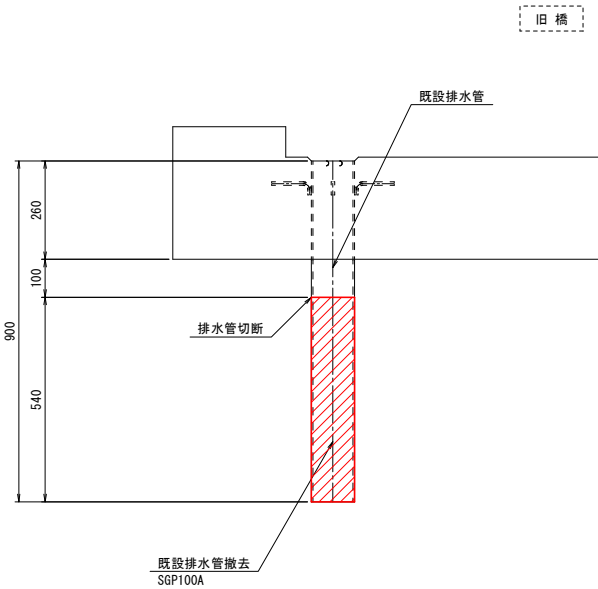
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	排水装置補修工(1)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 35
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 排水装置補修工 (2)

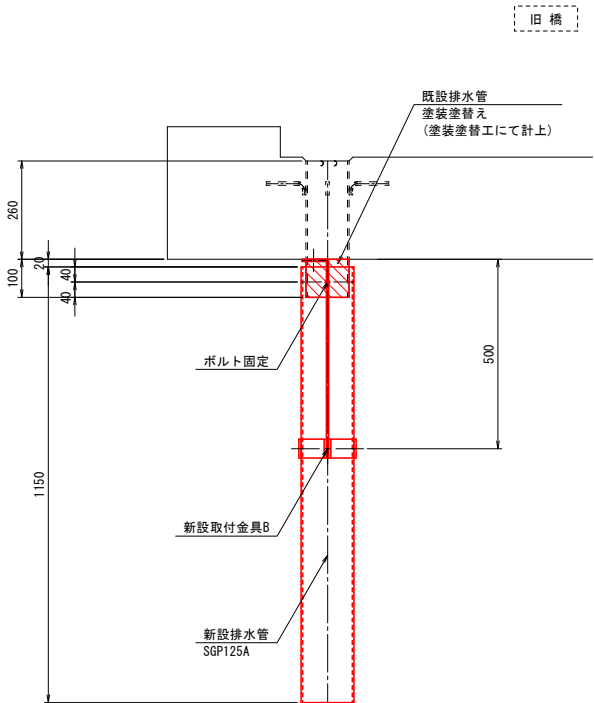
排水装置補修工B

撤去詳細図 S=1:10



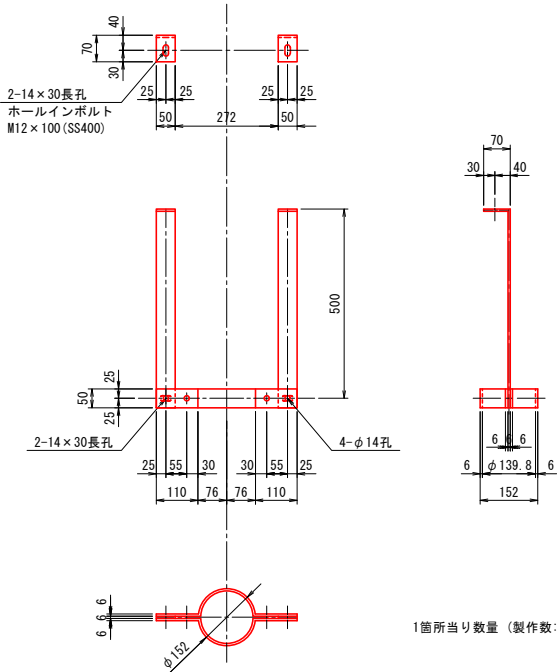
1箇所当り数量 (撤去数:1箇所)
 1-PIPE φ114.3× 540 (SGP100A)

復旧詳細図 S=1:10



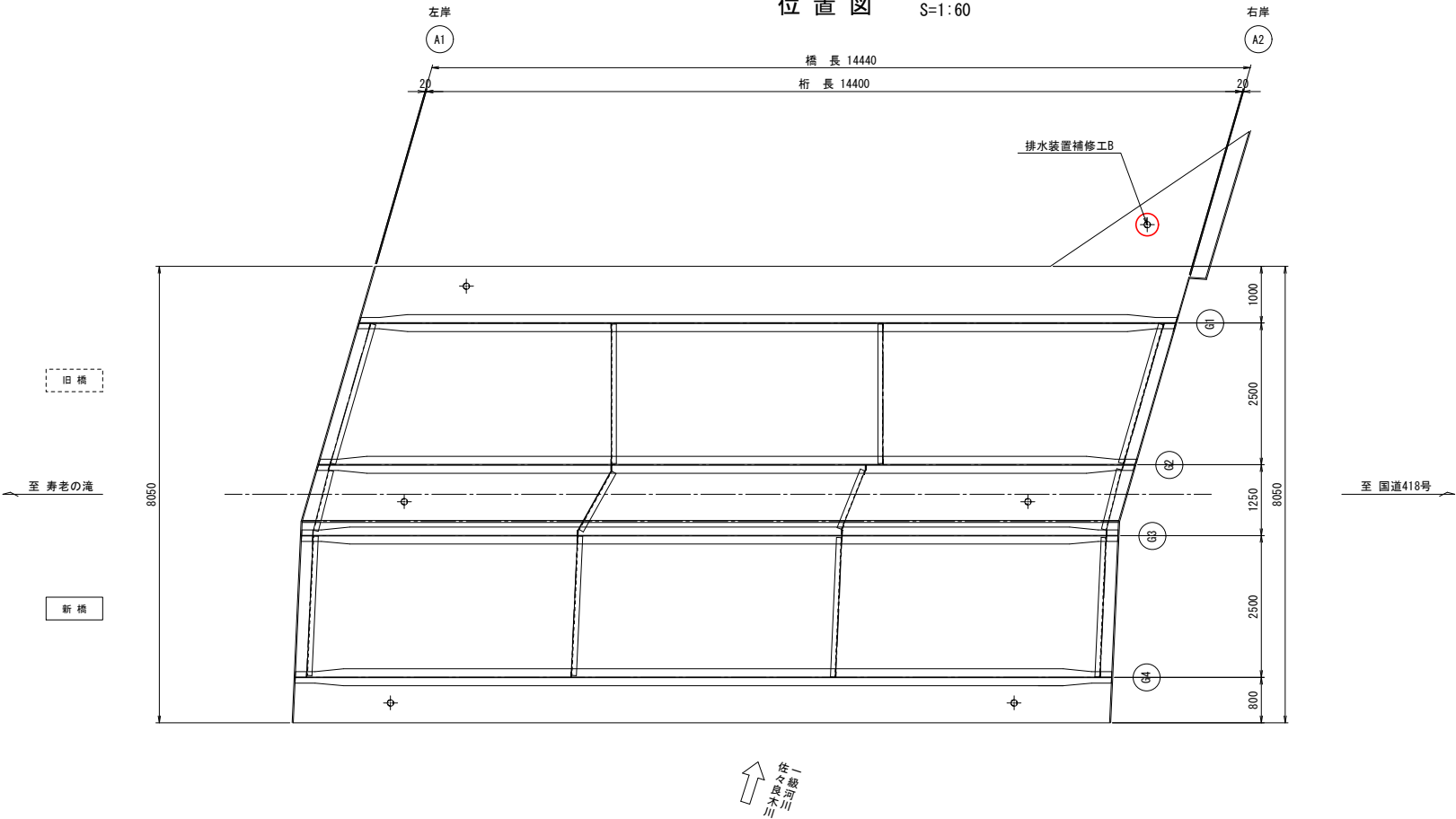
1箇所当り数量 (製作数:1箇所)
 1-PIPE φ139.8×1150 (SGP125A)

取付金具B詳細図 S=1:10

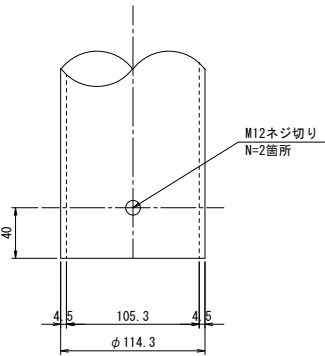


2-FB 50×6×444 (SS400)
 2-FB 50×6×589 (SS400)
 4-BN M12×45 (SS400) <2W付>
 2-ホールインボルト M12×100 (SS400)

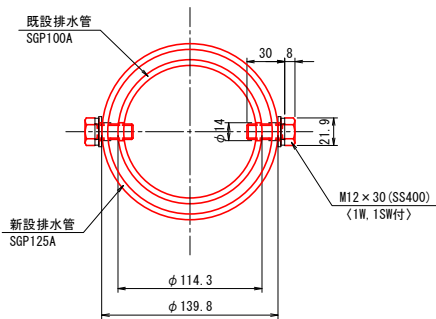
位置図 S=1:60



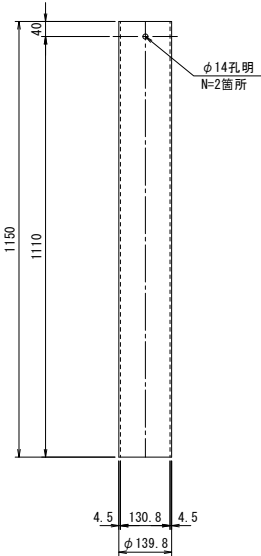
既設排水管詳細図 (SGP 100A) S=1:3



ボルト固定部詳細図 S=1:3



新設排水管詳細図 (SGP 125A) S=1:10



<注記>

1. 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
2. 排水管・取付金具は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとし、C-5塗装系とする。
3. アンカー削孔時に既設鉄筋と干渉しないよう、鉄筋探査等の対策を施すこと。

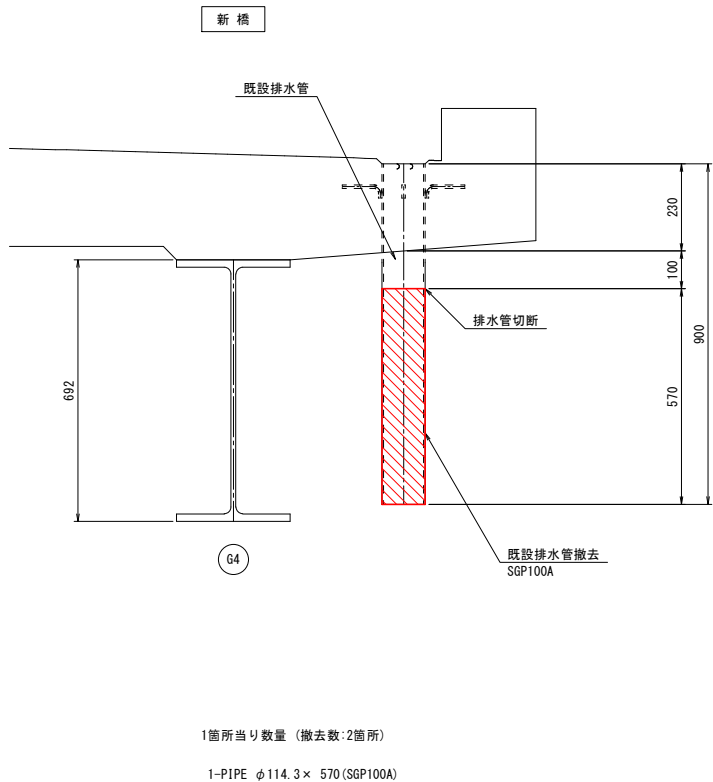
棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 棕実 地内		
図面の種類	排水装置補修工 (2)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 36
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

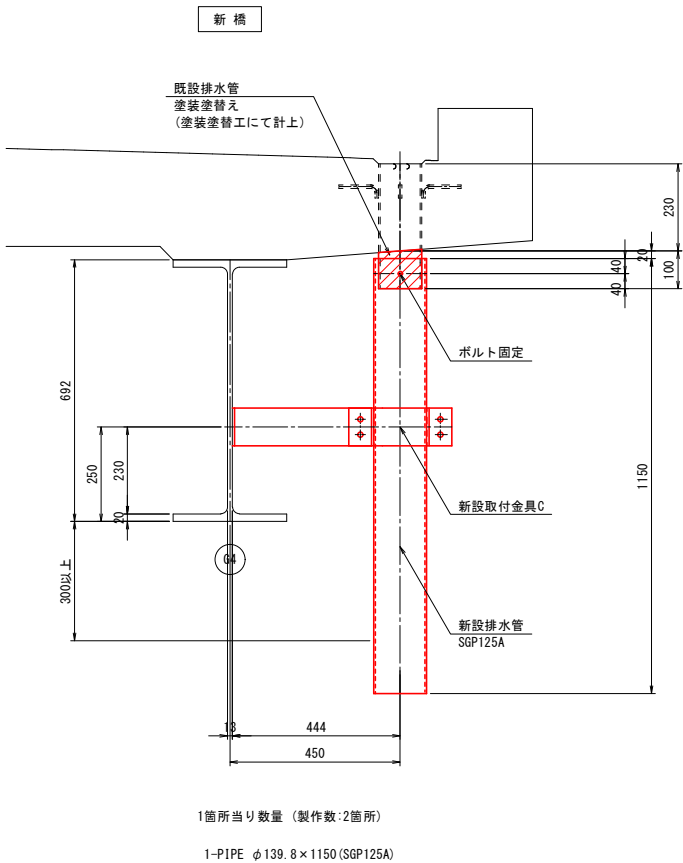
棕の実1号橋 排水装置補修工(3)

排水装置補修工C

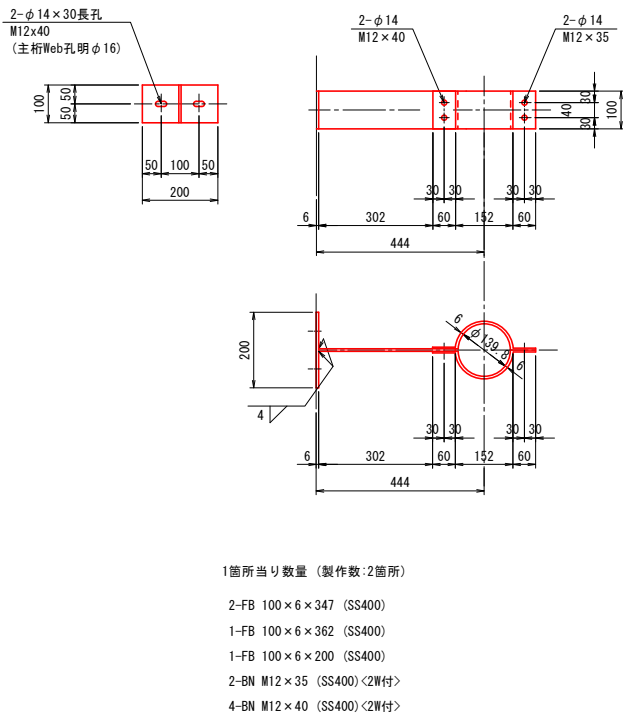
撤去詳細図 S=1:10



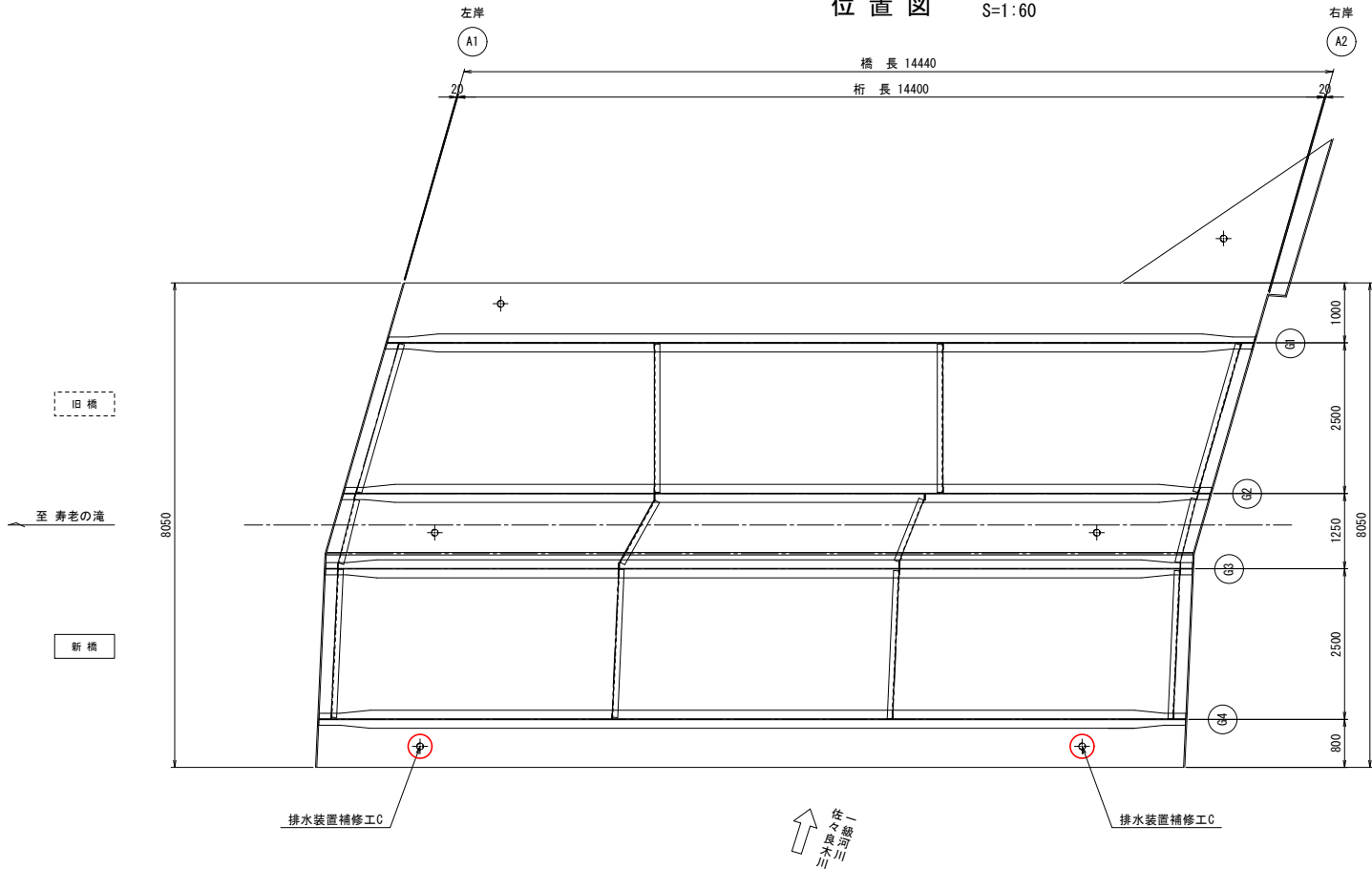
復旧詳細図 S=1:10



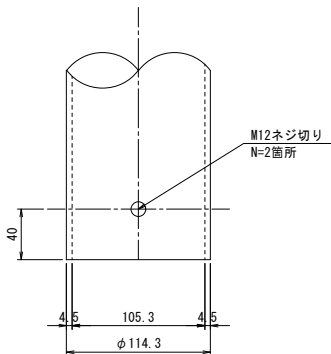
取付金具C詳細図 S=1:10



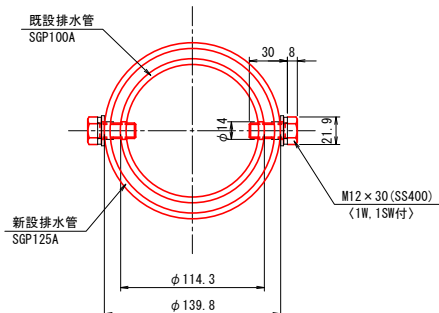
位置図 S=1:60



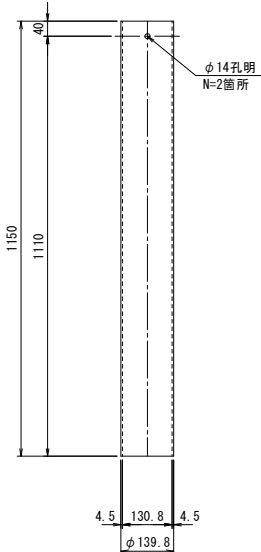
既設排水管詳細図 (SGP 100A) S=1:3



ボルト固定部詳細図 S=1:3



新設排水管詳細図 (SGP 125A) S=1:10

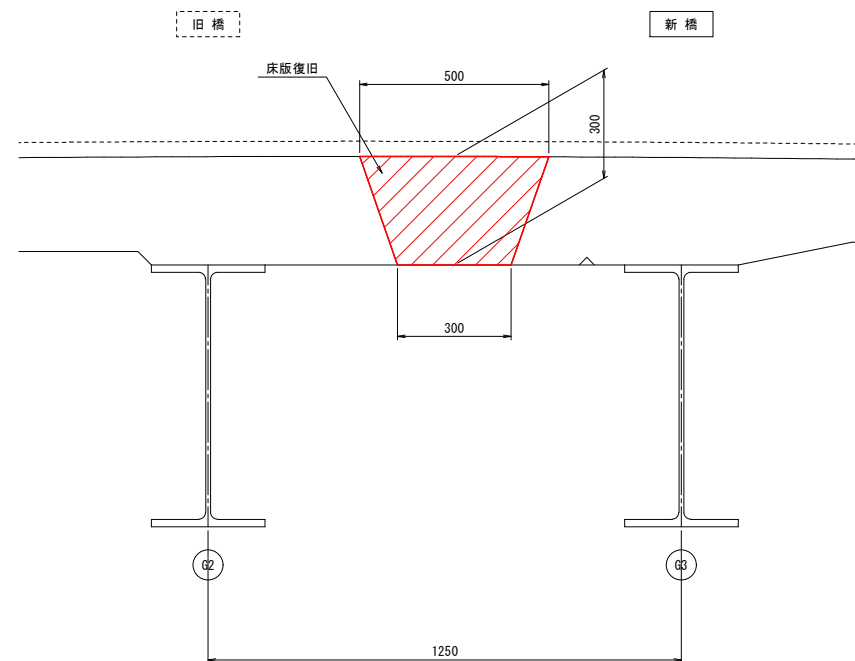


- <注記>
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
 - 排水管・取付金具は主桁と同等以上の防錆塗装を施すものとし、C-5塗装系とする。

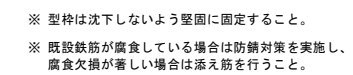
業務名/工事名				棕の実1号橋補修設計業務委託
路線・河川名等				市道棕実線
施工箇所名				恵那市 三郷町 棕実 地内
図面の種類				排水装置補修工(3)
縮尺	図示	図面番号	40 業之内 37	
会社名				株式会社興栄コンサルタント
事務所名				恵那市

排水装置補修工D

復旧詳細図 S=1:10



復旧詳細図(参考)

[illegible]

〈注記〉

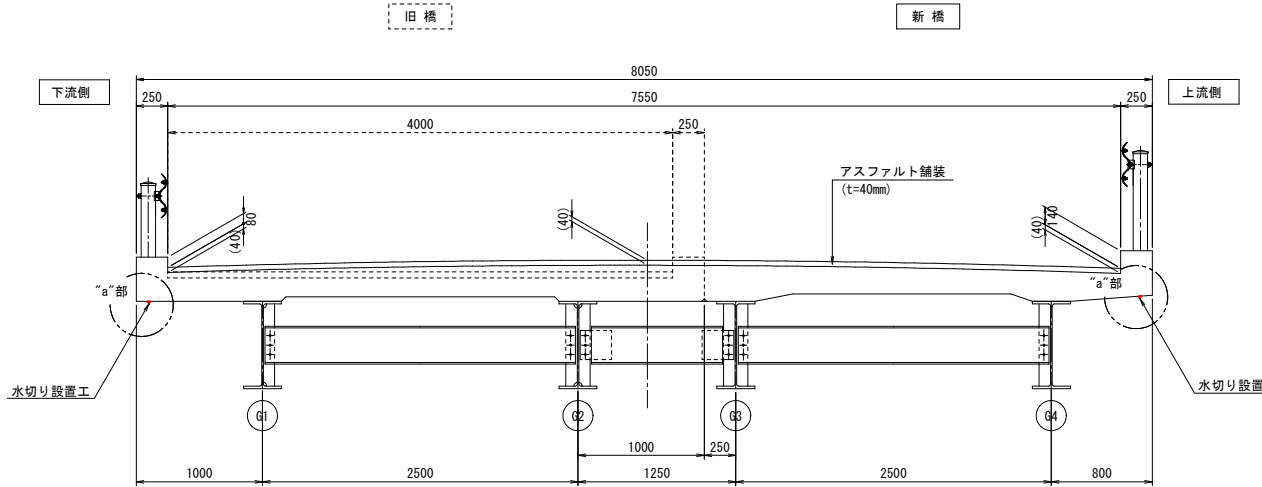
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い寸法の決定を行うこと。
2. カッター工・ハツリ工に際しては、既設鉄筋等を傷付けないこと。
3. 床版防水・舗装打換えを行うタイミングで既設排水管の撤去を行うこと。

椋の実1号橋

業務名/工事名	桜の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道桜実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 桜実 地内		
図面の種類	排水装置補修工 (4)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 38
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

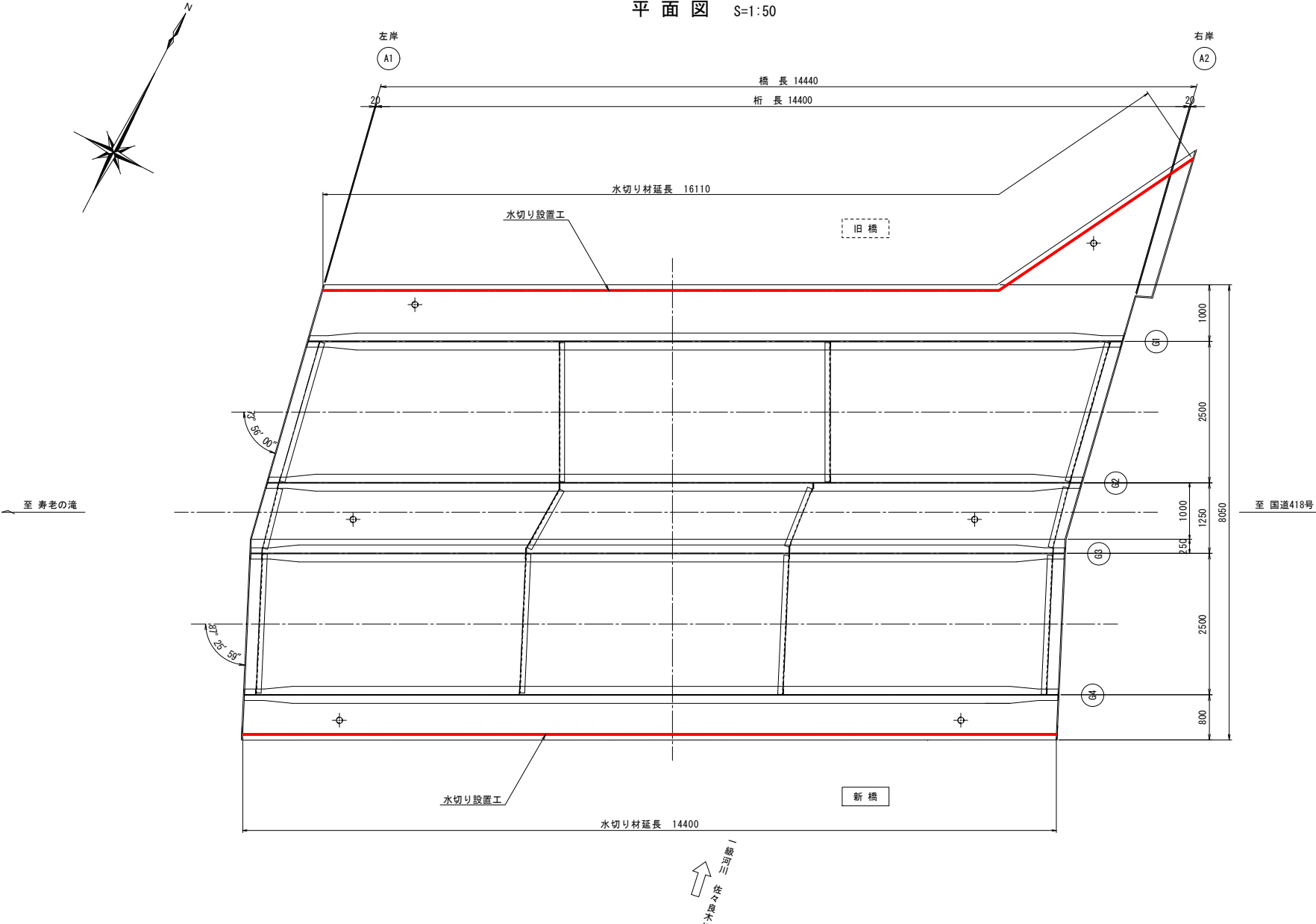
椋の実1号橋 水切り設置工

断面図 S=1:3

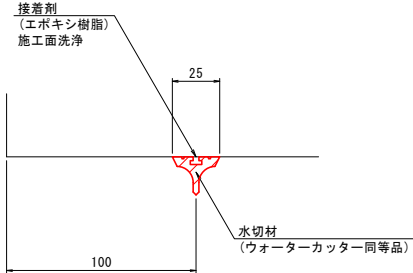


※ () 内数値は、推定値である

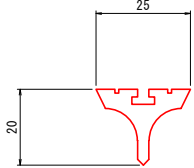
平面図 $S=1:$



“a”部詳細図 S=1:



水切材形状図 S=1:
(ウォーターカッター同等品)



水切設置工 数量表

項 目	規 格	単 位	数 量	摘 要
水切材	ウォーターカッター同等品	m	30.5	
表面処理		m2	0.8	水洗い
接着剤	エポキシ樹脂	m2	0.8	

＜注記＞

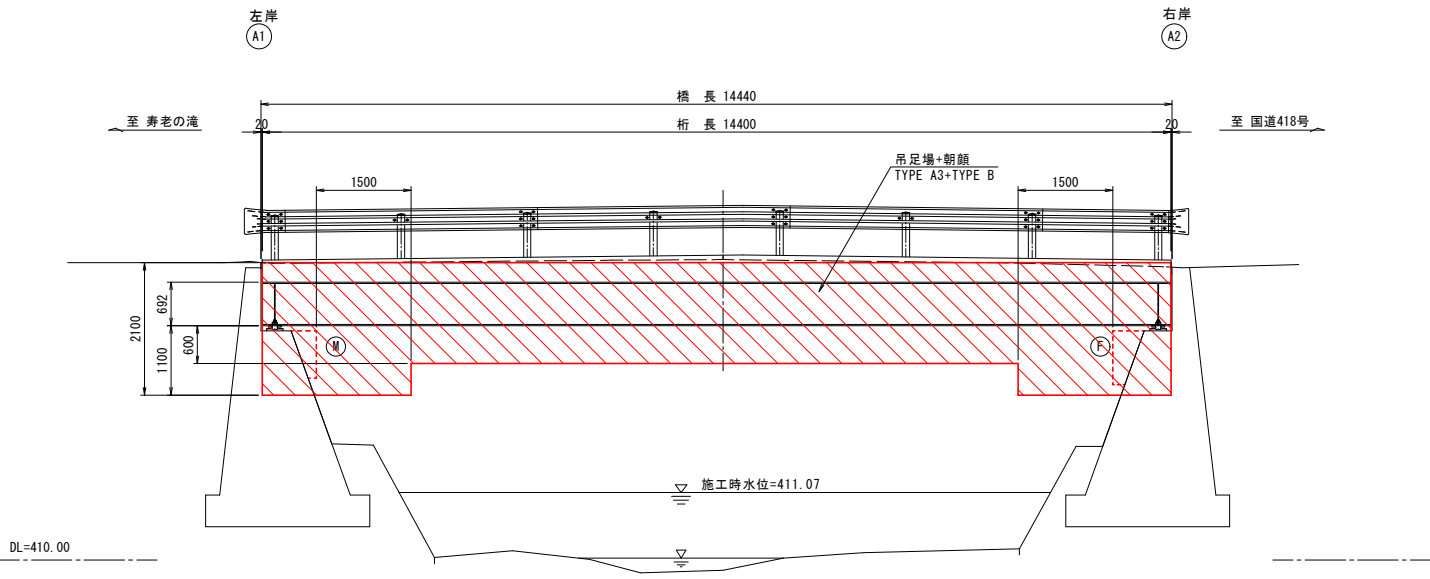
1. 現場施工にあたっては現地計測を行い、寸法決定を行うこと。
2. 水切り設置面は入念に清掃すること。

棕の実1号標

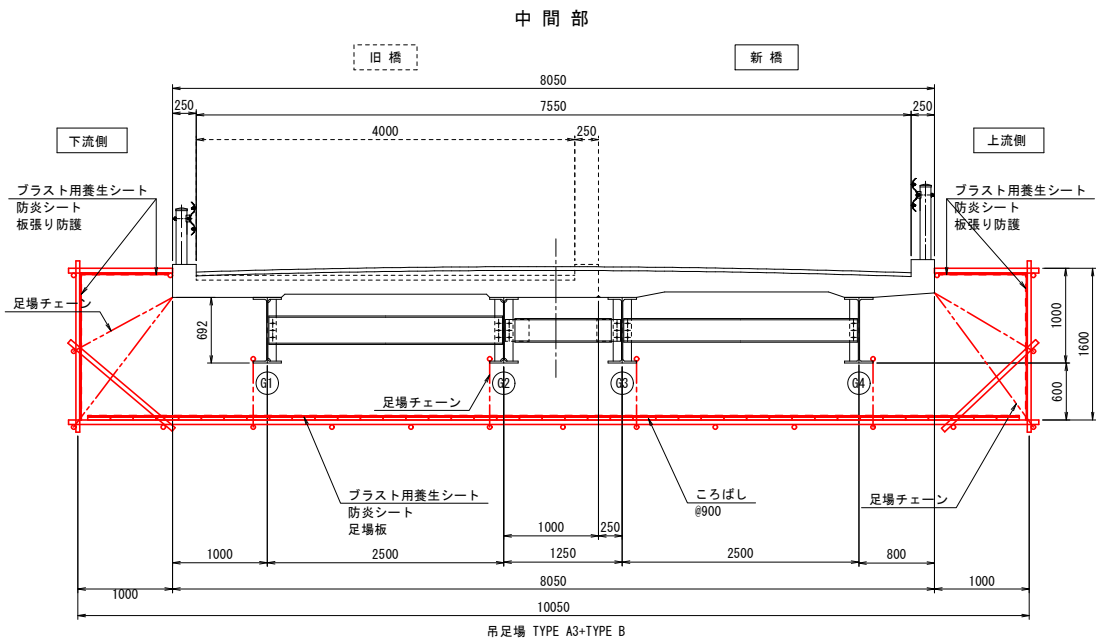
業務名/工事名	棟の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道榎実線		
施工箇所名	恵那市 三郷町 榎実 地内		
図面の種類	水切り設置工		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 39
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		

棕の実1号橋 仮設計画図(参考図)

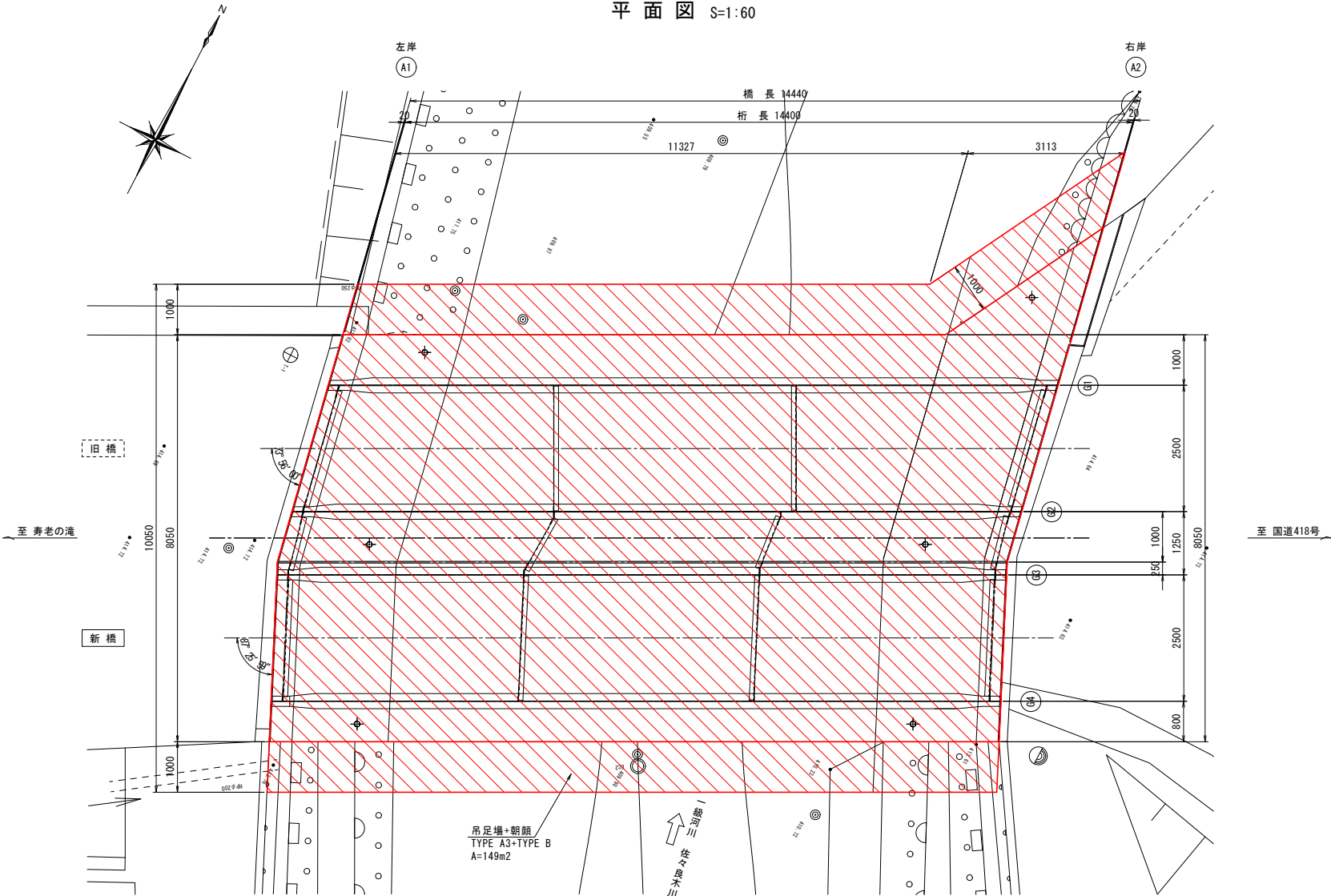
側面図 S=1:60



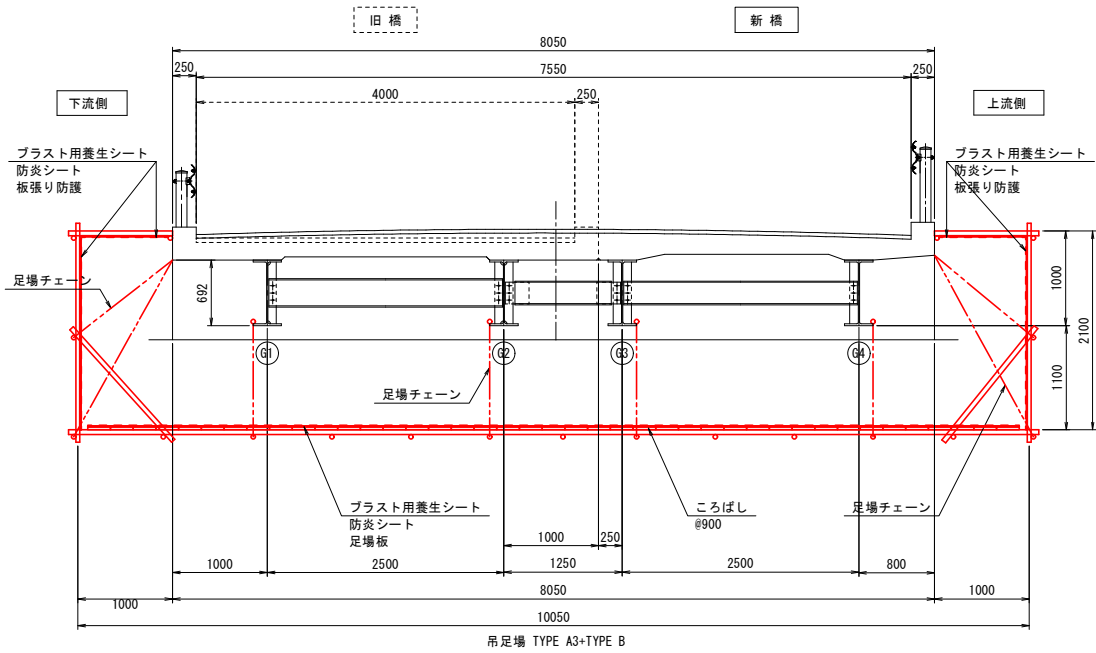
断面図 S=1:40



平面図 S=1:60



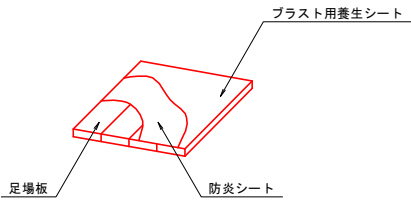
支点部



対象工種一覧表

項目内容	施工方法
上部工断面修復工	吊足場
主桁当て板補修工	
塗装塗替工(全面塗装)	
下部工断面修復工	
排水装置補修工	
水切り設置工	
支承取替工	
縁端拡幅工	

足場底面詳細図



<注記>

- 足場の設置及び設置期間については、河川管理者との協議の上、決定すること。
- 足場工の設備は「橋梁架設工事の積算(令和6年度版)」に準拠している。
- 既設塗膜は鉛、PCBを含有しているため、素地調整にあたっては、鉛中毒規制等の関連法令を遵守すること。
- ケレン扱は低濃度PCB廃棄物に該当するため、適切に処分すること。

棕の実1号橋

業務名/工事名	棕の実1号橋補修設計業務委託		
路線・河川名等	市道棕実線		
施工箇所名	恵那市 三郎町 棕実 地内		
図面の種類	仮設計画図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	40 葉之内 40
会 社 名	株式会社興栄コンサルタント		
事務所名	恵 那 市		